

CHECKLISTS FOR BARTONELLA, BABESIA, AND LYME DISEASE 2012 EDITION

A "BEST DOCTOR", "PEOPLE'S CHOICE PHYSICIAN" AND "TOP DOCTOR"
OFFERS HIGHLY RESEARCHED, ADVANCED DIAGNOSTIC CHECKLISTS
FOR DANGEROUS EMERGING INFECTIONS



Which Physician is Going to do a Proper Exam of a
Person With Bartonella, Babesia, and Lyme Disease?

The right physician is the one who is going to take
the time for a very comprehensive evaluation

バルトネッラのチェックリスト、
バベシアとライム病

2012年版

JLSchaller、MD、MAR、K.Mountjoy、MS

国際学術感染症研究プレス

バンクタワーズ・ニューゲートセンター(305)
Highway41[TamiamiTrailNorth]
ネーブルズ、FL34103

Copyright©2012 by James Schaller,MD,MAR
Allrightsreserved.

カバーデザイン:NickBotner 研
究:RandallBlackwell,LindsayGibson,KimberlyMountjoy

LibraryofCongressCatalogingData
Schaller,JL;Mountjoy,K.
バルトネラ、バベシア、ライム病のチェックリスト (J.L. シャラー
ランド、K. マウントジョイ著)

ISBN978-0-9840889-5-9

1.ダニ感染症2.ノミ感染症3.診断

引用スタイルに関する注記 こ
れらの参考文献のスタイルはさまざまです。制服を作っても引用を見つける能
力は高まりません。ほとんどは、広範囲の場所から発見されたときに出現した
ままのままでした。

アメリカで製造

初版

米国に現実的かつ具体的な自由を回復するために尽力している方々へ
具体的には、世界トップの看守として、世界の看守の25%を占める。
米国の受刑者の皆さん、私たちは自由の国ではなく、刑務所の国
です。

神が、良心や仲間たちに関わらず、保安官、警察、子供の保護を助けてくださいますように
労働者、裁判官、司法長官は、真の誠実さ、バランス、そして奉仕の心を持たな
ければなりません。

アメリカでは、法執行機関や児童サービスにおける権力乱用が日常的に行われており、人
格、謙虚さ、優しさ、知恵を取り戻す必要がある。

もしあなたが、貧しい人、弱い人、冤罪を着せられた人々の権利を回復するために活動し
ているなら、この文章と私の愛情をあなたに捧げます。

コンテンツ

バルトネッラの紹介.....	1.
チェックリスト.....	3 精神
科および神経科.....	3 皮膚科...または皮膚.....5
目.....	6 ハート.....7 一般.医療.....7
可能性のある実験室の所見.....	9 環境.....10
参考文献.....	13
バベシアの紹介.....	65 チェックリスト.....67 精神
神経科.....	67 心臓.および.循環系.....67 主要な臓器.....68 一般.医療.....69 検査結果.....71
体の反応または変化.....	73 環境.....74 血液検査マニュアルについて
の言葉.....	76 参考文献.....79

ライム病の概	
要.....	105
チェックリスト.....	107
臨床検査 - 間接的および直接的.....	107
身体検査の結果.....	109
サンプル神経学的検査.....	110
患者の報告された身体的病歴.....	111
精神神経科.....	111
主要臓器.....	
111.....	113
皮膚.....	
114 筋骨格系.....	
114 一般医療.....	
115 環境.....	
117 最後の言葉.....	119
参考文献.....	
シャーラー博士の出版物サンプル.....	159
免責事項と安全性の問題。.....	167
連絡中。シャーラー博士.....	

バルトネッラのチェックリスト

新たなステルス感染の疑いが高まる

ジェームス L. シャラー、医学博士、MAR

導入

2011年に、新しい人間のバルトネッラ種が、現在遺伝データバンクに公開されている35種のバルトネッラ種に追加されました。それは、有能な獣医師研究者エドワード・ブライトシュヴェルトによって発見され、強調されました。彼は、2005年にバルトネッラの本のほとんどを調べながら、私が考えていたアイデアよりも明確なことを言いました。しかし、バルトネラの検査はひどいもので、治療法は劣悪で、通常は赤血球の外側で発見され、バルトネラに関する現在の研究は悲観的だということは壊滅的かつ非常に有益な明快さであり、NIHの研究者もいる。それでも十分ではないとしても、彼は2011年に「バルトネラは地球上のどの感染症よりも多くのベクターによって運ばれている」と述べた。「共感染」。おそらくライメイは「共感染」でしょう。

最近、ドイツの研究者カイゼラント・リースは、バルトネラ研究を次のように要約しました。バルトネラ研究が20年続いた今でも、細菌の伝達と病理学に関する知識は依然として限られています。バルトネラ種は、人間および獣医学において重要な病原体として浮上しました。

医師が抗体検査を注文できるのに、なぜチェックリストを作成するのでしょうか？

まず、私はバルトネラ菌が自分自身の抗体、そして他のダニやノミによる人間の感染症によって引き起こされる抗体を時々消失させることができることを発見しました。61頭のバルトネラ感染犬を研究したペレザンド・マギは最近、バルトネラ感染犬のほとんどが検出可能なバルトネラ抗体を持っていないと報告しました。

以下に挙げる基準は、バルトネラとは無関係の原因である可能性があります。たとえば、毎年多くの研究で重複感染の存在が示されており、どの感染がどのような症状を引き起こしているのか、検査結果の変化に署名するののかという問題が生じています。たとえば、ほとんどの重複感染が原因である可能性があります。

これらの多重感染症研究の限界は、通常、チカーノミ媒介感染症の検査検出率が、人間に感染する可能性のあるすべての種および菌株に対して 95% を超えないことです。

ただし、バルトネラは健康な人を無力化して殺害する可能性があるため、以下のチェックリストは事実上すべての感染者を検出するように設定されています。これは正しくも間違っていない。哲学、社会学、前提、医療ファクション、心理学は通常、診断の打ち切りを設定する役割を果たします。すべての科学は前提によって導かれており、それが数学研究でさえ広範囲の変数に基づいて導かれている理由です。医学、心理学、哲学では物理的仮定と社会学は医学のすべてを支配しますが、訓練の積み重ねにより評価されていません。クーンの「科学革命の構造」を参照してください。例外的に次のリンクに要約されています: <http://des.emory.edu/mfp/Kuhn.html>

バルトネラのチェックリスト

ジェームス・シャラー、医学博士、MAR

(当てはまる症状があればチェックしてください)

精神科および神経科

£10歳には存在しなかった現在の不安

£現在うつ病ではありません16歳

£膝がガクガクする感情的な反応が過去数十年よりも悪化し、悪化している

£ブレインフォグ

£うつ病

£日常的な抗うつ薬では十分にコントロールできないうつ病

気分をコントロールするには、大量の抗うつ薬、または高用量の抗うつ薬が必要である[気分を改善したり、「うつ状態が軽減」したりすることは、うつ病治療の成功ではない。]

£平均的な服用量では不安のコントロールが不十分

£うつ病は、合理的な治療試験ではうまくコントロールできません。

£自殺願望、日常的な死の考え

£泣く

£強迫観念や恐怖、過剰な出来事

£心に侵入する過剰な強迫観念
普通の

£喜びの減少

£時間とともにさらに悪化

£時間が経つにつれてイライラが悪化する

£10年前と比べると焦りは大きくなっている[子供は-
-同じ年齢のほとんどの子供によくあることの過剰なイライラ性]。

£残業以上にひどい罵りや敵対的な発言

£依存症の増加、回復力の低下、通常の回復
範囲

£数十年前とは対照的に衝動性が増加した

£明らかな原因のない重度の神経疾患

£適合しそうでない重度の精神疾患
診断基準または症状のコントロールに問題がある
処理

£新しい身体的、感情的、または言葉による家庭内での使用
過去に存在しない

£10年間存在しなかったパニック発作

£利益を超えて継続するには不安薬を非常に高いレベルまで増量
する必要がある

双極性障害と診断されているが、基準には当てはまらない
良い

£臨床検査で医学的病理を示す精神疾患

£落ち着きのなさ

£戦闘的行動

£親、祖父母、子供、自殺未遂のある兄弟

£親、祖父母、子供、兄弟、身体的または極端な喧嘩を始めた人

£断続的な混乱

£発作

£脳病変を参照してください脳スキャンスチャサン MRI または Cofthe
頭

£短期記憶障害

£新しい情報を学ぶのが難しい

皮膚科または皮膚科

£3週間持続する持続性の発疹

£皮下の結節

£色素沈着過剰、または存在しなかった皮膚の濃い領域
出生時における

£色素沈着低下または皮膚の明白な領域

£原因不明の脱毛

£自然発生的な皮膚の裂け目、ミリメートルほどの小さな穴

£皮膚潰瘍

£偏った位置のストレッチマーク、例: 腕、上半身、下
脇の下、脇の下周り背中

£赤、ピンク、紫または濃い青色で満たされた妊娠線
妊娠や体重減少が原因ではないもの[覚えておいてください、妊娠や
体重減少が多い人の多くにはストレッチマークが20本もありません]

£どんな皮膚の痕跡でも成長は人よりも大きい

£血管や皮膚の色はほとんどの人よりも大きい

£レッドパプルソファニーサイズ

£スキントグ除去済みのものを含む皮膚科医による剃毛
オフ

£膀胱、腸壁などの内部器官を含むあらゆる種類の異常な血管

£人間の95%の過剰を発見するあらゆる皮膚

£皮膚所見、血管の増加を示す巨大なサイズ

£組織形成の増加を示す皮膚所見

皮膚表面の平坦度が増加しました[これはバルトネラ菌、未治療のライム病、または感染症と全身性炎症の両方が原因である可能性があります]

血管が見える皮膚が大きすぎたり、血管の位置が多すぎたりする（例：太ももの表面やふくらはぎの皮膚の表面が非常に厚い血管、足、上腕、肩などに多くの細い血管が爆発している）

£皮膚の灼熱感[これには多くの原因があるかもしれない]。

£原因不明のかゆみと、それを制御するのが難しい

取り除く

£火災、降下化学物質などの明らかな原因のない皮膚浸食

やけど

£小さな傷や傷はゆっくりと治ります

£手術後の回復が非常に遅い

£「肉芽腫」またはボールソフト問題

£蠕動または虫に刺される感覚、虫感覚

皮膚に付着した皮膚の突起

目

£網膜感染症

£網膜梗塞または目の奥の死んだ組織

£神経網膜炎または網膜および視神経の炎症
目の奥

£ブドウ膜炎または目の中間層または目の内側の炎症

£乳頭腫または視神経の腫れ、目の奥に入り込み、頭蓋内圧の上昇

£星黄斑症

£急性かすみ目

£突然および/または重大な変化のビジョン

心臓

£心内膜炎または心臓の炎症

£心臓弁病理学

£心の拡大

£あらゆる量の心臓死の問題

£心臓の不整脈

£無関係の動悸パニック発作

一般医療

£睡眠薬の効果が現れるまでに 30 分かかるのではなく 90 ~ 120 分かかります
分

£不眠症[極度の疲労がある場合、これは当てはまらないかもしれません]

気温98.3度未満の病人。ライム病またはバベシアも存在する場合は、
体温が 99.0 度未満

£原因不明の体内の不快感感染症

£胃食道逆流症(GERD)

£下痢

£大腸炎イソラン結腸の炎症

£明確な原因のない肝臓の拡大

£血管の増殖または内部の数の増加
臓器

£原因不明の病変または傷

£喉が痛いだけで他に明確な理由はない

£45% を超える湿度が持続する喉の痛み[低]
湿気乾燥喉の組織]

£歯肉炎またはフロスの際の出血

£足の裏、特に足の裏に異常な不快感がある
朝

£足の裏のふくらはぎ組織または足の一部

足首の「浮腫」、または押しても凹まない拡張した組織[拡張した組織であり、単なる液体ではないため]

£骨痛

£骨の外表面の炎症骨髄炎

£関節痛[これはライム病や他の多くの医学的問題が原因である可能性もあります]

£筋肉痛[これはライム病や他の多くの医学的問題が原因である可能性もあります]

£「特発性」と表現される医学的問題（原因不明または不明瞭）

£ 2 つのダニ・ノミ感染症の存在。2 つの陽性のダニ・ノミ媒介ウイルス、細菌、または原虫による感染。

前述したように、バルトネラ菌は公開されている遺伝子データベースに 30 種類以上の種があり、おそらく世界中のあらゆる感染症よりも多くのベクターを持っています。したがって、スティック媒介ウイルス、細菌、原虫などの他の感染症の存在が疑われるべきです。これらの感染症には、バベシア、STARI (マスターソン病)、ネオリキア、アナプラズマ、ライムが含まれます。病気、マイコプラズマ、Q 熱、ロッキー山脈斑点熱 (リケッチア)、ダニ媒介回帰熱、野兎病 (細菌)、エーリキア、原虫 FL1953、および CMV、HHV-6、コクサッキー B 型 1、2、3、4、5、6、パルボ B-19 または ポワッサン などのウイルス。

考えられる検査結果

£ IL-6 は非常に安いです。

£ IL-1β ビスベリロー。

£ TNF-α は正常範囲の 10% 未満です。

£ VEGF は正常範囲を上回っています [ただし、バベシアが存在し、治療を受けている場合、VEGF は正常または異常な低レベルに低下します]。

骨の X 線検査で骨損失がわかる可能性があります。

£ 生検ではリンパ節はマイコプラズマ陰性であり、いいえ
他の感染症の明らかな証拠が見つかった

£ 生検リンパ節にサルコイドーシスと同様の症状が見られる

異常ではあるが組織の問題の原因が不明な組織生検

アスワボファの新鮮なひっかき傷の皮膚病変はバルトネラの陽性反応を示した。

環境

£猫と犬への過剰な偶然の暴露

接触

£屋外で迷子になった犬や猫との接触[専門誌の記事数百件のレビューにより、この症状は不明の割合で発生する]

£チクソノミが見つかりました連絡してください

£患者の母親はバルトネラをベースにした疑いがある
新しい直接テストと間接テスト。

£ダニまたはノミ媒介感染症に罹患している兄弟、父親、配偶者または子供が、患者と住居または休暇を共有し、ブラシが近くにある場所

£DEEトンスキンやパーメトリルを使用せずに、低木、野草、原生林や林などの屋外環境への屋外暴露 (すべての衣類に刺されるまでに1回の暴露だけで済みます。「ほとんどの場合」保護具を使用していた場合は、依然として暴露されたこととなります。)

£エクスポシユアトリス

£ノミ虫またはノミ露出

£露出トティックやノミが露出しているペット

£Ascratchfromacat

£アビテフロムアカトルドッグ

£露出と噛みつきハエ

£鹿や小型哺乳類の近くで狩猟、生活、または休暇を過ごす

[バルトネラは膨大な数の保菌者によって保菌されていますが、今のところバルトネラを保菌している割合は不明です。さらに、人間が感染したベクター内のすべての新種を検出する能力は、大規模な研究所でも専門の研究所でも、人間に感染するバルトネラ菌を間接的に検査するのに日常的に利用できるわけではない]。

£Ticksfoundonyourclothing

£Ticksfoundonyourskin

£あなたの家や車、休暇のスポットやレクリエーションエリアで発見されたダニ

バルトネラの雑誌記事の大部分を読めば、バルトネラが何百もの方法で身体に危害を加えていることは明らかであるようです。しかし、診断という目的であれば、誤診を防ぐためには上記の基準で十分であるはずですが。さらに多くの基準が存在します。少なくとも 1,000 件の記事を読まないでバルトネラの立場に関する確実性を主張するのは混乱を招きます。

毎月新しいバルトネラを見つけて理解することで、どのようにしてこれが可能なのでしょうか？ 公共のデータベースには、遺伝的配列がどのようにユニークであるかがほぼ毎月公開される新種も存在します。この精神では、この規模は単にバルトネラの疑惑を高めることを目的としています。これは、いくつかの細菌の成長プレート上で増殖し、その中に浮遊するのにおそらく 50 日かかる超秘密の感染症です。また、化学物質と戦う重要な免疫系を明らかに抑制します。間接的検査を使用せずに治療法を主張し、専門誌に顕著に記載されていますが、有効性を証明するにはさらに調査する必要があります。

シャラー博士は、30 冊の書籍と 27 件のトップジャーナル記事の著者です。

彼の出版物は少なくとも 12 の医学分野の問題に取り組んでいます。

彼はバルトネラに関する最新の教科書を持っています。彼は、米国医師会ジャーナル (JAMA) の元編集者の監督の下でバルトネラに関する論文を発表しており、バルトネラ (バベシア病やライム病とともに) を含む複数のダニやノミによる感染症に関する彼のエントリは、尊敬される雑誌に掲載されました。NIH 感染症局長によって承認された感染症の教科書。彼は、有限な伝統的または統合的で進歩的なものに限定されない、彼の極めてユニークなフルタイムの調査および研究実践に基づいたダニおよびノミ媒介感染症に関する 7 冊のテキストを持っています。

薬。シャラー博士は、これらの新たな問題について長年研究してきました。

著作権 © 2011 JAMES SCHALLER、MD、3 月バージョン 19。

このフォームを書面による許可なしに印刷または投稿する場合、いかなる方法でも変更することはできません。マイナス評価の投稿は禁止です。これらの最後の段落を含む行が編集または変更されていない限り、診断の考察を支援するために印刷することをお勧めします。シャラー博士は、これが完璧な最終形態であるとは主張しておらず、すべての診断上の決定は資格のある医療専門家に委ねられています。すべての翻訳が許可されています。

参考文献 (バルトネラ)

Aberer E. ライムボレリア症--更新. *JDtschDermatolGes.* 2007 May; 5(5):406-14. [英語、ドイツ語の記事]. *JDtschDermatolGes.* 2007年5月; 5(5):406-14. PMID:17451386

アブゼイド WM、ルッケンシュタイン MJ. スピロヘータ学: 正しい病原体を検査していますか? 耳鼻咽喉科頭頸部外科. 2008 Jan; 138(1):107-9. PMID:18165003

Accorinti M. Ocular bartonellosis. *Int J Med Sci.* 2009; 6(3):131-2. Epub 2009 Mar 19. PMID:19319232

Adamska M. [Bartonella spp. as zoonotic pathogen transmitting by blood-feeding arthropods]. [Article in Polish]. *Wiad Parazytol.* 2010; 56(1):1-9. PMID:20450002

Aguero-Rosenfeld ME, Wang G, Schwartz I, Wormser GP. フライメボレリア症の診断. *Clin Microbiol Rev.* 2005 Jul; 18(3):484-509. PMID:16020686

Al-Attar N, Ruimy R, Baron F, Hvas U. Bartonella carditis complicating先天性心疾患. *BMJ Case Rep.* 2009; 2009. pii:bcr06.2008.0092. Epub 2009 Mar 17. PMID:216869

Alves AS, Milhano N, Santos-Silva M, Santos AS, Vilhenam, de Sousa R. バルトネラ属、リケッチア属およびアナプラズマ食細胞性細菌の証拠、国内、保護施設および野良猫の血およびノミ、ポルトガル. *Clin Microbiol Infect.* 2009 Dec; 15 Suppl 2:1-3. Epub 2009 Mar 26. PMID:19416279

Anan'eva LP, Studentsov EE, Levin E. [ライムボレリア症における免疫ブロッティングによる抗ボレリア抗体の検出]. [ロシア語の記事]. *Klin Lab Diagn.* 2002 Jun; (6):45-7. PMID:12132378

AngCW,Notermans DW,Hommes M,Simoons-SmitAM,Heremans T. 抗ボレリア抗体の検出に関するテスト戦略間の大きな違いは、ELISA と免疫ブロットの比較によって明らかになる。EurJClinMicrobiolInfectDis.2011Aug;30(8):1027-

32.Epub2011Jan27.PMID:21271270

AngelakisE,EdouardS,LaScolaB,Raoult D.Bartonellahenselaeinskinbiopsyspecimensofpatientswithcat-scratchdisease.EmergInfectDis.2010Dec;16(12):1963-5.PMID:21122232

AngelakisE,LepidiH,CanelA,RispaP,PerraudeauF,Barrel,RolainJM,RaoultD.バルトネラ・アルサティカルリンパ腺炎のヒト症例。EmergInfectDis.2008Dec;14(12):1951-3。PMID:19046532

アンジェラキス、プルチーニ C、ワトン J、インバート P、ソコロフスキー、エドゥアール S、デラモニカ P、ラウール D.TickBite 後にバルトネラヘンセラによって引き起こされる頭皮スカラおよび首リンパ節炎。ClinInfectDis.2010Feb15;50(4):549-51.PMID:20070235

AngelakisE,RouxV,RaoultD,RolainJM. リアルタイム PCR 戦略と細菌性因子の検出 フライリンパ節炎。EurJClinMicrobiolInfectDis.2009Nov;28(11):1363-8.Epub2009Aug14。PMID:19685089

Arav-BogerR,CrawfordT,SteereAC,HalseyNA. ライム病の症状を示す小脳変性症。小児科感染DisJ。2002年4月;21(4):353-6.PMID:12075773

ArvandM,RaoultD,FeilEJ.高クローン性ヒト病原体の地理的および時間的に多様なサンプルの複数遺伝子座配列タイピング Bartonellaquintana.PLoSOne.2010Mar19;5(3):e9765.PMID:20333257

AssiMA,YaoJD,WalkerRC. ライメディ病に続き、ヒト顆粒球性カナブラズマ症による腎臓移植レシピエント。TransplInfectDis.2007Mar;9(1):66-72.PMID:17313478

アタマニユク I, ラジャ SG, コストルヌイ M. バルトネラヘンセラ経皮移植肺弁心内膜炎: acasereport. *JHeartValveDis*. 2011Jan;20(1):94-7. PMID:21396492

Bacon RM, Biggerstaff BJ, Schriefer ME, Gilmore RD Jr, Philipp MT, Steere AC, Wormser GP, Marques AR, Johnson BJ. ポレリアブルグドルフェリの組換え型 Vls E1 またはペプチド抗原を用いた動態酵素結合免疫吸着法によるライム病の血清診断と全細胞溶解物を用いた2段階検査との比較. *J Infect Dis*.

2003Apr15;187(8):1187-99. Epub 2003Apr2. PMID:12695997

Bakken JS, Dumler JS. ヒト顆粒球指向性プラズマ症の臨床診断と治療. *Ann NY Acad Sci*. 2006Oct;1078:236-47. PMID:17114714

ポール R, シャドミー SV, マイヤー A, フーバー BT, レッフェル MS, ザカリー A, ベロット M, ヒルトン E, ブライアント ジェネヴィア M, シュリーファー ME, ミラー FW, ブラウン MM. ライム病ワクチン接種後に関節炎を発症した人々のポレリアブルグドルフェリオ外表面タンパク質に対する HLA 型と免疫反応。関節炎レビュー。2009年4月;60(4):1179-86。 PMID:19333928

Barbier F, Fournier PE, Dauge MC, Gallien S, Raoult D, Andreumont A, Ruimy R. ブドウ球菌黄色ブドウ球菌心内膜炎におけるバルトネラキンタナ共感染: 高リスク患者におけるスクリーニングの有用性? *Clin Infect Dis*. 2009May1;48(9):1332-3. PMID:19344260

Baty G, Lanotte P, Hocqueloux L, Prazuck T, Bret L, Romano M, Mereghetti L. [血液培養陰性心内膜炎の病因診断に使用される PCR rDNA16]. [フランス語の記事]. *Med Mal Infect*. 2010Jun;40(6):358-62. Epub 2009Sep30. PMID:19796889

Bayliss DB, Sreiner JM, Sucholdolski JS, Radecki SV, Brewer MM, Morris AK, Lappin MR. トキソプラズマゴンジアンおよびバルトネラ種に対する抗体の血清ネコ脾臓リパーゼ免疫反応性濃度および血清有病率 *J Feline Med Surg*. 2009Aug;11(8):663-7. Epub 2009Jun26.

PMID:19560385

BeallMJ,ChandrashekarR,EbertsMD,CyrKE,DinizPP,Mainville C,HegartyBC, CrawfordJM,BreitschwerdtEB.ミネソタ州の犬におけるボレリアバークドゥルフェリ、アナプラズマファゴサイトフィラム、およびエールキア種の血清学のおよび分子的有病率。
VectorBorneZoonoticDis.2008Aug;8(4):455-64.PMID:18302532

BeckerJL.ベクター媒介性疾患と血液供給の安全性。
CurrHematolRep.2003Nov;2(6):511-7.PMID:14561396

ベルガード S、トゥルーエン U、ティボー JC、ザウター ルイ C、ハルトマン K。
関連性オプラインカリシウイルス、猫免疫不全ウイルス、猫白血病ウイルス、猫ヘルペスウイルス、慢性歯肉口内炎を伴う猫のバルトネラヘンセラ。
BerlMunchTierarztlWochenschr.2010Sep-Oct;123(9-10):369-76.PMID:21038808

Bellissimo-Rodrigues F,daFonsecaBA、

MartinezR.Bacillaryangiomatosisinapregnantwomen.IntJGynaecolObstet.2010Oct;111(1):8

ベルナベウ ヴィッテル J、ルケ R、コルビ R、マントラナ ベルメホ M、ナバレテ M、バジェホア、ベルナベウ ヴィッテル M。免疫能の高い患者における典型的な臨床症状を伴う細菌性血管腫症。
IndianJ DermatolVenereolLeprol.2010Nov-Dec;76(6):682-5。
PMID:21079313

BhengrsriS,BaggettHC,PeruskiLFJr,MorwayC,BaiY,FiskTL、
SitdhirasdrA,MaloneySA,DowellSF,KosoyM.Bartonellaspp.infections、
Thailand.EmergInfectDis.2010Apr;16(4):743-5。
PMID:20350414

BhengrsriS,BaggettHC,PeruskiLF,MorwayC,BaiY,FiskTL,SitdhirasdrA、
MaloneySA,DowellSF、

KosoyM.BartonellaserovalenceinruralThailand.SoutheastAsianJTropMedPublicHealth.2

BhideM,YilmazZ,GolcuE,TorunS,MikulaI.Seroprevalenceofanti-

BorreliaburgdorferiantibodiesindogsandhorsesinTurkey.AnnAgricEnvironMed.2008Jun;15(

BiandaJC,DedesW.[結膜肉芽腫におけるバルトネラヘンセラのポリメラーゼ連鎖反応が陽性].[ドイツ語の記事]。

KlinMonblAugenheilkd.2009Apr;226(4):347.Epub2009Apr21.
PMID:19384797

BinnickerMJ,JespersenDJ,HarringJA,RollinsLO,BryantSC,BeitoEM.ライムボレリア症ウエスタンプロットの自動処理、読み取り、および解釈のための2つの商用システムの評価.JClinMicrobiol.2008Jul;46(7):2216-21.Epub2008May7.

PMID:18463211

Bitaml,DittmarK,ParolaP,WhitingMF,Raoult D.Fleasantbornediseases.IntJInfectDis.2010Aug;14(8):e667-76.Epub2010Mar1.PMID:20189862

BlancoJR,Jadol,MarínM,SanfeliuI,PortilloA,AndaP,PonsI,OteoJA.[細菌性病原体が結合する微生物学的診断:アナプラズマ、バルトネラ、リケッチア、トロフェリマホイップライ].[スペイン語の記事].EnfermInfeccMicrobiolClin.2008Nov;26(9):573-80。
PMID:19100178

BodaghiB.[Newetiologicalconceptsinuveitis].
[ArticleinFrench].JFrOphtalmol.2005May;28(5):547-55.PMID:15976725

BodaghiB.[ライム病の眼症状].[フランス語記事].MedMallInfect.2007Jul-Aug;37(7-8):518-22.Epub2007Mar21.PMID:17376626

BoggsSR、

FisherRG.Bonepainandfeverinananadolescentandhissibling.Catscratchdisease(CSD).Pediatrics

ボルトン JG、ガレッカス KJ、サッターEK.成人バルトネラ症の予防接種:acasereport.Cutis.2010Jan;85(1):37-42.PMID:20184210

ボルトリ JM、ハッシュ RB、フォーゲル RL.南東部州の家族医師によるライム病の診断と治療のパターン.JCommunityHealth.2002Dec;27(6):395-402.PMID:12458782

BrandaJA,Aguero-RosenfeldME,FerraroMJ,JohnsonBJ,WormserGP,SteerAC.免疫グロブリンのみを使用した早期および後期ライメ病の2段階抗体検査、FAVを追加したGプロットは2段階目の検査として行われます。ClinInfectDis.2010Jan1;50(1):20-6.PMID:19947857

BrandaJA,LinskeyK,KimYA,SteereAC,FerraroMJ.2つの酵素免疫アッセイを使用したライム病の2段階抗体検査、全細胞音波処理酵素免疫アッセイ、続いてVlsEC6ペプチド酵素免疫アッセイ。ClinInfectDis.2011Sep;53(6):541-7.PMID:21865190

BreitschwerdtEB,MaggiRG.犬ベクター媒介疾患の紛らわしい症例:エールリヒアカニとバルトネラビンソンiiisp.berkhoffii.ParasitVectorsに共感染した犬の臨床徴候と進行。2009Mar26;2Suppl1:S3.PMID:19426442

BreitschwerdtEB,MaggiRG.イヌとヒトのバルトネラ症の医療機能の比較。ClinMicrobiolInfect.2009Dec;15Suppl2:106-7.Epub2009Apr30.PMID:19438635

BreitschwerdtEB,MaggiRG,VaranatM,LinderKE,WeinbergG.IsolationofBartonellavinsonii subsp.berkhoffiigenotypeIIfromaboy

withepithelioidhemangioendotheliomaanddogwithhemangiperictoma.JClinMicrobiol.2009

BrewerNT,WeinsteinND,CuiteCL,

HerringtonJE.Riskperceptionsandtheirrelationtoriskbehavior.AnnBehavMed.2004Apr;27(2)

BrinarVV,HabekM.MSを模倣した稀な感染症.ClinNeurolNeurosurg.2010Sep;112(7):625-8.Epub2010May2.PMID:20439131

BrookI.唾液腺感染症の細菌学.OralMaxillofacSurgClinNorthAm.2009Aug;21(3):269-74.PMID:19608044

BrownDB,HuangYC,KannenbergelS,SherrierDJ,CarlsonRW.
リゾビウム レグミノサルムブの AnacpXL 変異体。ファセオリは 27-ヒドロキシオクタコサン酸ニツツリピドを欠き、決定的な根粒形成宿主植物の共生感染中に発育遅延が発生しました。Phaseolus vulgaris. JBacteriol.2011Sep;193(18):4766-78.Epub2011Jul15.PMID:21764936

BrownEL,KimJH,ReisenbichlerES、

HöökM.MulticomponentLymevaccine:threeisnotacrowd.Vaccine.2005May25;23(28):368

Buchmann AU,KempfvA,Kershaw O,Gruber AD. 猫性肝炎性ペリオシスはバルトネラヘンセラ感染症とは関連していません。VetPathol.
2010年1月;47(1):163-6.PMID:20080497

Bunikis J,Barbour AG、ライム病の疑いに対する臨床検査。
MedClinNorthAm.2002Mar;86(2):311-40.PMID:11982304

BurbeloPD,BrenKE,ChingKH,ColemanA,YangX,KariuT,IadarolaMJ、
PalU.馬のボレリアブルグドルフェリ感染症の抗体プロファイリング。ClinVaccineImmunol.2011Sep;18(9):1562-7.
Epub2011Jul20.PMID:21775514

CapittaP,ZobbaR,MasalaG,CoccoR,Tolas,ParpagliaML。
イタリアにおけるバルトネラ菌株の分離と特徴付け。
TransboundEmergDis.2010Jun;57(3):201-4.Epub2010Mar14.
PMID:20345572

カポネッティ GC、パンタノウィッツ L、マルコーニス、ヘブンズ JM、ランブ LW、オーティス CN.猫ひっかき病のバルトネラヘンセラを特定する免疫組織化学の評価。AmJClinPathol.2009Feb;131(2):250-6.PMID:19141385

CarvounisPE,MehtaAP,GeistCE.ボレリアブルグドルフェリ感染症に関連する眼窩筋炎。眼科。2004May;111(5):1023-8.PMID:15121383

CasaltaJP,Gouriet F,Richet H,Thuny F,HabibG,Raoult D. マルセイユにおける感染性心内膜炎の場合のクシエラバーネットおよびバルトネラ種の有病率 (1994-2007)。

ClinMicrobiolInfect.2009Dec;15Suppl2:152-3.Epub2009Sep28.
PMID:19793124

チエルマコヴァZ、リスコヴァO、ホネグルク、チエルマコヴァE、ハノフコヴァI。
酵素免疫分析を使用したライムボレリア症の診断。

MedSciMonit.2005Apr;11(4):BR121-5.Epub2005Mar24.PMID:15795690

CetinE,SotoudehM,AuerH,Stanek

G.ParadigmBurgenland:riskofBorreliaburgdorferisensulatoinfectionindicatedbyvariablese

ChangCC,ChenYJ,TsengCS,LaiWL,HsuKY,ChangCL,LuCC,HsuYM.バ
ルトネラヘンセラ株とヒト内皮細胞株の相互作用の比較研究。

VetMicrobiol.2011Apr21;149(1-2):147-56.Epub2010Oct7.PMID:21035278

Cherry NA,MaggiRG,CannedyAL、

BreitschwerdtEB.PCRdetectionofBartonellabovisandBartonellahenselaeinthebloodofbeef

CheungVW,MoxhamJP.急性乳突炎を呈する猫傷病.喉頭
鏡.2010;120Suppl4:S222.PMID:21225820

キアラヴィリオ L、ズオンス、ブラウン DA、バートルズ RJ、カービー JE。慢
性バルトネラ感染症の免疫不全マウスモデル。

AmJPathol.2010Jun;176(6):2753-63.Epub2010Apr15.
PMID:20395436

ChmielewskiT,FiettJ,GniadkowskiM,Tylewska-WierzbanowskaS.培養法
と PCR 法の組み合わせによる、検査室での線虫症の認識の改善。

MolDiagn.2003;7(3-
4):155-62.PMID:15068385

Choi P, Qin X, Chen EY, Inglis AF Jr, Ou HC, Perkins JA, Sie KC, Patterson K, Berry S, Manning SC. 持続性小児頸部リンパ節炎における病原体同定のためのポリメラーゼ連鎖反応。

Arch Otolaryngol Head Neck Surg. 2009 Mar; 135(3):243-8.
PMID:19289701

Chomel BB, Kasten RW, Williams C, Wey AC, Henn JB, Maggi R, Carrasco S, Mazet J, Boulouis HJ, Maillard R, Breitschwerdt EB.

Bartonella carditis: a pathology shared by animal reservoirs and patients. Ann NY Acad Sci. 2009; 1172:103-11.

Chu BC, Tam VT. 神経網膜炎を伴う猫ひっかき病の血清学的に証明された症例. Hong Kong Med J. 2009 Oct; 15(5):391-3. PMID:19801700

Colton L, Zeidner N, Lynch T, Kosoy MY. バルトネラタミアのヒト分離株は実験的に接種された免疫正常マウスで病理を誘導します. BMC Infect Dis. 2010 Jul 30; 10:229.
PMID:20673363

Coulter P, Lema C, Flayhart D, Linhardt AS, Aucott JN, Auwaerter PG, Dumler JS. ボレリアブルクドルフェリカルチャーの2年評価とライメディ病の確定診断のための補足テスト. J Clin Microbiol. 2005 Oct; 43(10):5080-4. PMID:16207966

コスタフ、ソンメゼル、カサマツミア、コリッキオー、アンジェリーニC、マルケサーノV、ミコネL、ファルザティB、ジョバネA、フィオリトC、リエンツォM、ピカルディM、アヴァローネB、マルココルシム、サルツビB、カラブロール、サルバトーレP、チッコディコーラA、ナポリC. ダウンジー内の循環内皮前駆細胞の障害ndrome. BMC Med Genomics. 2010年9月13日; 3:40. PMID:20836844

Coyle PK. Lyme disease. Curr Neurol Neurosci Rep. 2002 Nov; 2(6):479-87. PMID:12359100

Cunha BA, Cohen YZ,

McDermott B. Fever of unknown origin (FUO) due to babesiosis in an immunocompetent host. Hepatology. 2003; 37(4):1033-6.

CuriAL,MachadoD,HeringerG,CamposWR,LamasC,RozentalT,
GutierrezA,OreficeF,LemosE.猫ひっかき病:眼症状と視覚的結
果.IntOphysicalmol.2010Oct;30(5):553-8.Epub2010Jul30.PMID:20668914

DaSilvaK,Chussid

S.Catscratchdisease:clinicalconsiderationsforthepediatricdentist.PediatrDent.2009Jan-Feb;3
PMID:19320261

Dabrowska-BieńJ,Pietniczka-Za eskaM,RowickiT. [Catscratchdisease
-- adiagnostic problem, casereport]. [ポーランド語の記事].
耳鼻咽喉科Pol.2009Mar-Apr;63(2):154-7.PMID:19681487

DasBB,WasserE,BryantKA,WoodsCR,YangSG,ZahnM.先天性心疾患を持つ子供の
バルトネラヘンセラによって引き起こされる文化陰性心内膜炎。
PediatrInfectDisJ.2009Oct;28(10):922-5。
PMID:19738506

ダウトヴィッチ・クルキッチ、カヴァジュガ、フェルハトヴィッチ・M、モスタラク・N、ゴヤクル、ハゾ
ヴィッチ・M、ハジッチA.[ボスニア・ヘルツェゴビナのライムボレリア症-
-臨床、実験室、疫学研究].[ボスニア語の記
事].MedArh.2008;62(2):107-10.PMID:18669233

デカプリリス D、ダントス トーレス F、カペリ G、メンケン、スタネック D、ブライトシ
ュヴェルト EB、オトランド D.ベクター媒介病原体によって自然に感染した若い犬
の臨床、血液学的、生化学的所見の進化。
VetMicrobiol.2011Apr21;149(1-2):206-12.Epub2010Oct 16.PMID:21106311

deLaBlanchardièreA,FournierPE,HaustraeteE,duCheyronD,LepageO,
VerdonR. [Bartonellahensalaefollowingaruptureofacerebralaneurysm
による感染性心内膜炎].[フランス語記
事].MedMalInfect.2009Jun;39(6):394-6.Epub2008Dec18.
PMID:19097835

DeMartinoSJ.[ライムボレリア症の診断における生物学的アッセイの役割。現在利用可能な技術とその内容は何か?].[フランス語の記事].MedMalInfect.2007Jul-Aug;37(7-8):496-506.Epub2007May23.PMID:17512148

DeMartinoS,JaulhacB.[ライムボレリア症].[フランス語記事].RevPrat.2005Mar15;55(5):471-7.PMID:15895947

dePazHD,LarreaD,ZunzuneguiS,DehioC,delaCruzF,LlosaM.結合結合タンパク質 TrwB.JBacteriol の機能的解剖.2010Jun;192(11):2655-69.Epub2010Apr2.PMID:20363945

DekkersMJ,DeesA,WeidemaWF,BartelsmanM,VeekenH,HartW.[臨床的思考と意思決定の実践。腹痛、体重減少、発熱のある男性].[オランダ語の記事].NedTijdschrGeneesk.2009Jan31;153(5):174-80.PMID:19256242

DelforgeML.[感染症における血清学検査の有用性について:選択されたトピック].[フランス語の記事].RevMedBrux.2011Sep;32(4):285-8.PMID:22034758

DePietroPaoloDL,PowersJH,GillJM,FoyAJ.Flymedisease の診断.AmFamPhysician.2005Jul15;72(2):297-304.PMID:16050454

デピエトロパオロ DL、パワーズ JH、ギル JM、フォイ AJ。ライメディ病の診断.DelMedJ.2006Jan;78(1):11-8.PMID:16548394

DesenclosJC,LaporteA,BrouquiP.[シラミによる人間の感染症].[フランス語の記事].MedMalInfect.2011Jun;41(6):295-300.Epub2011Mar30.PMID:21450425

DessauRB,BangsborgJM,EjlertsenT,SkarphedinssonS,SchønheiderHC.デンマークにおけるライムボレリア症疑いの診断のための血清学の利用:一般診療で見られる患者の調査。BMCInfectDis.2010Nov1;10:317.PMID:21040576

DessauRB,BangsborgJM,JensenTP,HansenK,LebechAM,AndersenCØ.
[Borreliaburgdorferi による検査室診断感染症].[デンマーク語の記事].UgeskrLaeger.2006Aug21;168(34):2805-7.PMID:16942701

DinizPP,WoodM,MaggiRG,SontakkeS,StepnikM,
BreitschwerdtEB.Bartonellahenselae および Bartonellavinsonii 亜種の共同分離。
Berkhoffii は、2匹の自然に感染した犬の血液、関節および皮下の漿液腫液から採取
されました。VetMicrobiol.2009Sep18;138(3-4):368-72。
Epub2009Feb4.PMID:19560291

DonnellyEF.Preview:Lymediseasevaccines.MedHealthRI.1998Nov;81(11):373-5.PMID:1558079

dosSantosAP,dosSantosRP,BiondoAW,DoraJM,GoldaniLZ,deOliveiraST,
deSáGuimarãesAM,TimenetskyJ,deMoraisHA,GonzálezFH,
MessickJB.HIV 陽性患者のヘモプラズマ感染、ブラジル。
EmergInfectDis.2008Dec;14(12):1922-4。
PMID:19046522

DouglasTA,TamburroD,FredoliniC,EspinaBH,LepeneBS,IllagL,EspinaV,ペトリ
コインEF3rd,LiottaLA,LuchiniA.ヒドロゲル微粒子を隔離し、ライム病の細菌抗原尿
中検査を濃縮する使用法。バイオマテリアル.2011Feb;32(4):1157-66.

Epub2010Oct28.PMID:21035184

DowersKL,HawleyJR,BrewerMM,MorrisAK,RadeckiSV,LappinMR.Association
of Bartonellaspecies、猫カリシウイルス、猫ヘルペスウイルス 1 感染症による歯
肉口内炎、JFelineMedSurg.2010Apr;12(4):314-21.Epub2009Dec2.PMID:19959386

DrummondMR,GilioliR,
VelhoPE.Bartonellosisdiagnosisrequirescarefulevaluation.BrazJInfectDis.2010May-Jun;14(3)
PMID:20835501

DubeyJP,BhatiaCR,LappinMR,FerreiraLR,ThornA,KwokOC。
ペンシルベニア州のトキソプラズマゴンジアおよびバルトネラ属の抗体の血清有病率。JParasitol. 2009Jun;95(3):578-80。
PMID:19061304

DubeyJP,LappinMR,KwokOC,MofyaS,ChikwetoA,BaffaA,DohertyD、
ShakeriJ,MacphersonCN,SharmaRN、グレナダ、西インド諸島の猫のトキソプラズマゴンジアとバルトネラ属菌、猫免疫不全ウイルス、猫白血病ウイルス感染症の血清有病率。JParasitol.2009年10月9日
5(5):1129-33.Epub2009Apr22.PMID:19385716

デュラ・トラヴェット、ヨルディ・ペトリメ、ガリナス・ビクトリアノフ、ラヴィラ・オイザ、ボベ・グリム。バルトネラヘンセラ（猫ひっかき病）による神経網膜炎、13歳の少女。国際ペディアtr。
2010;2010:763105.Epub2010Jun15.PMID:20628521

DuttaA,SchwarzwaldHL,Edwards MS.ヒト免疫不全ウイルス感染症を持つ若者の神経網膜炎を呈する播種性バルトネラ症。
PediatrInfectDisJ.2010Jul;29(7):675-7.PMID:20216243

EdlowJA.Erythemamigrans.MedClinNorthAm.2002Mar;86(2):239-60.PMID:11982300

エドゥアール、ゴニク、ターシー、アンジェラキス、ソコロフシク、ラウルト D。
フランシスセラレンシスによるエスカランド首リンパ節症アフターティックバ
イト:acasereport.JMedCaseReports.2011Mar19;5:108.PMID:21418587

Edouard S, Raoult D.

[Bartonellahenselae,anubiquitousagentofproteiformzoonoticdisease].

[ArticlenFrench].MedMalInfect.2010Jun;40(6):319-30.Epub2009Dec29.PMID:20042306

アイゼンL、アイゼンRJ、チャンCC、ムンJ、レーンRS.ボレリアブルグドルフェリス
ピロヘーテスへのアカロロジクスリスク曝露 :カリフォルニア州北西部における長
期評価、ライメボレリア症リスク評価モデルへの影響を伴
う.MedVetEntomol.2004Mar;18(1):38-49.
PMID:15009444

EldøenG,VikIS,VikE,MidgardR.[LymeneurborreliosisinMoreandRomsdal].
[ノルウェー語の記事].TidsskrNorLaegeforen.2001Jun30;121(17):2008-11.PMID:11875896

ElstonDM,DoH.What'sseatingyou?Catflea(Ctenocepharidesfelis)、パー
ト 1:Clinicalfeaturesandroleasadiseasevector.Cutis.2010May;85(5):231-6.PMID:20540412

EppesSC,ChildsJA.早期ライメディ病の子供たちにおけるセフロキシメアキセチル
対アモキシシリンの比較研究.小児科.2002Jun;109(6):1173-7.PMID:12042561

ErginC,AkkayaY,Kiri Sat Im O,Y ImazC.[ベロとHeLacellsの共培養
によって得られたバルトネラヘンセラ抗原の間接免疫蛍光アッセイ性能の比較],[トル
コ語の記事].MikrobiyolBul.2011Jul;45(3):461-7.PMID:21935 779

EschnerAK.Effectofpassiveimmunoglobulintransferonresultsofdiagnostictestsforantibodies
PMID:19003779

ExnerMM, Lewinski MA. RocheMag NAPure システムとリアルタイム
PCR を使用した脳脊髄液、滑液、血液、尿、ダニからのボレリアブルグドルフェリ
DNA の分離と検出。Diagn Microbiol Infect Dis. 2003 Aug;46(4):235-40。

PMID:12944012

FederHMJr,AbelesM,BernsteinM,Whitaker-WorthD,Grant-KelsJM.診
断、治療、および予後紅斑グラン砂およびライムアース炎.ClinDermatol.2006Nov-
Dec;24(6):509-20。
PMID:17113969

フェンS、カステンRW、ヴェルナーJA、ホジッチE、バルトルドSW、チョメルBB。
Bartonellahenselae P26incats の免疫原性.Vet
ImmunolImmunopathol.2009Dec15;132(2-4):251-6.Epub2009May18.
PMID:19500857

FenimoreA、VaranatM、MaggiR、Schultheiss P、BreitschwerdtE、
LappinMR.Bartonellaspp.DNAincardiac issues from Dogs in Colorado
and Wyoming.JVet InternMed.2011May-6月;25(3):613-6。
PMID:21539606

フォノロサA、ガルドスM、アルタラズJ、ペレス=イレサバルJ、マルティネス=アルディN。
神経網膜炎に関連する閉塞性血管炎と視神経板血管新生。
OculImmunolInflamm.2011Feb;19(1):62-4.Epub2010Oct31.PMID:21034304

FontRL、DelValleM、MitchellBM、BoniukM。猫のひっかき傷炎は組織学的、血清
学的、分子診断によって確認されました。
角膜.2011Apr;30(4):468-71.PMID:21099401

FournierPE、ThunyF、RichetH、LepidiH、CasaltaJP、ArzouniJP、MaurinM、
CélarM、MainardiJL、CausT、CollartF、HabibG、RaoultD。血液培養陰性心内膜炎の
包括的診断戦略:新規症例 819 例の前向き研究。

2010Jul15;51(2):131-40.PMID:20540619

ガンJJ、マンデルAM、オーティスJA、ホルムハメドバM、パーロフMD。
視神経炎の疑い、バルトネラ猫ひっかき病と診断。
ArchNeurol.2011Jan;68(1):122-6.PMID:21220684

GardnerGC、KadelNJ。リウマチ検査の順序と解釈.JAmAcadOrthopSurg.2003
年1月-2月;11(1):60-7。
PMID:12699372

GarroAC、RutmanM、SimonsenK、JaegerJL、ChapinK、LockhartG。小児ライム
髄膜炎の臨床予測モデルの前向き検証。小児科.2009May;123(5):e829-34。

PMID:19403476

Gaumond G, Tyropolis A, Grodzicki S, Bushmich S. ボレリアブルグドルフェリン Ixodescapularisticks の検出のための直接蛍光抗体染色とリアルタイムポリメラーゼ連鎖反応の比較。JVetDiagn Invest. 2006Nov;18(6):583-6. PMID:17121087

Geng Z, Hou XX, Wan KL, Hao Q. [中国の 6 つの省のダニからのボレリアブルグドルフェリスラトの隔離と特定]。
[中国語の記
事]. Zhonghua LiuXing BingXue ZaZhi. 2010Dec;31(12):1346-1348. PMID:21223661

Girard YA, Fedorova N, Lane RS. ボレリアブルグドルフェの遺伝的多様性と北海岸カリフォルニア居住者の B. ビセッティ様 DNA 血清の検出。J Clin Microbiol. 2011Mar;49(3):945-54。
Epub 2010Dec 22. PMID:21177909

Glatz M, Fingerle V, Wilske B, Ambros-Rudolph C, Kerl H, Müllegger RR. マミグラン症患者の長期治療における、VlsE を含む組換えボレリアブルグドルフェリゼンスラト抗原に対する血清反応性の免疫プロット分析。皮膚科。
2008;216(2):93-103. Epub 2008Jan 23. PMID:18216470

Glatz M, Golestani M, Kerl H, Müllegger RR. 抗生物質療法後のボレリアブルグドルフェリア前紅斑性マミグランシスに対する異なる IgG and IgM 血清抗体反応の臨床的関連性: 113 人の患者の長期追跡調査。
Arch Dermatol. 2006Jul;142(7):862-8. PMID:16847202

Godfroid E, Min Hu C, Humair PF, Bollen A, Gern L. PCR リバーラインプロットティング法は、ボレリアヴァライシアナ種のゲノム化学的異種性を強調し、ライメ病への関与の可能性を示唆しています。J Clin Microbiol. 2003Aug;41(8):3690-8。
PMID:12904377

Goldstein RE, Cordner AP, Sandler JL, ベロヒューセン BA, Erb HN. 微量アルブミン尿とボレリアブルグドルフェリン非臨床ラブラドールとゴールデンレトリバーへの曝露の血清学的検査の比較。
JVetDiagn Invest. 2007May;19(3):294-7. PMID:17459861

Gooskens J, Templeton KE, Claas EC, van Dam AP. 脳脊髄液内のボレリアブルグドルフェリゼンストラ DNA の検出のための OSP 遺伝子を対象とした内部制御リアルタイム PCR の評価。Clin Microbiol Infect. 2006 Sep;12(9):894-900. PMID:16882295

Gouriet F, Samson L, Delaage M, Mainardi JL, Meconi S, Drancourt M, Raoult D. 多重化全細菌抗原マイクロアレイ、血清診断の自動化のための新しい形式: 培養陰性心内膜炎パラダイム。Clin Microbiol Infect. 2008 Dec;14(12):1112-8. PMID:19076842

Greco T Jr, Conti-Kelly A, Greco T. 「慢性ライム病」と称される入院患者の抗リン脂質抗体。ループス。2011;20(13):1372-7. Epub 2011 Jul 5. PMID:21729977

Grumbkow PV, Zipp A, Seidenberg V, Fehren-Schmitz L, Kempf VA, Groß U,

Hummel S. Brief communication: Evidence of Bartonella quintana infections in skeleton of. PMID:21710687

Gulati A, Yalamanchili S, Golnik KC,

Lee AG. Cat Scratch Neuroretinitis: The Role of Acute and Convalescent Titers for Diagnosis. J. PMID:21941214

Guptill L. Bartonellosis. Vet Microbiol. 2010 Jan 27;140(3-4):347-59. Epub 2009 Nov 18. PMID:20018462

Guptill L. Feline bartonellosis. Vet Clin North Am Small Anim Pract. 2010 年 11 月;40(6):1073-90. PMID:20933137

ハダッド FA, ナデルマン RB. ライメディ病と心臓。Front Biosci. 2003 年 9 月 1;8:s769-82. PMID:12957829

Halperin JJ. Nervous system Lyme disease. Vector Borne Zoonotic Dis. 2002 Winter;2(4):241-

HamerSA,TsaoJI,WalkerED,MansfieldLS,FosterES,HicklingGJ。
新興ライメ病の見張りとしてペットの犬を評価するためのダニ調査と血清調査の使用。AmJVetRes.2009Jan;70(1):49-56.PMID:19119948

HasslerD,SchnaufferM,EhrfeldH,MüllerE.慢性ライムボレリア症の成功した治療後の特異的免疫応答の消失。IntJMedMicrobiol.2004Apr;293Suppl37:161-4。

PMID:15147000

HenggeUR,TannapfelA,TyringSK,ErbelR,ArendtG,RuzickaT、ライムボレリア症、LancetInfectDis.2003Aug;3(8):489-500。
PMID:12901891

Hernandez-Da-MotaS,Escalante-RazoF.バルトネラ症を引き起こす両側性板神経網膜炎:acasereport.EurJOpthalmol.2009Mar-Apr;19(2):307-9.PMID:19253255

HeymanP,CochezC,BigaignonG,GuillaumeB,ZiziM、VandenveldeC.ベルギーにおけるヒト顆粒球性エールリヒア症 :病気の過小評価されている原因。JInfect.2003Aug;47(2):129-32。
PMID:12860146

HoeyJG,Valois-CruzF,GoldenbergH,VoskoboynikY,PfiffnerJ,TiltonRC、MordechaiE,AdelsonME.バルトネラヘンセラによる急性感染症の診断のための免疫グロブリン捕捉ベースの酵素結合免疫吸着アッセイの開発。

ClinVaccineImmunol.2009Feb;16(2):282-4.Epub2008Dec3。
PMID:19052161

HolmesNE,OpatS,KelmanA,KormanTM.慢性リンパ球性白血病に対する化学療法後の難治性バルトネラキンタナ桿菌血管腫症。
JMedMicrobiol.2011Jan;60(Pt1):142-6。
Epub2010Oct14.PMID:20947664

HolmgrenAR、MattesonEL.Lymemyositis.ArthritisRheum.2006Aug;54(8):2697-700.PMID:16871548

Houck JA, Hojgaard A, Piesman J, Kuchta RD. Borreliaburgdorferis. s. (ライメディ病スピロヘータ) 幼虫 Ixodesscapularis の検出のための低密度マイクロアレイ。 TicksTickBorneDis. 2011Mar;2(1):27-36. Epub 2010Nov27. PMID:21771534

Hristea A, Hristescu S, Ciufecu C, Vasile A. ルーマニアにおけるボレリアブルグドルフェリンの血清有病率。 EurJEpidemiol. 2001;17(9):891-6. PMID:12081110

Hsieh JW, Tung KC, Chen WC, Lin JW, Chien LJ, Hsu YM, Wang HC, Chomel BB, Chang CC. 台湾におけるげっ歯類およびトガリネズミのバルトネラ感染症の疫学。 人獣共通感染症公衆衛生. 2010Sep;57(6):439-46. PMID:19538457

Huang J, Dai L, Lei S, Liao DY, Wang XQ, Luo TY, Chen Y, Hang ZB, Li GD, Dong DD, Xu G, Gu ZC, Hao JL, Hua P, He L, Duan FL. [猫ひっかき病の診断におけるウォーシンスターリーステイン、免疫組織化学および透過電子顕微鏡法の応用]. [中国語記事]. Zhonghua Bing Li Xue Z a Zhi. 2010Apr;39(4):225-9. PMID:20654119

Hufschmidt A, Müller-Felber W, Tzitziridou M, Fietzek UM, Haber LC, Heinen F. 小管磁気刺激には、特発性顔面麻痺と小児ボレリア症を区別する特異性がありません。 EurJPaediatrNeurol. 2008Sep;12(5):366-70. Epub 2008Feb21. PMID:18206409

フンフェルト KP, エルンスト M, ザカリー P, ヤウルハック B, ゾンネボルン HH, プレイド V. ライメ病血清診断のための新しい組換え ELISA の開発と実験室評価。 WienKlinWochenschr. 2002Jul31;114(13-14):580-5. PMID:12422605

Hunfeld KP, Kraiczky P, Kekouk E, Schafer V, Brade V. よく知られた新しく開発された抗菌薬に対するボレリアブルグドルフェリアの標準化された生体外感受性試験--ライム病に対する新しい治療法の可能性の示唆。 IntJMedMicrobiol. 2002Jun;291Suppl33:125-37. PM ID:12141737

Hunfeld KP, Ruzic-Sabljić E, Norris DE, Kraiczy P, Strle F. 抗菌化学療法の前後にエリザマミグラン患者から培養したボレリアブルグドルフェリセンスラト分離株の生体外感受性試験。

フンフェルト KP、スタネック G、シュトラウベ E、ハーゲドルン HJ、シェールナー C、ミュールシュレーゲル F、ブレイド V. ライム病血清学の質。ドイツ語能力試験プログラム 1999 ~ 2001 年のレッスン。予備報告書。Wien Klin Wochenschr. 2002 Jul 31; 114 (13-14): 591-600. PMID: 12422607

Hunt PW. Molecular Diagnosis of infections and resistance in veterinary and human parasites. Vet Parasitol. 2011 Aug 4; 2: 12-46. Epub 2011 May 27. PMID: 21700392

Irshad FA, Gordon RA. Bartonella henselae neuroretinitis in a 15-year-old girl with chronic myelogenous leukemia. JAAPOS. 2009 Dec; 13 (6): 602-4. PMID: 20006827

Ivacic L, リード KD, ミッチェル PD, ゲブラニアス N. A Light Cycle TaqMan assay for detect of Borrelia burgdorferi sensu lato in clinical samples. Diagn Microbiol Infect Dis. 2007 Feb; 57 (2): 137-43. Epub 2006 Sep 20. PMID: 16989975

Jacobs DJ, Scott ML, Slusher MM. 猫傷病による限局性網膜血管炎、BMJ Case Rep. 2009; 2009. pii: bcr09.2008.0904. Epub 2009 Mar 17. PMID: 21686569

Jäderlund KH, Egenvall A, Bergström K, Hedhammar A. 神経学的徴候を有するボレリアブルグドルフェリセンスラトおよびアナプラズマ食細胞フィルミン犬の血清有病率。Vet Rec. 2007 Jun 16; 160 (24): 825-31. PMID: 17575245

James FM, Engiles JB, Beech J. 馬のボレリアブルグドルフェリ感染症に関連する髄膜炎、脳神経炎、根根神経炎。J Am Vet Med Assoc. 2010 Nov 15; 237 (10): 1180-5. PMID: 21073390

Jeanclaude D,GodmerP,Leveiller D,Pouedras P,FournierPE,Raoult D,
Rolain

JM.BartonellaalsaticacardiitisinaFrenchpatientinclosewithwithrabbits.ClinMicrobiolInf

Jennings F,Lambert E,Fredericson M. スポーツ関連の傷害を示す
リュマチ性疾患。SportsMed. 2008;38(11):917-30。
PMID:18937522

JobeDA,LovrichSD,AspKE,Mathiason MA,AlbrechtSE,SchellRF,
CallisterSM. ポレリアブルグドルフェリのポレリア酸性抗体エピトープに基づ
くペプチド酵素結合免疫吸着アッセイによる早期ライム病診断の精度が大幅に向
上しました。OspC. 臨床ワクチン免疫。2008年6月15日
(6):981-5.Epub2008Apr16.PMID:18329555

JohnsonJL,GinsbergHS,ZhiouaE,WhitworthUGJr,MarkowskiD,HylandKE,
HuR.受動的ダニ監視、犬の血清陽性率、および人道中疾患の発生率。
VectorBorneZoonoticDis.2004Summer;4(2):137-42.PMID:15228814

ジョンソン L,エイルワード A,ストリッカー RB. ライメディ病患者の医療アクセ
スとケアの負担: 米国大規模調査. 健康政策. 2011年9月; 102(1):
64-71. Epub 2011Jun14.
PMID:21676482

JohnsonL,StrickerRB.ライメディ病の治
療:amedicolegalassessment.ExpertRevAntiInfectTher.2004Aug;2(4):533-57。
PMID:15482219

JuchnowiczD,RudnikI,CzernikiewiczA,ZajkowskaJ,PancewiczSA.[ハエ脳
症とダニ媒介性脳炎の経過中の精神障害].[ポーランド語の記
事].PrzeglEpidemiol.2002;56Suppl1:37-50.PMID:12194228

KaçarN,Ta liL,DemirkanN,ErginC,ErginS.慢性肝炎を伴う細菌性血管腫症
の HIV 陰性症例 B.JDermatol.2010Aug;37(8):722-5.PMID:20649715

KaiserPO,RiessT,O'RourkeF,LinkeD,
KempfVA.Bartonellaspp.:throwinglightonuncommonhumaninfections.IntJMedMicrobiol.
2011年1月;301(1):7-15.Epub2010Sep15.PMID:20833105

Kalogeropoulos

C,KoumpoulisI,MentisA,PappaC,ZafeiropoulosP,AspiotisM.Bartonellaandintraocularinflammation

カモイク、吉田、高瀬、横田、川口、望月、東京におけるブドウ膜炎を伴うバルトネラヘンセラの血清有病率、および健康な個人。

3.Epub2009Oct22.PMID:19847604

KanjwalK,KarabinB,KanjwalY,GrubbBP.ライメ病に続く体位起立性頻脈症候群。CardiolJ.
2011;18(1):63-6.PMID:21305487

KantasiI,KatotomichelakisM,VafiadisM,KaloutsasZV,
PapadakisCE.漿液性迷路炎、猫ひっかき病の症状:acasereport.JMedCaseReports.2009Sep15;3:7405.
PMID:20519021

Karan'LS,KoliasnikovaNM,ToporkovaMG,MakhnevaMA,
NadezhdinaMV,EsaulkovaAlu,RomanenkoVV,ArumovaEA,PlatonovAE,
MaleevVV.[さまざまなダニ媒介感染症の診断のためのリアルタイムポリメラーゼ連鎖反応の使用].[ロシア語の記事].ZhMikrobiolEpidemiolImmunobiol.20105月-6月;(3):72-7.PMID:20734723

KarolakJ,Gotz-WipckowskaA.[猫のひっかき傷による神経網膜炎]。
[ポーランド語の記事].KlinOczna.2010;112(4-6):131-4.PMID:20825068

KarosiT,RáczT,SzekaneczE,TóthA,Sziklai,不顕性ライムボレリア症による反復性喉頭神経麻痺、JLaryngolOtol.
2010Mar;124(3):336-8.Epub2009Sep10.PMID:19740453

KarrisMY,LitwinCM,DongHS、

VinetzJ.BartonellahenselaeInfectionofProstheticAorticValveAssociatedwithColitis.VectorB
PMID:21702667

KaufmannJ,BuccolaJM,SteadW,RowleyC,WongM,BatesCK.健康な成人
における二次症状パルボウイルスB19感
染.JGenInternMed.2007Jun;22(6):877-8.Epub2007Mar24.
PMID:17384979

KayaAD,ParlakAH,OzturkCE,Behcet M.トルコ北西部ドゥズジェの林業労働
者と農民の間のボレリアブルグドルフェリ感染症の血清有病率。
NewMicrobiol.2008Apr;31(2):203-9。
PMID:18623985

KellyJJ.末梢神経障害の評価。パート III:血管炎性、感染性、遺伝性、および特発性
神経障害。RevNeurolDis。
2005 春;2(2):70-9.PMID:19813300

クードリー、フレモント G、フラジュール B、ブリエール J、デュペールトレ L、ヴィギエ M。
[両側舌リンパ節腫脹性テマノドサム :猫ひっかき病の珍しい症状],[フランス語
の記事]。
RevMedInterne.2011Mar;32(3):e34-6.Epub2010Jun19。
PMID:20646798

KimD,Kordick D,DiversT,ChangYF.レプトスピラ種およびボレリアブルグド
ルフェリのインビトロ感受性はトアモキシシリン、チルミコシン、アンデンロフロキ
サシンを分離します。JVet Sci. 2006Dec;7(4):355-9。
PMID:17106227

クロツツ SA、イアナス V、エリオット SP、猫ひっかき病、アムファム医師。
2011年1月15日;83(2):152-5.PMID:21243990

古賀T、田口J、鈴木M、比嘉Y、上村T、西村M、荒川

M.Catscratchdiseasepresentingwithretroperitonealabscessinapatientwithoutanimalcontac

KonevaOA,Anan'evaLP,ShtannikovAV,EvsegneevSI,
BaranovaEV.[間接免疫蛍光によるイクソデスティックボレリア症の抗体
同定のための抗原としてボレリアブルグドルフェリゼンストラトのさまざまな
遺伝子型の2株を使用した比較分析].[ロシア語の記
事].KlinLabDiagn.2003May;(5):41-3.PMID:12822309

クーム、マナリス、バンコウスキーMJ、サンパスR、ホフスタッドラーSA、クーJ。
「サイレント培養陰性」腹部大動脈真菌性動脈瘤:PCR およびハイスループット質量
分析法を使用したバルトネラ種の迅速検出。Hawaii Med
J.2010Mar;69(3):68-9.PMID:20397506

KornreichBG,CravenM,McDonough SP,NydamDV,ScorzaV,
AssarasakornS,LappinM,SimpsonKW. アーカイブ心臓弁セクションにおけ
る細菌種の同定のための蛍光その場ハイブリダイゼーション犬細菌性心内膜炎。
JCompPathol。
2011Oct24.[Epubaheadofprint].PMID:22030263

KrausePJ,McKayK,ThompsonCA,SikandVK,LentzR,LeporeT,ClosterL,
ChristiansonD,TelfordSR,PersingD,RadolfJD,SpielmanA;鹿関連感染
研究グループ。ダニ媒介人獣共通感染症の疾患特異的診断:バベシア症、ヒト顆粒球
性ヘルリキア症、およびライメ
病。ClinInfectDis.2002May1;34(9):1184-91 .Epub2002Apr4.PMID:11941544

Krupkai,Knauerj,Lorentzenl,O'Connortp,Saucierj,

Straubingerrk.borreliaburgdorferisEnsulateSuspeciesiSureaupediverseimmuneresponsaga
PMID:19726618

Krupkal,Straubinger RK.犬と猫のライムボレリア症:背景、診断、治療、ボ
レリアブルグドルフェリゼンシュトリクト感染症の予
防。VetClinNorthAmSmallAnimPract.2010Nov;40(6):1103-19.PMID:20933139

Kubicka-Trzaska A, Oleksy P, Karska-Bastal, Romanowska-Dixon B. [急性後部多巣性薄片色素上皮症 (APMPPE) — 治療ジレンマ]. [ポーランド語の記事]. *KlinOczna*. 2010;112(4-6):127-30. PMID:20825067

Kubová Z, Szanyi J, Langrová J, Kremláček J, Kuba M, Honegr K. Motion-onset and pattern-

reversal visual evoked potentials in diagnosis of neuroborreliosis. *J Clin Neurophysiol*. 2006

Kvasnicka H M, Thiele J. [骨髄内の肉芽腫性病変の分化]. [ドイツ語の記事]. *Pathologe*. 2002 Nov;23(6):465-71. Epub 2002 Oct 8. PMID:12436300

Lagal V, Postić D, Ruzić-Sabljić E, Baranton G. ospC 遺伝子の一本鎖構造多型分析によって決定されるボレリア株間の遺伝的多様性および侵襲性との関連。 *J Clin Microbiol*. 2003 Nov;41(11):5059-65。

PMID:14605139

Lakos A, Reiczigel J, Solymosi N. ダニ媒介疾患の外来患者サービスに送られる患者の症状に照らしたボレリアブルクドルフェリ血清学の陽性的中率。 *Inflamm Res*. 2010 Nov;59(11):959-64. Epub 2010 May 13. PMID:20461540

Lange D, Oeder C, Waltermann K, Mueller A, Oehme A, Rohrberg R, Marsch W, Fischer M. Bacillary
PMID:19298547

Ledue T B, Collins M F, Young J, Schriefer M E. ボレリアブルクドルフェリアンの検出およびライム病の診断のための組み合わせ VlsE ベースのリゾニン化学発光免疫アッセイの評価。 *Clin Vaccine Immunol*. 2008 Dec;15(12):1796-804. Epub 2008 Oct 22.

PMID:18945880

LemosER,Mares-GuiaMA,AlmeidaDN,SilvaRG,SilvaCM,Britto C,LamasCC.[頸部カラデノメガリと南アフリカから帰国中のバルトネラスピナブラジル人患者の抗体に関連する旅行者熱],[ポルトガル語の記事].RevSocBrasMedTrop.2010Jul-8月;43(4):472-3. PMID:20802956

LencákováD,FingerleV,StefancíkováA,Schulte-SpechtelU,PetkoB,SchréterI,WilskeB.スロバキアにおけるライム病検出のための組換えライン免疫プロットの評価:他の2つの免疫アッセイとの比較。VectorBorneZoonoticDis.2008Jun;8(3):381-90.

PMID:18279004

LessevaM,Christoval,Miloshev G.Borreliaburgdorferi からの組換え鞭毛タンパク質のクローニングと発現。FoliaMed(Plovdiv).2007;49(3-4):58-62.PMID:18504936

LevyS,O'ConnorTP,HanscomJL,ShieldsP.Utilityofanin-office C6ELISAtestkit for determination of infection status of Dogs naturally expokesto Borreliaburgdorferi.VetTher.2002Fall;3(3):308-15.PMID:12447839

リーンハルトB,イランS,ガスペルタA,ヴァイスハウプトD,ベラーA。バルトネラヘンセラ肺移植レシピエントによる伝播感染。JHeartLungTransplant.2009Jul;28(7):736-9。 PMID:19560704

Liney,TsigrelisC,BaddourLM,LepidiH,RolainJM,PatelR,RaoultD.Candidatusバルトネラマヨチモネンシス心内膜炎。EmergInfectDis.2010Mar;16(3):500-3.PMID:20202430

LittmanMP.犬ボレリア症。VetClinNorthAmSmallAnimPract。2003年7月;33(4):827-62.PMID:12910746

LjøstadU,SkarpaasT,Mygland A.急性ライメン神経ボレリア症の髄腔内抗体検査の臨床的有用性。EurJNeurol.2007Aug;14(8):873-6.PMID:17662007

Loeckxl,ThuerlinckxD,JespersS,Marchant AS,Bodart E.[全身性猫ひっかき病の自然発症の臨床例].[フランス語の記事].RevMedLiege.2010Feb;65(2):78-80.PMID:20344917

ロペス-アルベローラRF.神経ボレリア症と小児人

□:areview.RevNeurol.2006Apr10;42Suppl3:S91-6.PMID:16642458

LünemannJD,GelderblomH,SospedraM,QuandtJA,PinillaC,MarquesA,MartinR. 脳脊髄液浸潤 CD4+T 細胞はボレリアブルグドルフェリリンに富んだタンパク質ドメインと中枢神経系自己抗原を認識し、ほぼ中脳炎を示します。感染免疫。2007年1月;75(1):243-51.Epub2006Oct23.PMID:17060473

リンチ T、アイバーソン J、コソイ M.バルトネラの培養技術の組み合わせ:
両方の世界のベス

ト.JClinMicrobiol.2011Apr;49(4):1363-8.Epub2011Feb2.PMID:21289156

MacarezR,BazinS,LagaucheD,SoulliéB,GiordanoP,MayF,GuigonB.

[ボレリア症と関連したレバー遺伝性視神経障害の発症].[フランス語記事].JFrOphtalmol.2005Dec;28(10):1095-100.PMID:16395203

マクドナルド K.犬の感染性心内膜炎:診断と治療。

VetClinNorthAmSmallAnimPract.2010Jul;40(4):665-84。

PMID:20610018

MagalhãesRF,CintraML,Barjas-CastroML,DelNegroGM,OKTS、

VelhoPE.BlooddonorinfectedwithBartonellahenselae.TransfusMed.2010Aug1;20(4):280-2

MagalhãesRF,UrsoPitassiLH,LaniaBG,Barjas-CastroML、

NevesFerreiraVelhoPE.Bartonellosisascaseofdeathafterredbloodcellunittransfusion.Ult
PMID:19728230

MaggiRG,MascarelliPE,PultorakEL,HegartyBC,BradleyJM,MozayeniBR,BreitschwerdtEB.Bartonellaspp.bacteremiainhigh-

riskimmunocompientents.DiagnMicrobiolInfectDis.2011Dec;71(4):430-7.Epub2011Oct13.PM

MaggiRG,ReichertS,ToliverM,Engber B.ノースカロライナ州の海岸平野から収集されたイクソデス・アフィニおよびイクソデス肩甲骨のボレリア種。Ticks TickBorneDis.2010Dec;1(4):168-71。 Epub2010Oct20.PMID:21771524

MagnarelliLA,BushmichSL,IJdoJW,FikrigE.Borrelia burgdorferi 抗体 および Anaplasma phagocytophilum cats に対する抗体の血清有病率。AmJVetRes.2005Nov;66(11):1895-9。 PMID:16334946

MagnarelliLA,Lawrenz M,Norris SJ,Fikrig E. ライムボレリア症のクラス特異的酵素結合免疫吸着アッセイにおけるヒト血清組換え体 Vls および他のボレリアブルグドルフェリアン抗原の反応性の比較。JMedMicrobiol. 2002Aug;51(8):649-55。 PMID:12171295

MagnarelliLA,StaffordKC3rd,IJdoJW,FikrigE.ボレリアブルグドルフェリ、アナプラズマファゴサイトフィルム、およびシロアシネズミのバベシアマイクロチンの抗体ストウホール細胞または組換え抗原。JWildlDis.2006Oct;42(4):732-8.PMID:17255439

MagriJM,JohnsonMT,HerringTA,GreenblattJF.ライメディ病の知識、信念、ニューハンプシャーのプライマリケア医師の実践。JAmBoardFamPract.2002Jul-8月;15(4):277-84。 PMID:12150460

MaguiñaC,GuerraH,VentosillaP.Bartonellosis.ClinDermatol.2009May-6月;27(3):271-80.PMID:19362689

ManalaiP,BhalavatRM,DobbsMR,LippmannS.ComafalselyattributedtoLymedisease.JKyMedAssoc.2008Jul;106(7):317-9。 PMID:18777697

MarangoniA,Moronia,AccardoS、

CeveniniR.BorreliaburgdorferiVlsEantigenfortheserologicaldiagnosisofLymeborreliaosis
PMID:18197445

MarienfildCB,DicapuaDB,SzeGK,GoldsteinJM.免疫有能な成人における
バルトネラヘンセラ感染症による脳炎の発現として表出性失語
症.YaleJBiolMed.2010Jun;83(2):67-71.PMID:20589186

MartínL,VidalL,CampinsA,SalváF,RieraM,CarrilloA、
SáezdelbarraJI.Bartonellaasa 血液培養陰性心内膜炎の原因。
説明offivecases.[英語、スペイン語の記
事].RevEspCardiol.2009Jun;62(6):694-7.PMID:19480767

Martinez-DiazGJ,KimJ,BrucknerAL.顔面結節のある幼児:acaseofidiopathy顔
面無菌性肉芽腫.DermatolOnlineJ.2010Jan15;16(1):9.PMID:20137751

Marques AR,Hornung RL,DallyL,Philipp MT. 免疫複合体の検出はライム病患者
の抗体の検出とは独立しておらず、Borreliaburgdorferi による活性感染は
確認されません。Clin DiagnLab Immunol. 2005Sep;12(9):1036-40。

PMID:16148168

丸山修司.[猫ひっかき病].[日本語記事].日本臨
書.2010Jun;68Suppl6:244-7.PMID:20942049

マストランドレアス、シモネッタタラスM、カピッタP、トラス、マラスV、ストラスジG、マ
サラG。バルトネラヘンセラエの検出 - 免疫担当女性の大結節肝炎のDNA。臨床微生物
物感染。
2009Dec;15Suppl2:116-7.Epub2009Sep28.PMID:19793123

MavinS,EvansR,MilnerRM,ChattertonJM,Ho-

YenDO.LocalBorreliaburgdorferisensustrictoandBorreliiaafzeliistrainsinasinglemixeddan

メイビンズ、ホブキンス PC、マクレナンナ、ジョソー、ホーイエン DO. スコットランド高原におけるライム病の都市と地方のリスク。ScottMedJ.

2009年5月;54(2):24-6.PMID:19530498

Mavins,McDonaghS,EvansR,MilnerRM,ChattertonJM,Ho-YenDO.ライムボレリア症のウェスタンプロット診断における解釈基

準.BrJBiomedSci.2011;68(1):5-10.PMID:21473255

MazepaAW,KiddLB,YoungKM,Trepanier LA. 感染症地域に居住する 26 匹のアナプラズマファゴサイトフィラム血清陽性犬の臨床プレゼンテーション。

JAmAnimHospAssoc. 2010Nov-Dec;46(6):405-12。

PMID:21041333

マクギニス J、ボーンカー BK、マラクーティ M、マン M、サック DM。海軍と海兵隊のライメディ病報告 (1997-2000)。

2003 年 12 月;168(12):1011-4.PMID:14719627

MeadP.Lymediseasetesting.LancetInfectDis.2006Mar;6(3):122-3。

PMID:16500589

MetzCH,BuerJ,BornfeldN,LipskiA. 両側性バルトネラヘンセラ神経網膜炎、星状黄斑症、6 歳男児。感染症。

2011Aug9.[Epubaheadofprint].PMID:21826435

MeynielC,WiertelwskiS.[視神経炎].[フランス語記

事].RevMedInterne.2010Jul;31(7):481-5.PMID:20434241

MichosA,DessyprisN,PourtsidisA,MoschoviM,PolychronopoulouS、Athanasiadou-PiperopoulouF,KalmantiM,SyriopoulouVP、

MavrouliMD,PetridouET. 感染症への遅延曝露と小児リンパ腫 :症例対照研究。がんの原因制御。

2009Jul;20(5):795-802.Epub2009Jan25.PMID:19169895

MietzeA,Morick D,KöhlerH,HarrusS,DehioC,Noltel,GoetheR. 猫から分離されたバルトネラヘンセラのMLSTとAFLPのタイピングを組み合わせた結果、新しい配列タイプが明らかになり、子宮の進化が示唆されました。

VetMicrobiol.2011Mar24;148(2-4):238-45.Epub2010Sep21。

PMID:20863631

Misi -MajerusL,Boji N,Madari V,Avsic-ZupancT.[反逆型ダニ媒介髄膜脳炎],[クロアチア語の記事].ActaMedCroatica.2003;57(2):111-6.PMID:12879690

ミッチェル BM、フォント RL. 猫ひっかき病と結膜の桿菌性血管腫症の診断のためのバルトネラヘンセラの分子検出. 角膜. 2011Jul;30(7):807-14.PMID:21282991

モーフェンソンLM、ブレイディMT、ダナーSP、ドミンゲスKL、ハズラーR、ハンデルスマンE、ヘイブンスP、ネスハイムス、リードJS、サーチャックL、ヴァンダイクR; 疾病管理予防センター;国立衛生研究所;アメリカ感染症学会HIVM;小児感染症学会;アメリカ HIV 感染者と HIV 感染者の日和見感染症の予防と治療に関するガイドライン: CDC、国立衛生研究所、HIV 感染症学会、米国感染症学会、米国小児科学会からの推奨事項。MMWRRe通信担当者2009年9月4日;58(RR-11):1-166.PMID:19730409

MontcriolA,Benard F,Fenollar F,RibeiriA,BonnetM,Collart F,Guidon C.致死性心筋炎関連バルトネラキンタナ心内膜炎:acasereport.JMedCaseReports.2009Jul17;3:7325。PMID:19830188

モリソン C、サイフター A、オーコット JN.ライム病の異常な表現:血清学的陰性のホルナー症候群.JAmBoardFamMed.2009Mar-4pr;22(2):219-22.PMID:19264948

Morway C,KosoyM,EisenR,Montenieri J,Sheff K,Reynolds PJ,Powers N.ワラネズミとノミの集団におけるバルトネラ感染症の縦断研究.JVector Ecol. 2008Dec;33(2):353-64。PMID:19263856

ムラーゼクV、バルトウネクP、ヴァレイキャップ、ヤノフスカード、ピナール、フリンスカード。
[2つの集団における抗ボレリア抗体の有病率:同じデータのさまざまな解釈]。
[チェコ語の記
事].EpidemiolMikrobiolImmunol.2002Feb;51(1):19-22.PMID:11881295

MuenzelD,DuetschS,FausserC,Slotta-HuspeninaJ,GaaJ,
RummenyEJ,HolzappelK.拡散強調磁気共鳴画像法頸部リンパ節腫脹:悪性疾患
を模倣したバルトネラヘンセラ感染症患者の3例の報告。
ActaRadiol.2009Oct;50(8):914-6 .PMID:19636985

MulleggerRR,GlatzM.皮膚ライムボレリア症患者に役立つIserologicalフォロ
ーアップ?CurrProblDermatol.2009;37:178-
82.Epub2009Apr8.PMID:19367102

MüllerNF,KaiserPO,LinkeD,SchwarzH,RiessT,SchäferA,EbleJA,KempfVA.
バルトネラヘンセラエ、バルトネラキンタナ、エルシニアの腸内結核マトリックス成分
と内皮細胞の三量体自動輸送体の接着依存性接着、静的および動的流動条件。Infect
Immun.2011Jul;79(7):2544-53.Epub2011May2.PMID:21536788

MurdochW,RosinFC.1つのプレゼンテーション、2つの大陸:遺伝学的に類似
した個別の個体の左手首筋炎。JAmBoardFamMed.2009Jul-8
月;22(4):408-11.PMID:19587255

MurrayMA,ZameckiKJ,PaskowskiJ,LelliGJJr.眼桿菌性血管腫症免疫無防備
状態の人。眼底再構築手術。2010年9月-10月;26(5):371-2.PMID:20683276

MurrayTS,
ShapiroED.Lymedisease.ClinLabMed.2010Mar;30(1):311-28.PMID:20513553

MyintKS,ギボンズRV,アイバーソンJ,シュレスタSK,パブリンJA,モン
ゴルシリチャイクルD,コソイMY.ネパールからの発熱患者のバルトネラ種に対する
血清学的応答。TransRSocTropMedHyg.
2011Dec;105(12):740-2.Epub2011Sep28.PMID:21955739

NaesensR,VermeirenS, VanSchaerenJ, JeurissenA. 梅毒による偽陽性リメ血清学: 6 例の報告と文献のレビュー。ActaClinBelg. 2011 Jan-Feb;66(1):58-9.PMID:21485767

NamekataMS, CliffordDL, KastenRW, HennJB, GarcelonDK, CoonanTJ, ChomelBB. Seropre

NghiemPP, SchatzbergSJ. 急性神経系患者のための従来の分子診断検査。JVetEmergCritCare(サンアントニオ). 2010Feb;20(1):46-61.PMID:20230434

ニグロヴィクル、トンプソン AD、ファインアム、キミア A. 末梢顔面神経麻痺を持つ子供たちのライム病の臨床予測者、ライム病風土病領域の救急部門。小児科。

2008Nov;122(5):e1080-5.Epub2008Oct17.PMID:18931349

ニジセン、チェスカウ、ヴァイシエ・タウサット、ワン・J、ビヴィル・F.
Bartonellabirtlesii のニロロンおよびヘム取り込みに関するメカニズム
の同定: insilico and invivo
approach.ClinMicrobiolInfect.2009Dec;15Suppl2:118-9.Epub2009Apr30.
PMID:19438629

西尾、久保田、中尾、日高、9 歳女児の脳症を伴う引っ掻き傷。PediatrInt.
2008Dec;50(6):823-4.
PMID:19067901

NunesRosadoFG, StrattonCW, MosseCA. 小児細菌性リンパ腺炎の疫学
および組織病理学的特徴の臨床病理学的相関関係。
ArchPatholLabMed.2011Nov;135(11):1490-3.PMID:22032579

OccorsioP, OrsoG, diMartinoL. [ダニと小児科医]. [イタリア語の記事]. Parassitologia. 2004Jun;46(1-2):115-8. PMID:15305698

O'Connor TP, Esty KJ, Hanscom JL, Shields P, Philipp MT. 一般的なライメ
ディ病ワクチンでワクチン接種された犬は、ボレリアブルグドルフェリの Vls E
表面タンパク質の保存された免疫優勢領域である IR6 に反応しません。
ClinDiagnLab Immunol.2004May;11(3):458-62.PMID:1 5138170

Oliver J, Means RG, Kogut S, Prusinski M, Howard JJ, Layne LJ, Chu FK, Reddy A,
Leel L, White DJ. ニューヨーク州の小型哺乳類におけるボレリアブルグドルフェリ
の蔓延。J Med Entomol. 2006 Sep; 43(5):924-35. PMID: 17017230

オーウェン DC. 湾岸戦争症候群は実際に慢性ライメディ病なのか? 医学仮
説. 2005; 64(4):717-20. PMID: 15694687

Pachner AR, Dail D, Li L, Gurey L, Feng S, Hodzic E, Barthold S. 非ヒト霊長
類における脳脊髄炎に関連する体液性免疫反応: 免疫プロットングおよび
超音波処理または組換えタンパク質による酵素結合免疫吸着アッセイによる分析。
ClinDiagnLab Immunol. 2002 Nov; 9(6):1348-55. PMID: 12414773

パレチェック T, クチンキャップ, フーリンスカ D, シュラムロヴァ J, フルバックヴ
ァ H, ヴィトコヴァ, シメクス, ホーラック J, ルーシュ WE, リンハート A. 新規発
症の原因不明の拡張型心筋症の入院患者のボレリアブルグドルフェリ子宮内心筋
生検の存在。Med Microbiol Immunol.
2010年5月; 199(2):139-43. Epub 2010年1月6日. PMID: 20052487

Panic G, Stanulovic V, Popov T. 播種性ライム病の最初の症状としての房室ブロ
ック. Int J Cardiol. 2011 Aug 4; 150(3):e104-6. Epub 2010 Mar 11. PMID: 20226549

Papadopoulou E, Michailidi E, Papadopoulou E, Paspalaki P, Vlahakis I,
Kalmanti M. 小児期の頸椎リンパ節症疫学と管理。
Pediatr Hematol Oncol. 2009 Sep; 26(6):454-60.
PMID: 19657996

Pape M, Mandraveli K, Alexiou-Daniel S. ギリシャ北部のバルトネラ感染
症の臨床的側
面. Clin Microbiol Infect. 2009 Dec; 15 Suppl 2:91-2. Epub 2009 May 18. PMID: 19456804

PatilN,Bariola JR,SaccenteM,VyaskS,Bradsher RWJr.Aclinical review of Lymedisease in Arkansas.JArkMedSoc.2010Feb;106(8):186-8.PMID:20218039

PennisiMG,LaCameraE,GiacobbeL,OrlandellaBM,LentiniV,ZummoS,FeraMT.バルトネラヘンゼラエおよびバルトネラクラリッジアのイタリア南部のペット猫の臨床サンプルの分子検出。ResVet Sci.2010Jun;88(3):379-84.Epub2009Dec5. PMID:19963231

Perez C,Hummel JB,Keene BW,MaggiRG,Diniz PP,BreitschwerdtEB.Successfultreatment of

Bartonellahenselaeendocardiitisinacat.JFelineMedSurg.2010Jun;12(6):483-6.Epub2010F PMID:20138559

PérezC,MaggiRG,DinizPP,BreitschwerdtEB.米国からの61頭の犬におけるバルトネラ感染症の分子的小および血清学的診断。JVetInternMed.2011Jul-8月;25(4):805-10.Epub2011May25.PMID:21615498

PérezGJ,MunitaSJ,AraosBR,LópezGJ,StevensonAR,GonzálezAP,PérezCD,NoriegaRL.[Catscratchdiseaseassociated neuroretinitis:clinicalreportandreviewoftheliterature]. [ArticleinSpanish].RevChilenaInfectol.2010Oct;27(5):417-22. PMID:21186508

PetersGB3rd,BakriSJ,KrohelGB.若年成人における非外傷性第六神経麻痺の原因と予後。眼科。2002年10月;109(10):1925-8.PMID:12359616

PfrommerS,MaierM,MayerC,ErbenA,EngelmannV,LohmannCP.[血管増殖性網膜腫瘍].[ドイツ語の記事]。眼科。2011Mar;108(3):265-8.PMID:21153829

PhillipsSE,BurrascanoJJ,HorowitzR,SavelyVR,StrickerRB.Lymediseasetesting.LancetInfectDis.2006Mar;6(3):122. PMID:16500590

ピエラール フランシモン C、カトルスーズ P、ピエラール GE.バルトネラ感染症に関連する皮膚疾患:事実と論争.ClinDermatol.2010Sep-Oct;28(5):483-8.PMID:20797506

PinnaA、プーリア E、DoreS.猫ひっかき病の珍しい網膜症状.IntOphysical.2011Apr;31(2):125-8.Epub2011Jan26.PMID:21267628

PitassiLH、CintraML、FerreiraMR、MagalhãesRF、VelhoPE.Bloodcellfindings類似Bartonellaspp.UltrastructPathol.2010Feb;34(1):2-6.PMID:20070147

Podsiad yE、SapiejkaE、Dabrowska-BieńJ、MajkowskiJ、Tylewska-WierzbanskaS.[猫のひっかき病の診断とバルトネラ症の現在の認識方法 - 症例報告].[ポーランド語の記事]。PolMerkurLekarski.2009Feb;26(152):131-5.PMID:19388519

PolatE、TurhanV、AslanM、MüsellimB、OnemY、Ertu rulB。[トルコで人間のライムカゼシンが確認された 3 つの文化に関する最初の報告]。[トルコ語の記事]。MikrobiyolBul.2010Jan;44(1):133-9。PMID:20455410

PomelovaVG、KharitonenkovaIG、SadykbekovaRK、BychenkovaTA、Anan'evaLP、SokolovaMV、OsinNS。[イソフィツソデスボレリア症の血清診断のための免疫酵素および免疫蛍光検査システムの設計と臨床検査]。[ロシア語の記事]。VestnRossAkadMedNauk.2004;(1):3-7。PM ID:15022545

PourelJ。[関節と筋肉の症状の場合のライムボレリア症の臨床診断]。[フランス語の記事]。MedMallInfect.2007Jul-Aug;37(7-8):523-31.Epub2007Mar26.PMID:17368783

ProbertW、LouieJK、TuckerJR、LongoriaR、HogueR、MolerS、GravesM、PalmerHJ、CassadyJ、FritzCL.Meningitisduetoa “Bartonellawashoensis”-like humanpathogen.JClinMicrobiol.2009Jul;47(7):2332-5.Epub2009May13.PMID:19439538

Przytu aL, Gińdzieńska-Sie kiewiczE, SierakowskiS. [リンパ節炎の診断と治療]. [ポーランド語の記事]. *PrzegłEpidemiol.* 2006;60Suppl1:125-30. PMID:16909789

PulliaainenAT, DehioC. *Bartonellahenselae* 転座した細菌エフェクタータンパク質による血管内皮細胞機能の破壊。
IntJBiochemCellBiol. 2009Mar;41(3):507-10. Epub2008Oct25.
PMID:18992392

QueYA, MoreillonP. 感染性心内膜炎。
NatRevCardiol. 2011Jun;8(6):322-36. Epub2011Apr12. PMID:21487430

QuebatteM, DehioM, TropelD, BaslerA, TollerI, RaddatzG, EngelP, HuserS, ScheinH, LindroosHL, Andersson SG, DehioC. TheBatR/BatS二成分調節システムは、ヒト内皮細胞感染症中のバルトネラヘンセレーの頭部適応応答を制御します。
JBacteriol. 2010Jul;192 (13):3352-67. Epub2010Apr23.

PMID:20418395

QureshiM, Bedlack RS, CudkowiczME. 筋萎縮性側索硬化症におけるライム病血清学。
MuscleNerve. 2009Oct;40(4):626-8.
PMID:19697382

RamseyAH, BelongiaEA, ChyouPH, DavisJP. ライメディ病血清学的検査の適切性。
AnnFamMed. 2004Jul-Aug;2(4):341-4. PMID:15335133

ReisC, CoteM, LeRhunD, Lecuelle B, LevinML, Vayssier-TaussatM, BonnetSI. バルトネラビトルの伝染に対するダニ *Ixodesricinus* のベクター能力。
PLoS Negl Trop Dis. 2011;5(5):e1186. Epub2011May31. PMID:21655306

ReisC, CoteM, PaulRE, BonnetS. 少なくとも 6 つのダニ媒介病原体によって感染した郊外の森のダニを調べる。
VectorBorneZoonoticDis. 2011Jul;11(7):907-16. Epub2010Dec15.
PMID:21158500

RenouF,RaffrayL,GerberA,MoitonMP,FerrandizD,YvinJL.
[免疫正常患者における猫ひっかき病の肝局在],[フランス語の記事].MedMallInfect.2010Mar;40(3):172-4.
Epub2009Jul17.PMID:19616394

RicartJJ.[バルトネラキンタナによる感染性心内膜炎],[スペイン語の記事].Medicina(BAires).2008;68(6):478.PMID:19147434

RobertsDM,CaimanoM,McDowell J,TheisenM,HolmA,OrffE,NelsonD,
WikelS,Radolf J,MarconiRT.Environmentalregulation and
Differentialproduction of membersofttheBdrprotein family of
Borreliaburgdorferi.Infect Immun.2002Dec;70(12):7033-41.
PMID:12438383

RodríguezCM,GiachettoLG,CuneoEA,GutiérrezBMDelC,ShimchackRM,PérezGMC.
[骨損傷を伴う猫ひっかき病:非定型症状],[スペイン語記事].RevChilenaInfectol.2009Aug;26(4):363-9.Epub2009Sep23.PMID:198024
07

Rolain JM,Boureau-Voultoury A,Raoult D. 犬に噛まれた子供におけるバル
トネラビンのリンパ節疾患の血清学的証拠。
ClinMicrobiolInfect.2009Dec;15Suppl2:122-3.Epub2009Apr3.
PMID:19374641

RooksYL,
CorwellB.Commonurgentmusculoskeletalinjuriesinprimarycare.PrimCare.2006Sep;33(3):751
PMID:17088159

RostoffP,KondurackaE,ElMassriN,GackowskiA,KruszecP,ZmudkaK,
PiwowskaW.[急性冠状動脈症候群を呈するライム心炎 :症例報告],[ポーラ
ンド語の記事].KardiolPol.
2008年4月;66(4):420-5.PMID:18473271

ルーボー=ボードロンC,フォルティノーN,グジャールC,ルプラスP,ランボットO.
[骨が関与する傷病 :症例報告と文献レビュー],[フランス語の記事].RevMedInterne.2009Jul;30(7):602-8.
Epub2009Mar19.PMID:19303175

Roux F, Boyer E, Jaulhac B, Dernis E, Cross-Prophette F, Puéchal X. ライム髄膜神経根炎: 生物学的診断法の前向き評価. *Eur J Clin Microbiol Infect Dis*. 2007 Oct; 26(10): 685-93. PMID: 17629757

Ruckenstein MJ, Prasthoffer A, Bigelow DC, Von Feldt JM, Kolasinski SL. メニエール病の入院患者の免疫学的および血清学的検査. *Otol Neurotol*. 2002 Jul; 23(4): 517-20; Discussion 520-1. PMID: 12170155

Rudnik I, Konarzewska B, Zajkowska J, Juchnowicz D, Markowski T, Pancewicz SA. [ライム病の過程における器質性疾患]。[ポーランド語の記事]. *Pol Merkur Lekarski*. 2004 Apr; 16(94): 328-31. PMID: 15517926

Ruzi -Sabljic E, Maraspin V, Lotric-Furlans, Jurcat, Logar M, Pikelj-Pecnik A, Strle F. スロベニアで人体材料から分離されたポレリアブルクトルフェリセンスラト株の特徴付け. *Wien Klin Wochenschr*. 2002 Jul 31; 114(13-14): 544-50. PMID: 12422599

Saisongkroh W, Kowalczywska M, Azza S, Decloquement P, Rolain JM, Raoult D. 免疫プロテオミクスアプローチを使用したバルトネラヘンセラ感染症の診断のための候補タンパク質の同定. *FEMS Microbiol Lett*. 2010 Sep 1; 310(2): 158-67. Epub 2010 Jul 9. PMID: 20695898

Salehi N, Custodio H, Rathore MH. バルトネラ感染症による腎微小膿瘍. *Pediatr Infect Dis J*. 2010 May; 29(5): 472-3. PMID: 20072078

Sanfeliu I, Antón E, Pineda V, Pons I, Perez J, Font B, Segura F. スペイン、カタルーニャの総合病院におけるバルトネラ菌感染症の説明. *Clin Microbiol Infect*. 2009 Dec; 15 Suppl 2: 130-1. Epub 2009 May 18. PMID: 19456816

Sanguinetti-Morelli D, Angelakis E, Richet H, Davoust B, Rolain JM, Raoult D. 猫ひっかき病の季節性、フランス、1999-2009. *Emerg Infect Dis*. 2011 Apr; 17(4): 705-7. PMID: 21470466

SankatsingSU,KoladerME,BoumaBJ,BenninkRJ,Verberne HJ,AnsinkTM, VisserCE,vanderMeerJT.18F-フルオロ-2-デオキシグルコースポジトロン断層撮影陰性心内膜炎を引き起こす

Bartonellahenselae.JHeartValveDis.2011Jan;20(1):100-2.
PMID:21404906

SasseigneG,HerbertA,Larvoll,DamadeR,CartryO.[発熱腹痛 56 歳女性].[フランス語記事].RevMedInterne.2009Dec;30(12):1049-53.Epub2009Oct7.PMID:19815317

SauerA,HansmannY,JaulhacB,BourcierT,Speeg-SchatzC.[小児期に発生した眼科ライム病:5 件の報告][フランス語記事].JFrOphtalmol.2011Jun20.
[Epubaheadofprint].
PMID:21696850

Scheidegger F,QuebatteM,Mistl C,Dehio C.バルトネラヘンセラエ VirB/Bep システムは、ヒト血管内皮細胞の血管内皮増殖因子 (VEGF) シグナル伝達を妨害します。

2011Mar;13(3):419-31.Epub2010Dec3.PMID:21044238

SchoenRT.Acaser revealing thenaturalhistory ofuntreated Lyme disease.NatRevRheumatol.2011Mar;7(3):179-84.Epub2010Dec21.PMID:21173795

スコット C、アズワ A、コーエン C、マッキンタイア M、デズモンド

N.Catscratchdisease:adiagnosticconundrum.IntJSTDAIDS.2009Aug;20(8):585-6.PMID:19625

ShahSS,ZaoutisTE,Turnquist J,HodinkarL,CoffinSE.腸ウイルス性髄膜炎からのライム病の早期分化。PediatrInfectDisJ.2005Jun;24(6):542-5.PMID:15933566

SherrVT.Panicackatsmayrevealpreviouslyunspectedchronicdisseminatedlymedisease.JPsy
PMID:15990495

Smajlovic F, Ibralic M. 猫ひっかき病のカラードップラー偽リンパ腫性
症状. MedArh. 2009;63(5):297-9.
PMID:20380135

Smismans A, Goossens VJ, Nulens E, Bruggeman CA. ボレリアブルグドルフェ
リ Ig マンド Ig ガン抗体の検出のための異なる免疫アッセイの比較. Clin Microbiol
Infect. 2006 Jul;12(7):648-55.
PMID:16774561

Steere AC, McHugh G, Damle N,

Sikand VK. Prospective study of serologic tests for Lyme disease. Clin Infect Dis. 2008 Jul 15;47(12):1611-6.

Stek CJ, van Eijk JJ, Jacobs BC, Enting RH, Sprenger HG, van Alfen N,
van Assen S. バルトネラヘンセラ感染症に関連する神経痛筋萎縮
症. J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2011 Jun;82(6):707-8. Epub 2010 Aug 14. PMID:20710009

Stiles J. Bartonellosis in cats: a role in uveitis?
Vet Ophthalmol. 2011 Sep;14 Suppl 1:9-14. PMID:21923819

Stone EG, Lacombe EH,
Rand PW. Antibody testing and Lyme disease risk. Emerg Infect Dis. 2005 May;11(5):722-4. PMID:15811111

Stricker RB. Counterpoint: 長期抗生物質療法は、ライム病に関連する持続的
な症状を改善します。
2007 Jul 15;45(2):149-57. Epub 2007 Jun 5. PMID:17578772

Stricker RB, DeLong AK, Green CL, Savelly VR, Chamallas SN, Johnson L.
神経性ライム病の治療に紹介された入院患者の静脈内抗生物質療法の利
点. Int J Gen Med. 2011;4:639-46. Epub 2011 Sep 6. PMID:21941449

Stricker RB, Green CL, Savelly VR, Chamallas SN, Johnson L. 神経性ライム病
の治療に参照された入院患者の安全な静脈内抗生物質療法。
Minerva Med. 2010 Feb;101(1):1-7.
PMID:20228716

StrickerRB、ジョンソン L.ライムワー

ズ:let'sstackledthetesting.BMJ.2007Nov17;335(7628):1008.PMID:18006976

ストリッカー RB、ジョンソン L. 慢性ライム病と「悪の枢軸」。

FutureMicrobiol.2008Dec;3(6):621-4.PMID:19072179

StrickerRB、Johnson

L.Lymedisease:thenextdecade.InfectDrugResist.2011;4:1-9.Epub2011Jan7.PMID:21694904

StrleF,VidecnikJ,ZormanP,CimpermanJ,Lotric-FurlanS,MaraspinV. マミグラ

ンス患者の臨床および疫学的所見。1993 年と 2000 年のコホートの比較。

WienKlinWochenschr.2002Jul31;114(13-14):493-7.PMID:1242 2589

StübsG,FingerleV,WilskeB,GöbelUB,ZähringerU,SchumannRR、

SchröderNW. アシル化コレステリルガラクトシドは、ボレリアを原因とするリ

ジッド中症の特異的抗原であり、疾患の後期段階で抗体を頻繁に誘導しま

す。JBiolChem.2009May15;284(20):13326-34.Epub2

009Mar23.PMID:19307181

杉山英、佐原、今井、小野、岡本、菊池、永井 R.バルトネラキンタナマスカレーデ

ィングによる感染性心内膜炎抗好中球細胞質抗体関連小血管炎、心臓病

学.2009;114(3):208-11.Epub2009Jul15.

PMID:19602882

SuhB、ChunJK、YongD、LeeYS、JeongSH、YangWI、KimDS.韓国における猫ひ

っかけ病の報告はバルトネラヘンセラエの16S-23SrRNA遺伝子間領域のPCR増幅

によって確認されました。Korean JLabMed.2010Feb;30(1):34-7.PMID:20197720

SunJ、FuG、LinJ、SongX、LuL、LiuQ.中国東部バルトネリンの血清有病率とリスク因

子の分析。BMCI InfectDis.2010May20;10:121.PMID:20482887

SuredaA,GarcíaD,Loma-OsorioP.[免疫正常患者におけるバルトネラ
ヘンセラ心内膜炎の最初の症状としての塞栓症].[スペイン語の記
事].EnfermInfeccMicrobiolClin.2010Jan;28(1):64-5.Epub2009May1.

PMID:19409676

SustaL,UhlEW,GrosenbaughDA,KrimerPM.SynovialLesionsin実験犬ライ
ムボレリア症.VetPathol.2011Nov10.
[Epubaheadofprint].PMID:22075774

SwansonSJ,NeitzelD,ReedKD,
BelongiaEA.Coinfectionsacquiredfromixodesticks.ClinMicrobiolRev.2006Oct;19(4):708-2
PMID:17041141

SykesJE.Felinehemotropicmycoplasmas.JVetEmergCritCare(サンアントニ
オ).2010Feb;20(1):62-9.PMID:20230435

SykesJE,LindsayLL,MaggiRG,BreitschwerdtEB.Bartonellahenselae
と Mycoplasmaovis に似た 2 つのヘモトロピック マイコプラズマ変異体とのヒト同
時感染。JClinMicrobiol.2010Oct;48(10):3782-5.Epub2010Aug11.PMID:20702675

SykesJE,WestroppJL,KastenRW,ChomelBB.バルトネラ種感染とペット猫の病気
の関係は血清学と培養を使用して決定されました。
JFelineMedSurg.2010Aug;12(8):631-6.Epub2010May31.PMID:20570199

SzaleniecJ,Ole K,Sk adzieńJ,StrekP.[Catscratchdisease--
anunderestimateddiagnosis].[ArticleinPolish].OtolaryngolPol.2009May-
Jun;63(3):271-3.PMID:19886535

TalarekE,DuszczykE,ZarnowskaH.[小児神経ボレリア症の診断困難].[ポー
ランド語の記事]/PrzeglEpidemiol.
2007;61(1):73-8.PMID:17702442

Tang YW. Duplex PCR アッセイは、バルトネラキンタナ、B.ヘンセラエ、およびコクシエラ バーネットの外科用心臓弁標本を同時に検出および区別します。J Clin Microbiol. 2009 Aug; 47(8):2647-50. Epub 2009 Jun 24. PMID: 19553582

Tarasów E, Ustymowicz A, Zajkowska J, Hermanowska-Szpakowicz T. [神経ボレリア症: CT および MRI 発見 14 例。予備通信]. [ポーランド語記事]. Neurol Neurochir Pol. 2001 Sep-Oct; 35(5):803-13. PMID: 11873593

Tasher D, Armarnik E, Mizrahi A, Liat BS, Constantini S, Grisaru-Soen G. 頸椎骨髄炎および脊髄硬膜下膿瘍を伴うひっかき傷疾患。Pediatr Infect Dis J. 2009 Sep; 28(9):848-50. PMID: 19654566

Tavora F, Burke A, Li L, Franks TJ, Virmani R. ポリメラーゼ連鎖反応によるライム心炎の死後確認。Cardiovasc Pathol. 2008 Mar-Apr; 17(2):103-7. Epub 2007 May 11. PMID: 18329555

Tay ST, Kamalanathan M, Rohani MY. マレーシアの献血者と患者の間でボレリアブルグドルフェリ(B. afzelii 株)抗体。東南アジア J Trop Med Public Health. 2002 Dec; 33(4):787-93. PMID: 12757227

tenHove CH, Gubler FM, Kiezebrink-

Lindenhovius HH. Back pain in a child caused by cat scratch disease. Pediatr Infect Dis J. 2009 Mar; 28(3):400-1. PMID: 19211111

Teng JL, Yeung MY, Yue G, Au-Yeung RK, Yeung EY, Fung AM, Tse H, Yuen KY, Lau SK, Woo PC. 医学的に重要な好気性グラム陰性細菌の同定のための16SrRNA 遺伝子配列ベースのインシリコ分析。J Med Microbiol. 2011 Sep; 60(Pt 9):1281-6. Epub 2011 Apr 15. PMID: 21498652

テレホバD、サルタコバML、ワームサーGP、シュワルツI、カベロFC。ボレリアブルグドルフェリにおけるエリスロマイシン耐性。Antimicrob Agents Chemother. 2002 Nov; 46(11):3637-40. PMID: 12384380

テラダ C、ボダギ B、コンラート J、ラウール D、ドランクール M。ブドウ膜炎:バルトネラ感染症の新たな臨床形態。クリン微生物感染。

2009Dec;15Suppl2:132-3.Epub2009Jun22.PMID:19548998

Thompson A,Mannix R,Bachur R. 急性小児単関節関節炎: 関節リウマチと他の病
因の区別。小児科。

2009年3月;123(3):959-65.PMID:19255026

トンプソン GR3rd、ルネッタ JM、ジョンソン SM、テイラー S、ベイズ D、コーエン SH、パパジ
ヤニス D。フルコナゾールによる早期治療は、コクシジオイデス症における IgG 抗体の発生
を阻止する可能性があります。

2011年9月;53(6):e20-4.PMID:21865185

TiconaE,HuarotoL,GarciaY,VargasL,MadariagaMG. ヒトバルトネラ症の急
性期の病態生理学はエイズに似ている。MedHypotheses.2010Jan;74(1):45-9.Epub2009Aug7.

PMID:19665314

TiemstraJD,Khatkhate N,Bell 脊椎麻痺:診断と管理。

AmFamPhysician.2007Oct1;76(7):997-1002.PMID:17956069

Topolovecj,Puntaritd,Antolovi -Pozgaina,Vukovi d,Topolovecz,Milasj,Drusko-
Barisi v,Venusm.

TrafnyDJ,OyamaMA,WormserC,Reynolds CA,SingletaryGE,PedleGD.人
工ペーシングの前後における徐脈性不整脈のある犬の心筋トロポニン-アイコン濃
度。JVetCardiol.2010Dec;12(3):183-90.Epub2010Oct28.PMID:21030328

TsaiYL,ChomelBB,ChangCC,KassPH,ConradPA,ChuangST.

台湾の牛とそのダニにおけるバルトネラ菌とバベシア感染症。

ComplImmunolMicrobiolInfectDis.2011Mar;34(2):179-87.Epub2010Dec30.PMID:21194750

恒岡、柳原、大谷、片山、藤波、長藤、浅利、野島、市原 和久、バルトネラヘンセラ菌誘発性心内膜炎の日本初の症例は、切除した弁から採取した検体の長期培養によって診断された。

TuerlinckxD, BodartE, GarrinoMG, deBilderlingG. ライム髄膜炎対無菌性髄膜炎における臨床データと脳脊髄液所見。

EurJPediatr.2003Mar;162(3):150-3.Epub2003Jan21。

PMID:12655417

TuháčkováJ, B lákováJ, KrupkaM, NeperenýJ, ChumelaJ, WeiglE, VrzalV. Testing of the Biocan Binj. adus. vet. vaccine and development of the new recombinant vaccine Against Canine borreosis. Biomed Pap Med Fac Univ Palacky Olomouc Czech Repub. 2005 Dec; 14 9(2):297-302. PMID:16601776

Tylewska-WierzbanowskaS, Chmielewski T. ライムボレリア症の血清学的検査の限界: ELISA およびウェスタンブロチンの PCR との比較および培養方法の評価。 Wien Klin Wochenschr.

2002 Jul 31; 114(13-14):601-5. PMID:12422608

ウルマンAJ, ガビッツシュES, シュルツェTL, ザイドナーNS, ピースマンJ.

北アメリカで野外で収集されたボレリアブルグドルフェリセンスラトとボレリアミヤモトアイセンスラトの検出のための3つのマルチプレックスアッセイ。

J Med Entomol. 2005 Nov; 42(6):1057-62。

PMID:16465748

梅小路A, 深井K, 柳原S, オノエ, ソワJ, 石井M. 猫ひっかき病患者の腫れリンパ節からのネステッドポリメラーゼ連鎖反応によるバルトネラヘンセラ熱ショックタンパク質DNAの迅速検出. J Dermatol. 2009 Oct; 36(10):548-50.

PMID:19785710

バルベルデ-グビアナス M, ラモス-ロペス JF, ロペス-トーレス JA, トリビオ-ガルシア M, ミラ-ペニャルベル C, ガルベス トーレス-プチョル J, メディアデア-マルコス S. [神経網膜炎. 臨床症例]. [スペイン語の記事]. Arch Soc Esp Ophthalmol. 2009 Aug; 84(8):3 89-94 . PMID:19728239

VarelaAS,LuttrellMP,HowerthEW,MooreVA,DavidsonWR,StallknechtDE,LittleSE.南ダニ関連発疹の推定薬剤であるボレリアロンスタリの最初の培養分離。JClinMicrobiol.2004Mar;42(3):1163-9.PMID:15004069

Vayssier-TaussatM,LeRhunD,DengHK,BivilleF,Cescaus,DanchinA,MarignacG,LenaourE,BoulouisHJ,MavrismM,ArnaudL,YangH,WangJ,QuebatteM,EngelP,SaenzH,DehioC.バルトネラ菌の TrwtypeIV 分泌系は宿主特異的接着を赤血球に仲介します。P LoSPathog.2010Jun10;6(6):e1000946。PMID:20548954

バスケス M、スパロー SS、シャピロ編、ライム病に起因する顔面神経麻痺を持つ子供の長期神経心理学および健康結果。小児科、2003 年 8 月;112(2):e93-7.PMID:12897313

VermeulenMJ,VerbakelH,NotermansDW,ReimerinkJH,PeetersMF.バルトネラヘンセラ血清学における感度、特異性、および交差反応性の評価。JMedMicrobiol.2010Jun;59(Pt6):743-5.Epub2010Mar11.PMID:20223899

VianelloM,MarchioriG,GiomettoB.バンワース症候群に關与する複数の頭蓋神経。NeuroSci.2008Apr;29(2):109-12.Epub2008May16.PMID:18483708

VitaleG,IncandelaS,IncandelaC,MicalizziA,MansuetoP.免疫担当者の耳下腺からのバルトネラキンタナの分離と特徴付け。JClinMicrobiol.2009Mar;47(3):862-4。Epub2009Jan7.PMID:19129406

VorstmanJA,KuiperH.[小児末梢顔面麻痺:他の臨床徴候の存在下でのみ脳髄炎をテストする].[オランダ語の記事].NedTijdschrGeneesk.2004Apr3;148(14):655-8。PMID:15106315

Vostal K,Zakovska A. 抗ボレリア抗体の存在について野生齧歯動物からの血液を検査する 2 年間の研究。Ann Agric Environ Med. 2003;10(2):203-6.PMID:14677912

WagnerB, FreerH, RollinsA, ErbHN. B.ブルグドルフェリオ外表面タンパク質シンカニン血清に対する抗体の同時検出のための蛍光ビーズベースのマルチプレックスアッセイ
イ.VetImmunolImmunopathol.2011Apr15;140(3-4):190-8.Epub2010Dec10.
PMID:21208663

WagnerB, FreerH, RollinsA, ErbHN, LuZ, GröhnY. ベイジアンと従来の統計的方法を使用したボレリアブルグドルフェリン馬に対する抗体の検出のためのマルチプレックスアッセイの開発および従来の統計的手法を使用した検証.Vet Immunol Immunopathol.2011Dec15;144(3-4):374-81.Epub 2011年8月17日.PMID:21890217

WangCW, ChangWC, ChaoTK, LiuCC, HuangGS. 猫ひっかき病のコンピューター断層撮影と磁気共鳴画像法:2例の報告.ClinImaging.2009Jul-8月;33(4):318-21.
PMID:19559357

WebsterJD, MillerMA, DuSoldD, Ramos-VaraJ. ホルマリン固定パラフィン包埋組織における感染性物質の免疫組織化学的検出に対する長期ホルマリン固定の影響.VetPathol.2010May;47(3):529-35.Epub2010Mar23.PMID:20332424

WeinspachS, TenenbaumT, SchönbergerS, SchaperJ, EngersR, RueggebergJ, MackenzieCR, WolfA, MayatepekE, SchrottenH. キャットスクラッチ病 - 不均一な傾向の症状:バルトネラヘンセラエによって引き起こされる5つの珍しい症例ソファ感染症.KlinPadiatr.2010Mar;222(2):73-8.Epub2009Sep29.PMID:19790029

WeinsteinA. 社説解説: ライメディ病の実験室検査: 変化の時期?
ClinInfectDis. 2008Jul15;47(2):196-7.
PMID:18532894

Welc-FaleciakR.[バルトネラ感染症の知識の現状].[ポーランド語の記事].PrzeglEpidemiol.2009;63(1):11-7.
PMID:19522219

Welc-Faleciak R, Rodo A, Siński E, Bajer A. Babesiacaanisandothertick-

borneinfectionsindogsinCentralPoland.VetParasitol.2009Dec23;166(3-4):191-8.Epub2009

Wendling D, Sevrin P, Bouchaud-Chabot A, Chabroux A, Toussirot E, Bardin T, Michel F, Parsonage-

TurnersyndromerevealingLymeborreliosis.JointBoneSpine.2009Mar;76(2):202-4.Epub2009

Woodcock S. Lyme disease testing. Lancet Infect Dis. 2006 Mar;6(3):122. PMID:16500588

Wormser GP, Liveris D, Hanincová K, Brisson D, Ludins S, Stracuzzi VJ, Embers ME, Philipp MT, Levin A, Agüero-Rosenfeld M, Schwartz I. 文化的に確認されたライム病を持つ北米患者における C6 および 2 段階検査の感受性に対するボレリアブルグドルフェリ遺伝子型の影響。Clin Infect Dis. 2008 年 10 月 1 日;47(7):910-4. PMID:18724824

Wormser GP, Nowakowski J, Nadelman RB, Visintainer P, Levin A, Agüero-Rosenfeld E. 早期に培養で確認されたライム病を持つ北米の患者から採取したボレリアブルグドルフェリ特異的抗体血清陽性の急性期血清の臨床変数への影響。

Clin Vaccine Immunol. 2008 Oct;15(10):1519-22. Epub 2008 Aug 20. PMID:18716009

Wormser GP, Ramanathan R, Nowakowski J, McKenna D, Holmgren D, Visintainer P, Dornbush R, Singh B, Nadelman RB. 早期ライム病に対する抗生物質療法の期間、無作為化、二重盲検、プラセボ対照試験。Ann Intern Med. 2003 May 6;138(9):697-704. PMID:12729423

ライト SA, タッカー JR, ドノヒュー AM, カストロ MB, ケリー KL, ノヴァク MG, マケド PA. マダニの宿主 (ダニ : マダニ科) とオレゴンジュンコで幼虫を食べるボレリアブルグドルフェリの検出。J Med Entomol. 2011 Jul;48(4):852-9. PMID:21845945

山田、大楠、柳原、常岡、江崎、坪井、岡林、諏訪部 亜。コラーゲン血管疾患に対する免疫抑制療法中のバルトネラキリタナ患者による人工弁心内膜炎。Diagn Microbiol Infect Dis. 2011 Jul; 70(3): 395-8. Epub 2011 May 10. PMID: 21558050

Yilmaz C, Ergin C, Kaleli I. [パムツカレ大学血液センターに認められた献血者のバルトネラヘンセラ血清有病率と関連リスク因子の調査]. [トルコ語の記事]. Mikrobiyol Bul. 2009 Jul; 43(3): 391-401. PMID: 19795614

Yoon HJ, Lee WC, Choi YS, Cho S, Song YG, Choi JY, Kim CO, Kim EJ, Kim JM. トキソプラズマゴンジアンおよびバルトネラヘンセラエに感染した患者の頸椎性ファデン炎。Vector Borne Zoonotic Dis. 2010 May; 10(4): 415-9. PMID: 19874186

Youssef D, Shams WE, El Abbassi A, Moorman JP, Al-Abadi MA. 猫ひっかき病の診断のための細胞形態学と血清学の組み合わせ。Diagn Cytopathol. 2011 Mar; 39(3): 210-3. PMID: 21319324

Zajkowska JM, Hermanowska-Szpakowicz T, Wysocka J, Pancewicz S, Lipska A, Kasprzycka E. [ボレリアブルクドルフェリに感染した入院患者の血小板数と形態学的パラメーターの推定]. [ポーランド語の記事]. Wiad Lek. 2001; 54(11-12): 668-73. PMID: 11928555

Zapater Latorre E, Castillo Ruiz A, Alba García JR, Armengot Carceller M, Sancho Rieger J, Basterra Alegria J. [ライム病に続発する両側末梢顔面麻痺]. [スペイン語の記事]. An Otorrinolaringol Ibero Am. 2004; 31(5): 447-58. PMID: 15566265

Zarraga M, Rosen L, Herschthal D. 免疫力のある子供の細菌性血管腫症 : 文献の報告とレビュー。Am J 皮膚病理学. 2011 Jul; 33(5): 513-5. PMID: 21285862

ZarzyckaB、PieczaraA、Skowron-KobosJ、KrzemińskiZ。
[リンパ節腫脹のある小児におけるバルトネラヘンセラに対する Ig 抗体の罹患率]、[ポーランド語の記事]、PrzeglEpidemiol。
2008;62(4):759-65.PMID:19209738

ZeidnerNS、SchneiderBS、DolanMC、Piesman J。ダニ伝播性ライムボレリア症のモデルにおけるスピロヘータ負荷、株、および病理学の分析。
VectorBorneZoonoticDis.2001Spring;1(1):35-44。
PMID:12653134

ZenoneT。SystemicBartonellahenselae感染源不明の発熱として免疫能力のある成人の感染症。
CaseReportMed.2011;2011:183937.Epub2011May5。
PMID:21629850

ZekraouiY、MegzariA、ElAlloussiT、BerrahoA。[猫ひっかき病を明らかにする片側神経網膜炎]、[フランス語の記事]。
RevMedInterne.2011Apr;32(4):e46-8.Epub2010Jun19。
PMID:20646795

ZhangL、CuiF、WangL、ZhangL、ZhangJ、WangS、YangS。
中国山東省宜源県におけるアナプラズマ症の調査。
AsianPacJTropMed.2011Jul;4(7):568-72.PMID:21803311

ZhongJ、SkoloubrisS、DaiQ、MyllykallioH、BarbourAG。ボレリア属のピリミジン生合成のためのプラスミド由来遺伝子の機能と進化、
JBacteriol.2006Feb;188(3):909-18.PMID:16428394

ZobbaR、ChessaG、MastrondreaS、PinnaParpagliaML、PattaC、MasalaG。
イタリア、サルデーニャ北部の人間、猫、犬のバルトネラ属菌の血清学および分子検出。ClinMicrobiolInfect.2009Dec;15Suppl2:134-5.Epub2009May18。
PMID:19456814

バベシアのチェックリスト

一般的な新興のステルス感染の検出を改善する

ジェームス L. シャラー、医学博士、MAR

導入

以下は、バベシアの診断を高める直接的な兆候、症状、および間接的な方法の例です。公的遺伝子データベースを調べると、35 を超える種が存在し、その多くに変異体があることが示されています。

この単細胞寄生虫に感染した人の割合は不明ですが、少なくとも何年もの間は無症状であることに注意してください。

このチェックリストは、バベシアを診断するための決定的なツールとして使用することを目的としたものではありません。100% または 98% 正確な決定的なツールは存在しないというのは専門家の意見です。

私の目標は、陽性であっても基本的な直接検査では陽性を示さない人々（偽陰性）の病気を減らすことです。

実際、バベシアの患者が、検査室に関係なく、何度も陰性の検査結果を示し、3日間原虫に対する2,3回の治療を受けるとDNA検査で陽性反応が出たり、同様の誘発試験の6週間後に新たな抗体検査が陰性から陽性に転じたりすることは珍しいことではない。

イドノはそのようなアプローチに反対または支持しているが、同じ結果が「マラリア予防」治療でも起こったことについては言及する必要はないと思う。さらに、サルテシン酸塩などのハーブの使用が癌予防に効果をもたらした例もある：バベシア抗体価の陰性から陽性への変換。

バベシアをテーマにした4冊の本を執筆した私は、長年にわたるフルタイムの読書と高度な検出への情熱に基づいてこのスケールを作成しました。このチェックリストは、偽陰性を防ぐためのものです。陰性であるように見える患者の中には、実際には陰性でない場合もあります。私がこれを実行したのは、この寄生虫を5年、10年、30年、または50年間行方不明にすることは、慎重な治療よりもはるかに危険であることを長年のフルタイムの読書と研究で示したからです。推奨用量の20%で治療を開始すれば、治療の副作用は少なくなります。

新しい論文やガイドラインを読んだだけでは、この致死性感染症の専門家がこの病気を治療するなどとは考えられないということを、私はあなたに訴えたいと思います。ノリの専門知識は、バベシア診断の「標準」である、患者の1%の非常に明白で非常に重篤な患者の診断と治療によって獲得されています。専門知識には、少なくとも1500の論文のレビューが必要であるはずで寄生虫の教科書がこの感染症について通常1〜2ページしか提供していないという事実は、この感染症が寄生虫に興味のある人たちにも理解されていないことを示しています。

バベシアの治療法は決まった公式には当てはまりませんが、完全回復に絶望する人は誰もいません。私は現在、2012年の出版に向けて、最適なバベシア治療法に関する、研究に基づいた創造的思考の新しい教科書を書き始めています。よく知られた治療法について議論し、これらの選択肢を最大限に活用する予定ですが、満足できない患者や臨床医のための新しい選択肢についても議論を加えます。現在のオプション。

要約すると、人間に感染する新種、亜種、または変異体が定期的に出現しており、それらに対する直接的な検査が存在しない場合に、どのようにして特定の医学的または科学的バベシアの立場が存在するのか—感度とは関係なく？

バベシアのチェックリスト

ジェームス・シャラー、医学博士、MAR

(当てはまる症状があればチェックしてください)

精神科および神経科

£家族、友人、その他の人が疲れているように見える、霧がかかっていると報告する

£思考が遅い

明らかに医学的問題が存在することが検査結果の異常によって示された場合、子供に与えられる精神科ラベル（基本的な臓器不全検査のことは話していませんが、炎症および抗炎症化学物質、ホルモン、栄養素レベル、その他の免疫系化学物質を含む広範な検査の使用）

リンパ節の肥大（ライム病、バルトネラ菌、その他の感染症、高度な炎症、腫瘍、その他の疾患も含む）

£パストルーチンの生活要求を維持するのが難しいなどの脳の問題、モチベーションと組織力の問題による遅刻、集中力の問題 [これらのいずれかが陽性となる]

£記憶障害[これは、1つの感染症または1つの病気の過程に特有のものではありません。たとえば、室内のカビの生物化学物質にさらされると、種の混合にもよりますが、1時間以内に記憶力が低下する可能性があります。]

£重度の精神疾患[これは単一の感染症に限定されません。]

心臓と循環器系

£突然の血圧低下

£自分のものではない血液を使った輸血

£貧血であっても非感染性の原因が提案されている

£透明性のない貧血説明

£深刻な胸壁の痛み

55歳になる前に「心臓発作」が起こる（リスクが3つあるとき
要因）

60歳になる前に起こった「心臓発作」または心臓梗塞が、危険因子が1つだけで販売された。[男性であることは多くの人にとって危険因子であると考えられています。男性は女性よりも早く心のダメージを経験します。その他の危険因子としては、喫煙または曝露、自宅での副流煙など、糖尿病、高血圧、リポタンパク質(a)などの粘着性コレステロールの高値または中性脂肪値の高さ、心臓発作の家族歴、身体活動の制限、肥満(面積が39インチ以上、女性の場合は34インチ以上のパンツを履いていると定義される可能性があります)または体格指数過剰な危険性または日常的なストレス対応の悪さ、コカインやアンフェタミンなどの覚醒剤の乱用。ダダホモシステインの検査レベルが 10 以上、大うつ病、ノビタミン K2 の補給、フリージヒドロテストステロンが 10 パーセント以下、断片化または睡眠不足 [炎症を増加させる]、高C4aRIA、aMMP300を超え、VIPの血液レベルが低い。

主要な臓器

£黄色の目、手砂（黄疸）なし
明らかな原因

£肥大した肝臓（右胸郭の下にあるもの）

£肥大した脾臓（左胸郭の下）。これは虚偽です
人間の共通の兆候であると考えられています。実際にはそれは非常にまれです。

£脾臓破裂[まれではあるが、すぐに医学的注意を払うため、医学論文でよく取り上げられる]

£ダークキュリン[これは親密な記事よりも珍しい]

£不可能トーナメント

£息切れ[ノクリア喘息、肺炎、COPDその他]
共通の原因]

£肺水腫は気嚢内の液体の量が多く、息切れを引き起こす

£ストロークのサイズまたは任意の臓器（ストロークという言葉は意味します
組織は酸素を取り出すことができません）。脳卒中や梗塞は、脳、網膜、腎臓、心臓、そ
他多くの組織に発生する可能性があります。

£MRI、C体内の死んだ組織を示す熱画像研究
原因不明の臓器

一般医療

£原因不明の頭痛

£コントロールが難しい、または重度の頭痛

£頭痛は3年以上続き、治療にもかかわらず痛みが増す

£過剰な食事と運動を含む体重増加

£適度な食事と平均的な運動で減量

£過剰な脂肪の下腹部、それはライフスタイルの過剰であり、
活動

£食欲不振または食欲不振

£食欲不振

£食欲不振

£同じようにほとんどの人が経験する過度の疲労
年齢層

£毎日8時間半の過剰な睡眠を必要とする疲労

£疲労と不眠症が続いている[両方の可能性を考慮してください]
この場合はバルトネラとバベシア]

£夜は眠っているにもかかわらず、昼間は眠い

£ナイトウェア

£通常の日常生活での過度の発汗

£常温の部屋のほてり

£断続的な発熱

£悪寒

£3日を超えた場合の発熱

£スパイクオフィーバーオーバー100.5アフター可能ティックバイト

£無気力

£手足や体の他の部分の腫れ

全身性のかゆみの波[この感染症と炎症の兆候はバベシアだけに限定され
ません。]

£しこりまたは原因不明のその他の種類のソフト問題のコレクション[その他のダニ
やノミ媒介感染症もこれらの増殖を引き起こす可能性があります。]

£筋肉の消耗

£一般的に目に見える身体組織の消耗

£与えられた時点での予想を大幅に超える重度の骨損失
年

£過剰な胸部ティッシュイナマナーボーイ

£ランダム刺し傷

£吐き気嘔吐

£強化された感覚 :光、触覚、匂い、味覚に対する敏感さ
音

£アセンセ・アンバランス

£1 つ以上の原因不明の医学的問題、
診断が変わる、または矛盾する、または最終的には「特異性」と呼ばれる

£ 2 つのチッカーノミ感染症。2 つのチッカーノミ媒介ウイルス、細菌、または原虫が陽性。スティック媒介ウイルス吸着細菌などの他の感染症の存在により、バベシア感染症の疑いが生じます。

£1 つまたは複数の謎の病気の存在、3 人の医師による評価後

ラボの結果

好酸球カチオン性タンパク質 (ECP)レベルは正常の上位 15% です。
これはおそらくバベシア患者の 15 ~ 20% で変化します。

£ECPレベルは通常を上回っています。(この研究室では他のスキャンが増加している可能性があります、バベシア感染というエラーはこのリストにはありません)。

原虫を殺す薬の連続検査に反応して、ECPレベルは30%以上増加します。(この精巢は約 40 ~ 60% 敏感であり、多くの患者は効果的な治療を受けてもこの精巢に変化はありません)。

£ECP レベルは検出可能なレベルを下回っています。

£絶対好酸球は下または高範囲[これは決して決定的なものではありませんが、
便利なツールです。]

£低範囲または高正常範囲内の好酸球の割合

£非常に高い好酸球[バベシアではまれですが、その他の所見あり]
他の考えられる原因を示唆する]

£異常または低いVEGFバルトネッラの存在下でのプレソル

バルトネッラの存在下で £ATNF- α が 1.0 を超える

£ACD57 または CD57/8 レベルが開始直後に下がります
バベシア治療、または継続的に安定的に低下するバベシア
処理

£血液産物陽性を示す溶血性鉄血症

あなたのルーリン[これはルーティンの発見ではありません。]

£あなたの臨床医は間接検査の使用法を理解しており、感じています
あなたの研究室のパターンはバベシアの存在を示唆しています。これには、より多くの ECP スパイクが関係します。

バベシアの直接検査では多くのヒト種が見逃され、信頼性の変動が排除され、バルトネラの存在が一部の抗体検査を抑制するため、陽性または「不確定」は陽性である可能性が高い。バベシアの結果は「不確定」または「境界線」に達しましたか？

£ビリルビン異常[おそらく患者の5%で上昇]

鉄の異常は正常値を超える[高レベルまたは低レベル。鉄の病理が増加する遺伝病の発見は、必ずしもこの発見を除外するものではありません。彼らの病理学は、遺伝または後天性の病気にバベシアが関与している可能性があります[癌様好酸球がバベシアによって刺激された医学誌の SeemyHES癌治療論文]。

マラリアを殺すためにも使用される透明な原虫殺虫剤によるバベシア治療後、IL-6は非常に低いレベルから増加したレベルに移行します。

マラリアを殺すためにも使用される透明な原虫殺虫剤によるバベシア治療後、IL-1Bは非常に低いレベルから上昇したレベルに移行します。

£バベシアは人体の変化を生み出し、引き起こす

化学。検査はバベシア社のみが製造した化学物質を特定するために設計されています。サンプルはバベシア微小細胞分泌抗原 1 (BmSA1) です。

£通常の低レベルを超えるエプスタイン・バーウイルス陽性。感染症、感染症、または炎症がある可能性があります。バベシアで見つかっただけではありません。

[これは疲労を引き起こす日常的なものではありません]。

£自己免疫検査は陽性。自己免疫結果が 2 つある場合、これはより強い陽性となります。たとえば、患者はANA陽性であり、甲状腺系に対する抗体を持っています。

£労働皮膚検査で陽性、患者の食物過敏症は人口の上位5%に入る

£単球の上昇

£明らかな感染源がない好中球の増加

£C 反応性タンパク質の上昇

£D ダイマーの上昇

£異常に高いALTが生きている酵素の増加により

肝臓外傷、バベシアなどの毒素感染症[アラ再発見]。

リンパ球減少症 - 感染症と戦う白血球の一種である低リンパ球

£血小板減少症 - 血小板数が50,000未満

£A高乳酸デヒドロゲナーゼまたはLDH。この酵素は、特に心臓、肝臓、腎臓、骨格筋、脳、血球、肺に見られる組織損傷を測定します。

体の反応または変化

£ヨモギ（ヨモギ）のあらゆる誘導体に反応します。

*注意: この反応は、一日以上続く必要はなく、すぐに腸が痛んだり、便が緩んだりする必要はありません。

£反応性アマラリア薬。例えば、アチボコン（メブロン）、プログアニロンまたはチボコン（マラロン）と併用、アルテスネート、1〜3日目のアルテメシニン、新たに高用量のアルテメシニン1〜2日目、アルテメータ、アリニア、クリンダマイシン、キニーネオラジスロマイシンを2,000mg/日経口投与、IVを5日間連続投与する。（副作用と効果的なバベシア治療によって引き起こされる反応を区別するには、医師の深い知恵が必要です。たとえば、合成薬によって引き起こされる不眠症は、感染していない患者にはラリウムの副作用があるため、ラリウムは意味がありません。しかし、毎日小さじ1杯のファティボクオン（メロン）から生じる疲労、不眠症、またはひどい頭痛は誰にでもありますバベシアやマラリアなどの既知の原虫の疑わしい症状、または遺伝的に新たに確認されたその他の同様の感染症）。

£原虫を殺す薬であれば気分が変わる
バベシア、ラリウムを除く

筋肉痛または関節痛/痛み、特にプロカニール、アリニア、アティヴォクオン、クリンダマイシン、または多くの新しい新興の進歩的な天然薬または合成マラリア薬治療などの原虫を殺す薬の使用後に悪化する

£不眠症アマラリア服用後ハーブ薬を殺す

£アマラリア治療後の不安および/またはうつ病ハーブを殺す薬

£怒りまたはFA使用直後の一時的な人格退行

マラリアを殺すハーブ薬、例、アティヴォクオン、マラロン、プログアニル、アルテスネート、1〜3日目のアルテメシニン、アルテメーター、アリニア、クリンダマイシンオラジスロマイシナート2,000mg/日、経口オルタニドを5日間IV投与。

環境

£ペット、農家、または地元の親戚

明確な診断を伴わないダニ媒介ウイルス、細菌、または原虫感染症の症状

患者の母親はバベシア、STARI（マスターソン病）、ネオエールリキア、アナプラズマ、ライム病、マイコプラズマ、Q熱、ロッキー山脈斑点熱（リケッチア）、ダニ媒介回帰熱、野兔病（細菌）、エーリキア、原虫FL1953の疑いがある、または診断されている、またはCMV、HHV-6、コクサッキーBタイプ1,2などのウイルス、3,4,5,6、パルボB-19またはポワッサン。

£ ダニ媒介感染症に罹患している兄弟、父親、配偶者、または子供で、藪（森林地帯）の近くに同居または休暇をとっている人

£ 住んでいる、または訪れた場所で、低木、野草、小川、ゴルフコース、森などの屋外環境に10分以上触れる

£ 馬などあらゆる種類のペットまたは家庭用動物が飼っていた
低木、野草、野生の小川、または森のある地域への屋外露出。もしペットが犬などの動物で、ダニ退治の治療が受けられる場合、それらの動物は常に予定どおりに治療を受けていたでしょうか？

£ あなたの現在または過去の家の危険を明らかにする

£ 休暇中またはその他の旅行中に露出をはっきりさせる

£ あなたは何かのタイプの咬傷を経験したことがありますか？

£ あなたの服を見つけたことがありますか？

£ あなたはあなたの体を見つけたことがありますか？

£ あなたは他の人と一緒に、彼らが衣服や皮膚に付着した場所に行ったことがありますか？

£ 性的接触は、ある種のコミュニケーションの形式として議論されている
そしてノミ媒介感染症。私は位置がありません。体液中での隔離は感染を広めるルートを意味するものではありません。
あなたとあなたの治療者がこれが感染経路の可能性があると感じた場合、患者は感染者と体液を共有するという密接な接触を経験しましたか？

£あなたは、40人以上のダニ媒介感染が報告されている州に住んでいます。[現時点では、これは通常、ライメ病のみとなります]。

£あなたはダニ媒介の報告がある州の隣に住んでいます
60人以上に感染。[現時点では、これは通常、ライメ病のみとなります]。

£私たちの家の近くにたくさんの小さな哺乳類が住んでおり、運動をしている場所、
休暇の場所や仕事。

手動血液検査についての一言

感染した赤血球の数が非常に多い場合を除き、血液塗抹標本がなければバベシア陽性となります。これはとても珍しいことです。したがって、少なくとも30分間検査されない限り、血液塗抹標本は陰性とみなされるべきではありません。がんやその他の病気を同定するには、大型の白血球を2〜3分検査するだけで十分かもしれませんが、私の著書『バベシアの血液学』にあるように、1000倍以下の80個以上のバベシア赤血球を検索するには、少なくとも30分はかかります。残念ながら、バベシア陽性の入院患者は、倍率1,000倍の顕微鏡でバベシアを探すという明確な要求を伴う定期的な赤血球塗抹検査を受け、少なくとも98%の確率でバベシアを見逃しています。論文では、バベシアの血液塗抹標本により患者は大量の感染症に罹患している傾向があり、赤血球の3%以上が感染していると明確に視覚化されていると報告されている。

しかし、微生物学者、病理学者、または研究室の所長と個人的に契約して、スタッフに余分な時間を費やしてもらうと、明らかに陽性の感染患者の血液塗抹標本の陽性結果が増加します。ほとんどの研究室が過労であることは知っていますが、血の滑りが明らかなテトラドラの古典的なパターンの誤りを示しつつあるという考えです。信頼できる国家または州の情報源からのスライドを使用して、通常は見逃されるバベシアに関する50を超えるプレゼンテーションを、非常に慎重な検査によってのみ発見しました。実際、バベシアの画像に関する私の教科書には、ほとんどの形がこれまで出版されたことがありません。歴史上、200枚のスライドを注意深く見て、それぞれを記録する時間を取った人は誰もいません

ユニークな形状。これを書くのはかなり驚くべきことであり、多くのダニやダニ感染が明らかに発生しつつあり、まだ克服されていないことを裏付けています。

この汚れは、その物質がどのように見えるかを定義するのに役立つことを理解してください。たとえば、代替医療学校の一部の人は、カンジダイが腸内に存在することが悪く、腸壁の欠陥によって頻繁に血液中に侵入すると感じています。カンジダ菌は腸にとって良い存在ではありませんが、カンジダ菌の一部に非常によく似た物質を含む血液サンプルの中には、セルロースや酵母菌の他の成分が染色されないことを発見しました。私の主張は、過去 10 年間に、優秀な病理学者や微生物学者が、人類が高度に洗練された染色技術を開発し、診断が可能であり、非常に費用対効果が高いという明確な理由を、議論や研究の中で示してきたということです。また、バベシアの同定に新しい技術を追加している医学者もいます (私のバベシア 2009 アップデートとバベシアの血液学のテキストで説明しています)。

バベシアサン合併感染症。広範な調査や200時間以上の読解なしにバベシアの立場について確実性を主張したり批判したりするのは時期尚早です。再び、バベシアの新種が4か月以内に出現しています。実際、高性能の顕微鏡で観察するとバベシアに似た新しい原虫さえも発見されているが、遺伝的に配列されている場合にはバベシアや未熟マラリアではなく、似ているように見えることがある。これは現在 FL1953 と呼ばれており、エリサンド博士によって遺伝学的に配列決定されました。バベシアに似ていますが、遺伝学的にはバベシアではありません。

したがって、人間のバベシアは合併症であるため、この規模は単に患者を死に至らしめる可能性のある感染症であるバベシアに対する認識を高めることを目的としています。過去 15 年間の書き込みでは、バベシアと同じ「同時感染」またはスピロヘータ感染症の脚注 [つまり、ライム] のいずれかを剃っています。何十年も隠れて、その後心臓、脳、肺に他の手段で血栓を起こして死に至る可能性のあるものは、非日常的な感染症ではありません。

バベシアの治療に関する主張は、最低でも有効期間がかかる専門誌の抜粋から生まれた間接的検査を使用して行われるべきである。

現在、これらの多くの十分に確立された間接的なラポテストパターンは有効ではありません。

これはよく理解できますが、今後 10 年で変化する可能性があることを願っています。

シャラー博士は、30 冊の書籍と 27 件のトップジャーナル記事の著者です。彼の出版物は少なくとも 12 の医学分野の問題に取り組んでいます。

彼はバベシアに関する最新の 4 冊の教科書を出版しました。

彼は、米国医師会ジャーナル (JAMA) の元編集者の監修のもと、癌の入門書としてバベシアについて出版しており、また、[バルトネラ病やライム病とともに] バベシアを含む複数のダニやノミが媒介する感染症に関するエントリも出版しています。は、NIH 感染症局長によって承認された、信頼できる感染症の教科書に掲載されました。

シャラー博士は、有限な伝統医学や統合的進歩医学のいずれかに限定されない、彼の極めてユニークなフルタイムの読書と研究の実践に基づいて、ダニおよびノミ媒介感染症に関する 7 冊のテキストを作成しました。医師の医師免許を持っている彼は、臨床検査を依頼することで多くの真実主張を整理することができた。彼は、間接的な実験室の証拠なしに、年間数十件の真実の主張に何気なく従うことはありません。彼は長年にわたり、これらの新たな問題についてフルタイムで本を読んできました。彼は、同僚の医師と患者の両方から、TOP および BEST の医師 (医師の上位 5% に入る) と評価されています。

著作権 © 2011 JAMES SCHALLER, MD, 3 月バージョン 49。

このフォームを印刷または投稿する場合、いかなる方法であっても書面による許可なしに変更することはできません。批判的な評価や否定的な評価の投稿は禁止されています。これらの最後の段落を含め、どの行も編集または変更されていない限り、診断の考察を支援するために印刷することをお勧めします。シャラー博士は、これが完璧な最終形態であるとは主張しておらず、すべての診断上の決定は資格のある医療専門家に委ねられています。

参考文献 (バベシア)

AbbasHM、Brenes RA、Ajemian MS、Scholand SJ.バベシア症に続発する自然脾臓破裂の保存的治療に成功:症例報告と文学レビュー。
ConnMed.2011Mar;75(3):143-6.PMID:21500704

AbouLailaM、SivakumarT、横山N、五十嵐I. バベシア寄生虫の成長に対するテルペネロリドの抑制効果。
2010Jun;59(2):278-82.Epub2010Feb21.PMID:20178862

AderinboyeO、SyedSS.生後 4 週間の女性乳児先天性赤ん坊症。
PediatrInfectDisJ.2010Feb;29(2):188。
PMID:20118748

AlekseevAN.[ロシア領土で再びダニ媒介感染症-バベシア症-が検出される可能性].[ロシア語の記事]。
ZhMikrobiolEpidemiolImmunobiol.2003May-6月;(3):39-43。
PMID:12886630

AlekseevAN、RudakovNV、DubininaEV.[軟性伝染病の可能性と歴史の予測的役割はその診断（問題の寄生虫学的側面）].[ロシア語の記事]。
MedParazitol(Mosk).200410-12月;(4):31-6.PMID:15689134

アルカリル A、ヒル DA、デサイ SA。バベシアとプラスモジアは、異なるメカニズムを通じて宿主血球の透過性を増加させます。
2007Apr;9(4):851-60.Epub2006Nov3.PMID:17087736

新井、辻、海法、村山、座本、WeiQ、岡部、上山、石原 C.日本におけるダニ媒介性疾病流行地域におけるヒト乳児症に対する遡及的血清疫学調査。
JVetMedSci.2003Mar;65(3):335-40.PMID:12679563

アームストロングPM、ブルネットLR、スピルマンA、テルフォードSR3rd.リスク・ライメディ病 :孤独なソファ居住者の認識ダニが蔓延するコミュニティ。
BullWorldHealthOrgan.2001;79(10):916-25.PMID:11693973

ArnezM,Luznik-BufonT,Avsic-ZupancT,Ruzic-SabljicE,PetrovecM,Lotric-FurlanS,StrleF.Causesoffebrileillnessesafteratickbiteinスロベニアの子供たち。PediatrInfectDisJ.2003Dec;22(12):1078-83。
PMID:14688569

AsadS,SweeneyJ,MermelLA.ロードアイランド州における輸血感染性バベシア症。Transfusion.2009Dec;49(12):2564-73.Epub2009Sep16.PMID:19761547

BabuRV,Sharma G.A 腹痛、黄疸、輸血歴のある 57 歳男性。胸部
2007Jul;132(1):347-50.PMID:17625097

BarrattJL、ハークネス J、マリオット D、エリス JT、スターク D。非腸管性原虫感染症免疫不全患者の重要性。ClinMicrobiolRev.2010Oct;23(4):795-836.PMID:20930074

BaumannD,PusterlanN,PéterO,GrimmF,FournierPE,SchärG,BossartW,LutzH,WeberR.
[発熱後の咬傷:臨床症状とスイス北東部の急性咬傷関連感染症の診断].
[ドイツ語の記事]DtschMedWochenschr.2003May9;128(19):1042-7.PMID:12736854

BaumeisterS,WiesnerJ,Reichenberg A,HintzM,BietzS,HarbOS、
RoosDS,KordesM,FriesenJ,MatuschewskiK,LingelbachK,JomaaH、
SeeberF。フォスミドマイシンのプラスモジウムおよびバベシア感染赤血球増加
は寄生虫誘導性の新しい透過性経路によって促進される。 4;6(5):e19334。

PMID:21573242

BelongiaEA,ReedKD,MitchellPD,Mueller-

RiznerN,VandermauseM,FinkelMF,KazmierczakJJ.Tickborneinfectionsasacauseofnonspecific

ビルケンホイヤーAJ、ウィットントンJ、ニールJ、ラージE、バーガーA、レヴィMG、
ブライシュヴェルト

EB.北米アライグマで特定されたバベシア種の分子的特徴付け。
JWildlDis.2006Apr;42(2):375-80。
PMID:16870860

BlueD,GravesV,McCarthyL,CruzJ,GregurekS,SmithD.致命的な輸血による
中西部のバベシア微小突起。輸血。
2009年1月;49(1):8.Epub2008Aug6.PMID:18694463

BragaW,VenascoJ,WillardL,MoroMH.ハムスターモデルの赤血球感染中のバベ
シアWA1(アピコンプレックス :ピロプラズマ)の超微細構
造.JParasitol.2006Oct;92(5):1104-7.PMID:17152960

BreitschwerdtEB,MaggiRG.犬ベクター媒介疾患の紛らわしい症例:エール
リヒアカニとバルトネラビンソンiiisp.berkhoffii.ParasitVectorsに共感染した犬
の臨床徴候と進行。
2009Mar26;2Suppl1:S3.PMID:19426442

BrigdenML.脾胃低脾症患者の検出、教育および管理。
AmFamPhysician.2001Feb1;63(3):499-506,508.PMID:11272299

Buelvas F, Alvis N, Buelvas I, Miranda J, Mattar S. [バルトネラに対する抗体と
バベシア ミクロティに対する抗体の高蔓延は、コロンビアのコルドバの村と都市
人口で発見されました]. [スペイン語の記事]. RevSaludPublica (ボゴタ). 2008
年 1 月-2 月; 10(1): 168-77.
PMID:18368229

CacciòS,CammàC,OnumaM,SeveriniC.バベシアおよびタイレリア寄生虫の
 β -チューブリン遺伝子は種識別のための情報マーカーである。
IntJParasitol.2000Oct;30(11):1181-5。
PMID:11027785

CangelosiJJ,SarvatB,SarriaJC,HerwaldtBL,IndrikovsAJ。
テキサス州における輸血によるバベシア微小脛骨の伝播。
VoxSang.2008Nov;95(4):331-4.PMID:19138264

カルドソル、ツナ J、ヴィエイラ L、イーサシャル、メクザス Y、バネス G.
ポルトガル北部の犬におけるアナプラズマプラティサンドとエーリキアカニスの分子検出。VetJ.2010Feb;183(2):232-3.Epub2008Dec3.PMID:19056304

CarterWJ,YanZ,CassaiND,SidhuGS.電子顕微鏡による血液中のバベシアの細胞外形態の検出:熱帯熱マラリア原虫との鑑別診断法.UltrastructPathol.2003Jul-8月;27(4):211-6.PMID:12907365

Centeno-LimaS,doRosárioV,ParreiraR,MaiaAJ,FreudenthalAM,NijhofAM,Jongejan F.ポルトガルにおける人体赤ん坊症の致死例:分子系統解析。TropMedIntHealth.2003Aug;8(8):760-4.PMID:12869099

ChatelG,GullettaM,Matteellia,Marangonia,SignoriniL,OladejiO,Caligaris S.ショートレポート:定量的バフィーコート蛍光法によるダニ媒介性回帰熱の診断。AmJTropMedHyg.1999年5月;60(5):738-9.PMID:10344644

CichockaA,SkotarczakB.[バベシス症 - 診断の困難さ].[ポーランド語の記事].WiadParazytol.2001;47(3):527-33.PMID:16894770

ClarkIA,BuddAC,HsueG,HaymoreBR,Joyce AJ,ThornerR,KrausePJ.脾臓摘出患者の赤血球症の場合の欠席赤血球隔離。MalarJ. 2006Aug4;5:69.
PMID:16887045

ConradPA,KjemtrupAM,CarrenoRA,ThomfordJ,Wainwright K,EberhardM,QuickR,TelfordSR3rd,HerwaldtBL.人間からのバベシアドゥンカニン.sp.(アピコンプレックス :バベシ科)と他のピロプラズマからの分化の説明.IntJParasitol.2006Jun;36(7):779-89 .Epub2006May4.PMID:16725142

Corpelet C,Vacher P,Coudore F,Laurichess H,Conort N,Souweine B.生命を脅かすバベシアダイバーゲン感染症におけるキニーネの役割は、クリンダマイシンによる治療に成功しました。EurJClinMicrobiolInfectDis.2005年1月;24(1):74-5.PMID:15616840

CunhaBA,CohenYZ、

McDermottB.Feverofunknownorigin(FUO)duetababesiosisinimmunocompetehost.He

CunhaBA,NausheenS,SzaldaD.バベシア症の肺合併症:症例報告と文献レビュー。EurJClinMicrobiolInfectDis.2007Jul;26(7):505-8.PMID:17558489

Dantas-TorresF,FigueredoLA.イヌバベシア症:ブラジル人の視点。VetParasitol.2006Nov5;141(3-4):197-203.Epub2006Sep8.PMID:16962707

Dantrakool A,Somboon P,橋本 T,斉藤-伊藤 A.タイ、チェンマイ県の野生動物(バンディコタインディカ)におけるバベシアの新種の同定。JClin Microbiol.2004Feb;42(2):850-4.PMID:14766871

DelbecqS,PrecigoutE,Schettters T、

GorenflotA.Babesiadivergens:cloningofaRanbindingprotein1homologue.VetParasitol.20

DobroszyckiJ,HerwaldtBL,BoctorF,MillerJR,LindenJ,EberhardML,YoonJJ,AlinM,TanowitzHB,GrahamF,WeissLM,WittnerM.Aclusteroftransfusion-

associatedbabesiosiscases traced to a single asymptomatic donor. JAMA. 1999 Mar 10; 281(11):1007-10. PMID:10078490

DoddJD,AquinoSL,SharmaA.バベシア症:CT および血液学的所見。JThoracImaging.2007Aug;22(3):271-3.PMID:17721341

DormanSE,CannonME,TelfordSR3rd,FrankKM,ChurchillWH.クリンダマイシン、キニーネ、および全血交換輸血で治療された劇症バベシア症。輸血。2000年3月;40(3):375-80. PMID:10738042

DuhD,JelovsekM,Avsic-ZupancT. ヒトのバベシアダイバーゲンに対する血清抗体の検出のための間接蛍光免疫アッセイの評価。寄生虫学.2007Feb;134(Pt2):179-85.Epub2006Oct11.PMID:17032478

ドヴォルザーコヴァーHM,ドヴォルザーコヴァーM.[バベシア症、あまり知られていない人獣共通感染症]。[チェコ語の記事].EpidemiolMikrobiolImunol.2007Nov;56(4):176-80.PMID:18072299

El-BahnasawyMM,MorsyTA,エジプト人赤血球症と一般レビュー、JEgyptSocParasitol.2008Apr;38(1):265-72。PMID:19143136

EskowES,KrausePJ,Spielman A,Freeman K,Aslanzadeh J.米国東部における人間の赤ん坊症の範囲の南方拡大。JClinMicrobiol.1999Jun;37(6):2051-2。PMID:10325378

FlorescuD,SordilloPP,GlyptisA,ZlatanicE,SmithB,PolskyB,SordilloE.ヒトバベシア症における脾梗塞:2例と議論。ClinInfectDis.2008Jan1;46(1):e8-11.PMID:18171204

FoppalM,KrausePJ,SpielmanA,GoethertH,GernL,BrandB,TelfordSR3rd.バベシア・ミクロティの人獣共通感染症の昆虫学および血清学的証拠、スイス東部。EmergInfectDis.2002Jul;8(7):722-6.PMID:12095442

フォックスLM,ウインガーターズ、アーメダ、アーノルドA、チョウJ、ラインL、レヴィO。新生児バベシア症:症例報告と文献のレビュー。PediatrInfectDisJ.2006Feb;25(2):169-73.PMID:16462298

FrobergMK,DannenD,BakkenJS.BabesiosisandHIV.Lancet.2004Feb28;363(9410):704.PMID:15001329

FrobergMK,DannenD,BernierN,ShiehWJ,GuarnerJ,ZakiS。症例報告 :バベシアミクロティの急性寄生虫症中の自然脾臓破裂。AnnClinLabSci.2008Autumn;38(4):390-2。PMID:18988934

ギャラガーLG、チャウス、オワイシアス、コンチクM、司教HS、アルギンPM、トレンホルムGM。発熱とダルクリンを患う84歳の女性。

ClinInfectDis.2009Jul15;49(2):278,310-1.PMID:19538064

GaryAT、WebbJA、HegartyBC、BreitschwerdtEB。オンタリオ州南部およびケベック州の犬におけるダニ感染因子の低血清蔓延。

CanVetJ.2006Dec;47(12):1194-200。

PMID:17217089

GernL、LienhardR、PéterO。[スイスのダニによって伝染する病気と病原

体]。[フランス語の記事]。RevMedSuisse.2010Oct13;6(266):1906-9.PMID:21089555

ゲーザート香港、テルフォード SR 3 回目。マサチューセッツ州ナンタケット島の綿尾ウサギの間でバベシア分岐菌の動物伝播。

AmJTropMedHyg.2003Nov;69(5):455-60。

PMID:14695079

GooYK、TerkawiMA、JiaH、AbogeGO、OokaH、Nelson B、KimS、Sunaga F、Namikawa K、Igarashi I、Nishikawa Y、XuanX、Artesunate、潜在的なバベシア感染症治療薬。Parasitol Int.2010Sep;59(3):481-6.Epub2010Jun9.PMID:20541037

Guang、ChauvinA、yingH、LuoJ、Moreau E。羊のバベシア属 BQ1 (リントン) と B. ダイバーゲンによる感染経路は、IFN ガンマと IL10 の生産に依存しません。

GubernotDM、LuceyCT、LeeKC、ConleyGB、HolnessLG、WiseRP。

輸血によるバベシア感染:米国食品医薬品局が受け取った報告書、

1997-2007。ClinInfectDis.2009Jan1;48(1):25-30.PMID:19035776

ガットマン JD、コットン CN、クラッツ A。マサチューセッツ総合病院の症例記録。毎週の臨床病理学的演習。症例 29-2003。

発熱、悪寒、発汗のある 60 歳の男性。

NEnglJMed.2003Sep18;349(12):1168-75.PMID:13679532

HamerSA,TsaoJI,WalkerED,MansfieldLS,FosterES,HicklingGJ.
新興ライメ病の見張りとしてペットの犬を評価するためのダニ調査と血清調査の使用。AmJVetRes.2009Jan;70(1):49-56.PMID:19119948

HanJI, LeeSJ, JangHJ, NaKJ. 韓国の野生アライグマ(Nyctereutesprocyonoides)における無症候性バベシアマイクロティ様寄生虫感染症。JWildlDis.2010Apr;46(2):632-5.PMID:20688664

HarveyWT, MartzD. IVセフトリアキソンおよび抗バベシア療法に関連する運動神経疾患の回復。ActaNeurolScand.2007Feb;115(2):129-31.PMID:17212618

Häselbarth K, TenterAM, Brade V, Krieger G, Hunfeld KP. First case of human babesiosis in Germany-Clinical presentation and molecular characterisation of the pathogen. IntJMedMicrobiol.2007 Jun;297(3):197-204. Epub2007Mar12. PMID:17350888

HatcherJC, GreenbergPD, AntiqueJ, Jimenez-LuchoVE, ロングアイランドの重症患者 :34 例とその合併症のレビュー。ClinInfectDis.2001Apr15;32(8):1117-25. Epub2001Mar26. PMID:11283800

HemmerRM, Wozniak EJ, Lowenstine LJ, PlopperCG, Wong V, Conrad PA. WA1 ヒトバベシア寄生虫に感染したマウスにおける肺水腫および呼吸困難に関連する内皮細胞変化領域。JParasitol. 1999Jun;85(3):479-89. PMID:10386441

HermanJH, AyacheS, OlkowskaD. 輸血バベシア症における自己免疫 :スペクトラム臨床プレゼンテーション。JClinApher. 2010;25(6):358-61. Epub2010Sep7. PMID:20824620

ヘルマノフスカ=シュパコヴィッチT、スコタルチャクB、コンドルシクM、リマシェフスカA、ソーチュクM、マチエコダヤスカA、アダムスカM、パンセウィッチS、ザジコフスカJ。ライメ病が疑われる患者の血液中のアナプラズマ食細胞フィルマンドとバベシアのDNAを検出。 2004;11(2):351-4。

PMID:15627349

HerwaldtBL,CacciòS,GherlinzoniF,AspöckH,SlemendaSB,PiccalugaP,
MartinelliG,EdelhoferR,HollensteinU,PolettiG,PampiglioneS,
Löschenberger,TuraS,PieniazekNJ.ヨーロッパにおける人獣共通感染症バベシ
ア症を引き起こすファノン・バベシア分岐生物の分子的特徴付け。
fectDis.2003Aug;9(8):942-8。
PMID:12967491

HerwaldtBL,McGovernPC,GerwelMP,EastonRM、

MacGregorRR.Endemicbabesiosisinanotheaternstate:NewJersey.EmergInfectDis.2003Feb;9

ヘルヴァルトBL、ナイツェルDF、ゴーリンJB、ジェンセンKA、ペリーEH、ペグロウ
WR、スレメンダSB、

WonKY,NaceEK,PieniazekNJ,Wilson M. 同じ女性からの 6 か月にわたる 4 回の献血に
よるミネソタ州バベシア マイクロチンの伝播。Transfusion. 2002Sep;42(9):1154-8。

PMID:12430672

ハイマンP、コシエスC、ホフイスA、ヴァンダーギーセンJ、シュブロング、ポーターSR、ロツソ
ンB、セーガーマンC、ドノソ・マントケO、ニードリヒM、パパA。
明確かつ現在の危険:ヨーロッパのダニ媒介疾患。
ExpertRevAntiInfectTher.2010Jan;8(1):33-50.PMID:20014900

HildebrandtA,HunfeldKP,BaierM,KrumbholzA,SachseS,LorenzenT,
KiehntopfM,FrickeHJ,StraubeE. ヨーロッパで最初に確認された人間のバベシ
ア微小チン感染症の自家感染例。
EurJClinMicrobiolInfectDis.2007Aug;26(8):595-601。
PMID:17587072

Hilton E,DeVotiJ,BenachJL,HalluskaML,WhiteDJ,Paxton H,DumlerJS.米国北
東部の高リスク人口におけるダニ媒介性疾患に対する血清有病率と血清変換。AmJMed。

1999年4月;106(4):404-9.PMID:10225242

HohenschildS.[バベシア症 - 脾臓摘出された子供と成人に対する危険な感染症].[ドイツ
語の記事].KlinPadiatr.1999May-Jun;211(3):137-40.PMID:10412122

HolmanPJ,SpencerAM,DroleskeyRE,GoethertHK,TelfordSR3rd.マサチューセッツ州ナンタケット島のイースタンコットンテールウサギ(シルビラグスフロリダヌス)から分離された動物由来のバベシア種の体外培養。

JClinMicrobiol.2005Aug;43(8):3995-4001。

PMID:16081941

HolmanPJ,SpencerAM,TelfordSR3rd,GoethertHK,Allen AJ,KnowlesDP,GoffWL.バベシアダイバージェンと人畜共通感染症バベシアダイバージェンの牛内寄生虫の感染性の比較。AmJTropMedHyg.2005Nov;73(5):865-70.PMID:16282295

HomerMJ,Aguilar-DelfinI,TelfordSR3rd,KrausePJ,PersingDH.Babesiosis.ClinMicrobiolRev.2000Jul;13(3):451-69.
PMID:10885987

HomerMJ,LodesMJ,ReynoldsLD,ZhangY,DouglassJF,McNeillPD,HoughtonRL,PersingDH.バベシアマイクロティからの推定分泌抗原の同定と特徴付け。JClinMicrobiol.

2003年2月;41(2):723-9.PMID:12574273

Houghton RL,HomerMJ,Reynolds LD,SleathPR,Lodes MJ,BerardiV,LeibyDA,Persing DH.バベシア ミクロティ特異的免疫ドミナントピトープの同定と血清中の抗体検出のためのペプチド EIA の開発。輸血。2002Nov;42(11):1488-96.PMID:12421223

Allwinr,Peterss,Kraiczyp,Bradev.SerologicViceCeCicevienceChingictictick-Bornepathensanthanliaburgdorferi (Tobb)
Inlymeborreliosisientsfrommidwesterngermany.wienklinyschr.198dec23;110 (100810) :198dec23; 4

フンフェルド KP,ブレイド V.人獣共通感染症バベシア:おそらく中央ヨーロッパでダニに感染した人間について考慮される新興病原体.IntJMedMicrobiol.2004Apr;293Suppl37:93-103.PMID:15146990

HunfeldKP,HildebrandtA,

GrayJS.Babesiosis:recentinsightsintoanancientdisease.IntJParasitol.2008Sep;38(11):1219-3

Hunfeld KP, Lambert A, Kampen H, Albert S, Epe C, Brade V, Tenter AM. 中西部ドイツにおけるヒト性感染症におけるバベシア感染症の血清有病率. *J Clin Microbiol*. 2002 Jul; 40(7):2431-6.
PMID:12089258

ハッチングス CL, Li A, フェルナンデス KM, フレッチャー T, ジャクソン LA, モロイ JB, ジョーゲンセン WK, リム CT, クック BM. バベシアボビスに寄生された赤血球の変性接着剤と機械的特性への新しい洞察。
Mol Microbiol. 2007 Aug; 65(4):1092-105. Epub 2007 Jul 19. PMID:17640278

Jackson LA, Waldron SJ, Weier HM, Nicoll CL, Cooke BM. Babesiabovis: 化学的に定義された培地における研究室適応寄生虫線維および臨床分離株の培養。
Exp Parasitol. 2001 Nov; 99(3):168-74. PMID:11846527

Jahangir A, Kolbert C, Edwards W, Mitchell P, Dumler JS, Persing DH. ヒト顆粒球性エールリキア症に関連する致死性汎心炎、44歳男性。
Clin Infect Dis. 1998 Dec; 27(6):1424-7.
PMID:9868655

Jeneby MM, Ngeiywa M, Yole DS, Mwenda JM, Suleman MA, Carlson HE. ケニアの非ヒト霊長類の野生動物猿ピロプラズマ(エントポリポイデスマカシ)。
J Med Primatol. 2008 Dec; 37(6):329-36. Epub 2008 May 27. PMID:18507704

Kain KC, Jassoum SB, Fong IW, Hannach B. オンタリオ州での輸血感染性バベシア症:カナダで最初に報告された症例. *CMAJ*. 2001 Jun 12; 164(12):1721-3. PMID:11450217

Kim JY, Cho SH, Joo HN, Tsuji M, Cho SR, Park IJ, Chung GT, Ju JW, チョンヒ、リー

HW, Lee YH, Kim TS. 韓国におけるヒトバベシア症の最初の症例: バベシア種 (KO1) 類似のバベシア属の新型タイプの検出と特徴付け. *J Clin Microbiol*. 2007 Jun; 45(6): 2084-7.
Epub 2007 Mar 28. PMID:17392446

KjemtrupAM,ConradPA.カリフォルニアからの小型犬ピロプラズマのレビュー

一:Babesiaconradaeintheliterature.VetParasitol.2006May31;138(1-2):112-7.Epub2006Mar7

ジェムトルップAM、ウェインライトK、ミラーM、ペンツホルンBL、カレノRA。

バベシアコンラダエ.sp.Nov.、小型イヌ科カリフォルニアで確認されたバベ

シア。VetParasitol.2006May31;138(1-2):103-11.Epub2006Mar9.PMID:16524663

KolörenZ,Av arC、 ekeroluZA.[プロトゾアピループ媒介等温増幅の診断:(LAMP)].[トルコ語の記事]。

TurkiyeParazitDerg.2010;34(4):207-11.PMID:21391196

KösterLS, VanSchoorM, GoddardA, ThompsonPN, MatjilaPT, ケルガード・ハンセンバベシア・ロシアとその関連性を伴わないMC反応性タンパク質犬バベシア症。JSAfrVetAssoc.

2009年6月;80(2):87-91.PMID:19831269

KrausePJ.Babesiosis.MedClinNorthAm.2002Mar;86(2):361-73.
PMID:11982307

KrausePJ.バベシア症の診断と治

療.VectorBorneZoonoticDis.2003Spring;3(1):45-51.PMID:12804380

KumarS,KumarR,SugimotoC.ロバのタイレリア等感染症に関する視点.JpnJVetRes.2009Feb;56(4):171-80.
PMID:19358444

桑山DP、ブリオネスRJ.バベシア微小感染症による自然脾臓破裂.ClinInfectDis.2008May1;46(9):e92-5.
PMID:18419430

LantosPM,KrausePJ.バベシア症:マラリアに似ているが異なる。

PediatrAnn.2002Mar;31(3):192-7.PMID:11905293

LeeBP.Apnea,bradycardiaandthrombocytopeniainaprematureinfant.PediatrInfectDisJ.2000
PMID:11734753

LeeS,Carson K,Rice-FichtA,GoodT. 小さな熱ショックタンパク質は、Aβ凝集と毒性に異なる影響を与える。

PMID:16828710

LeibyDA,ChungAP,CableRG,Trouern-TrendJ,McCulloughJ,HomerMJ,ReynoldsLD,HoughtonRL,LodesMJ,PersingDH。

ダニ刺されと献血者におけるバベシア ミクロティアンおよびアナプラズマファゴサイトフィラ (以前はエーリキア種) の血清有病率との関係。Transfusion.

2002Dec;42(12):1585-91。

PMID:12473139

LeibyDA,ChungAP,GillJE,Houghton RL,Persing DH,BadonS,CableRG.バベシアミクロティに対する抗体を持つコネチカット血提供者の間で寄生虫症を実証。Transfusion.2005Nov;45(11):1804-10.PMID:16271108

LeibyDA,GillJE.輸血感染ダニ媒介感染

症:acornucopiaofthreats.TransfusMedRev.2004Oct;18(4):293-306。

PMID:15497129

LeisewitzAL,JacobsonLS,deMoraisHS,Reyers F.重度の重篤なバベシア症の混合酸ベースの障害。JVetInternMed.2001Sep-Oct;15(5):445-52.PMID:11596731

LittmanMP.犬ボレリア症.VetClinNorthAmSmallAnimPract。

2003年7月;33(4):827-62.PMID:12910746

LoaCC,AdelsonME,MordechaE,Raphaellil,TiltonRC。

Ig 遺伝子酵素結合免疫吸着アッセイによるヒトバベシア症の血清学的診断。

CurrMicrobiol. 2004Dec;49(6):385-9。

PMID:15696612

LodesMJ,DillonDC,HoughtonRL,SkeikyYA.Expressioncloning。

方法MolMed.2004;94:91-106.PMID:14959824

LodesMJ,HoughtonRL,BruinsmaES,MohamthR,ReynoldsLD,BensonDR,KrausePJ,ReedSG,PersingDH.バベシアマイクロティの新規免疫反応性抗原の血清学的発現クローニング.InfectImmune.2000May;68(5):2783-90.PMID:10768973

LuoY,JiaH,TerkawiMA,GooYK,KawanoS,OokaH,LiY,YuL,CaoS,山岸J,藤崎K,西川Y,斉藤-伊藤A,五十嵐I,XuanX.バベシアマイクロチアンの新規分泌抗原1の同定と特性評価、および酵素結合免疫吸着剤アッセイおよび免疫クロマトグラフィー試験における潜在的用途の評価。ParasitolInt.2011Jun;60(2):119-25.Epub2010Nov8。

PMID:21070864

LuxJZ,WeissD,LindenJV,KesslerD,HerwaldtBL,WongSJ,KeithlyJ,Della-LattaP,ScullyBE.心臓移植後の輸血関連バベシア症。EmergInfectDis.2003Jan;9(1):116-9.PMID:12533293

MaratheA,TripathiJ,HandaV,DateV.ヒューマンバベシア症-acasereport.IndianJMedMicrobiol.2005Oct;23(4):267-9.PMID:16327127

Marcol,VelardeR,CastellàJ,FerrerD,LavínS.スペインベックスにおける推定バベシアオウウイルス感染症(カプラピレナイカ).VetParasitol.2000Jan;87(2-3):217-21.PMID:10622613

MarcuCB,CaraccioloE,LibertinC,DonohueT.劇症バベシア症が冠状動脈バイパス手術後すぐに発症.ConnMed.2005Feb;69(2):67-8.PMID:15779600

MartinotM,ZadehMM,HansmannY,Graweyl,ChristmannD,AguillonS,JouglinM,ChauvinA,DeBrield.Babesiosisiniimmunocomputepatients,ヨーロッパ。EmergInfectDis.2011Jan;17(1):114-6.PMID:21192869

松井、井上、梶本、為兼、岡村、片山、下山、千原、斉藤、伊藤、辻

[日本における輸血関連バベシア症に関する初の文書]。

[日本語記事].臨書血駅.2000Aug;41(8):628-34.

PMID:11020989

MatthewsJ,RattiganE,YeeH.Case29-2003:a60-year-oldmanwith発熱、硬直、発汗。NEnglJMed.2003Dec18;349(25):2467;authorreply2467.PMID:14681519

MbatiPA,HlatshwayoM,MtshaliMS,MogaswaneKR,DeWaalTD,DipeoluOO.南アフリカ東部の資源に乏しい農家に属する家畜のダニとダニ媒介疾患。

ExpApplAcarol.2002;28(1-4):217-24.PMID:14570134

Meer-ScherrerL,AdelsonM,MordechaiE,LottazB,TiltonR.ヨーロッパ

におけるバベシア微小感染

症.CurrMicrobiol.2004Jun;48(6):435-7.PMID:15170239

MeisterJ.Humanbabesiosis:acasestudy.ClinExcellNursePract.

1999年7月;3(4):214-6.PMID:10711060

Mitrovi S,Kranjci -Zecl,Arsi -Arsenijevi V,Dzami A,Radonji I.[ヒトバ

ベシア症--最近の発見].[セルビア語の記事].MedPregl.2004Jul-

Aug;57(7-8):349-53.PMID:15626291

MonteroE,RodriguezM,OksovY、

LoboCA.Babesiadivergensapicalmembraneantigen1anditsinteractionwiththehumanredb

MorenoGiménezJC、JiménezPuyaR、GalánGutiérrezM、OrtegaSalasR、

DueñasJuradoJM.紅斑フィグラトウミン敗血症性バベシア

症.JEurAcadDermatolVenereol.2006Jul;20(6):726-8.PMID:16836504

MylonakisE.Whentosuspectandhowtomonitorbabesiosis.AmFamPhysician.2001May15;6

Nagao E, Arie T, Dorward DW, Fairhurst RM, Dvorak JA. The avian malaria parasite *Plasmodium gallinaceum* in the United States.

ナラシンハンス、モンゴメリーRR、デボンテック、チューディック、マルカントニオン、アンダーソンJF、ザウアーJR、カペットM、カントールFS、フィクリゲ。

Ixodescapular の破壊は、RNA 干渉を使用した抗凝固です。

Proc Natl Acad Sci USA. 2004 Feb 3; 101(5):1141-6.

Epub 2004 Jan 26. PMID: 14745044

Ngo V, Civen R. バベシア症は輸血を通じて獲得、カリフォルニア、米国。

Emerg Infect Dis. 2009 May; 15(5):785-7.

PMID: 19402969

ニコルソン GT、カリフォルニア州ウォルシュ、マダン RP。双方向グレン手術後の生後 7 か月の乳児の輸血関連赤ん坊症。

Congenit Heart Dis. 2010 Nov-Dec; 5(6):607-13. PMID: 21106022

西坂 M、横山 N、Xuan X、井上 N、長澤英、藤崎 K、三上 T、五十嵐 I。バベシアマイクロチからの防御抗原をコードする遺伝子の特徴付け、T 複合体タンパク質 1 を含むシャペロニンのセタサブユニットが同定された。

Int J Parasitol. 2001 Dec; 31(14):1673-9. PMID: 11730795

ノヒンコヴァエ、クベク J、マストアンコヴァオ、チャルパ P、フバレク Z。

[米国からチェコ共和国に輸入されたバベシア マイクロのケース]。[チェコ語の記事]。Cas Lek Cesk. 2003; 142(6):377-81。

PMID: 12924039

Oleson CV、シヴァリンガム JJ、オニール BJ、スターズ WE Jr。続発性横断性脊髄炎、ライメディ病およびバベシア症を併発。

J Spinal Cord Med. 2003 Summer; 26(2):168-71. PMID: 12828297

OliveiraTM,FurutaPI,deCarvalhoD,Machado RZ. リーシュマニア属、バベシアカニス、エールリキアカニシン酵素結合免疫吸着剤アッセイおよび直接蛍光抗体検査の陽性犬から採取した血清サンプルにおける交差反応性の研究。RevBrasParasitolVet.2008Jan-Mar;17(1):7-11.PMID:1 8554433

OokaH,TerkawiMA,GooYK,LuoY,LiY,山岸J,西川Y,五十嵐I,XuanX.バベシアマイクロティ :分子および抗原性の特徴付けソファノベル94-kDaタンパク質 (BmP94) 。ExpParasitol。2011年1月;127(1):287-93.Epub2010Jun25.PMID:20599995

パンセヴィチ S、モニウシュコ A、ピエニアルジェ、プチウオク、グリゴルチュク S、ザジコフスカ J、チュプリナ P、コンドルシク M、スヴィエズピンスカ ピヤノフスカ R.抗バベシア微小粒子抗体情報提供者はポーランドでダニ刺されに強く暴露されました。ScandJInfectDis.2011Mar;43(3):19 7-201.Epub2010Dec9.PMID:21142620

PantanowitzL,Aufranc S3rd,Monahan-Earley R,DvorakA,TelfordSR3rd.輸血医学の図解。バベシアの形態学的特徴。輸血。2002Nov;42(11):1389.PMID:12421208

PendseS,BilykJR, LeeMS.The ticking time bomb. Surv Ophysical mol. 2006 May-Jun; 51(3):274-9. PMID:16644367

PerdrizetGA,OlsonNH,KrausePJ,BaneverGT,SpielmanA,CableRG.バベシア症腎移植レシピエントが輸血を通じて獲得したもの。移植。2000Jul15;70(1):205-8. PMID:10919602

ベルミナ、イェリファリ、ブロック P、スティーンハード N、ハンセン NP、ナンセン P。ガーナ上部東部地域の交配豚の寄生虫。VetParasitol.1999Nov;87(1):63-71.PMID:10628701

PrecigoutE,DelbeqS,ValletA,CarcyB,Camillieris,Hadj-KaddourK,KleuskensJ,SchetttersT,GorenflotA.バベシアダイバーゲンBd37エキソ抗原の配列多型 ミナピトープと受動的転移によって誘導される保護との関連。IntJパラシトール。

2004年4月;34(5):585-93.PMID:15064123

PrinceHE,Lapé-NixonM,PatelH,YehC.WA1 IgG 検査の参考研究所に提出された臨床血清と米国の多様な地理的地域からの献血検体のバベシアドゥンカニ (WA1) IgG 検出率の比較。ClinVaccine Immunol. 2010Nov;17(11):1729-33.Epub2010Sep22.

PMID:20861326

QiC,ZhouD,LiuJ,ChengZ,ZhangL,WangL,WangZ,YangD,WangS,ChaiT.中国山東省のシン貧血患者の分子法を使用したバベシア分岐ゲンの検出。Parasitol Res.2011Jul;109(1):241-5.Epub2011Apr19.PMID:21503 639

Quintão-SilvaMG,MeloMN,RibeiroMF.Comparison of duplex PCR and microscopetechniques for the identification of Babesia biggemia and Babesia bovisinengerd Femaleticks of Boophilus microplus.ZoonosesPublicHealth.2007;54(3-4):147-51.PMID:17456146

ラジウム、サラザール JC、レオポルド H、クラウス PJ.アトバコン、乳児の乳児症に対するジスロマイシン治療。小児科感染 DisJ。2007年2月;26(2):181-3.PMID:17259886

Ramharter M,Walochnik J,Lagler H,WinklerS,Wernsdorfer WH,Stoiser B,Graninger W. オーストリアにおけるヒト赤血球症の致死例の臨床的および分子的特徴付け。JTravelMed. 2010Nov-Dec;17(6):416-8.PMID:21050324

RechA,BittarCM,deCastroCG,AzevedoKR,dosSantosRP,MachadoAR,SchwartzmannG,GoldaniL,BrunetteAL。無症候性バベシア症

inchildwithhepatoblastoma.JPediatrHematolOncol.2004Mar;26(3):213.PMID:15125618

ReisC,CoteM,PaulRE,BonnetS.少なくとも 6 つのダニ媒介病原体によって感染した郊外の森のダニを調べる。

VectorBorneZoonoticDis.2011Jul;11(7):907-16.Epub2010Dec15.PMID:21158500

Reis SP, Maddineni S, Rozenblit G, Allen D. バベシア微小チン感染症に続発する自然脾臓破裂:脾動脈塞栓術による治療. *JVascIntervRadiol*. 2011 May; 22(5):732-4.

PMID:21514529

Ríos L, Alvarez G, Blair S. 血清学および寄生虫学的研究およびコロンビアにおけるヒトバベシア症の最初の症例の報告。 *Rev Soc Bras Med Trop*. 2003 Jul-8月; 36(4):493-8. Epub 2003 Aug 13.

PMID:12937727

Rosenblatt JE. Laboratory diagnosis of infections due to blood and tissue parasites. *Clin Infect Dis*.
PMID:19691431

Ryan R, Krause PJ, Radolf J, Freeman K, Spielman A, Lenz R, Levin A. 免疫プロット血清学的テストを使用したバベシア症の診断。 *Clin Diagn Lab Immunol*. 2001 Nov; 8(6):1177-80. PMID:11687460

斉藤-伊藤 A, ダントラクール A, 河合 A, 矢野 Y, 高田 N. [バベシア症]。
[日本語記事]. *日本臨書*. 2003 Feb; 61 Suppl 2:623-8.
PMID:12722292

斉藤-伊藤 A, 辻 M, Wei Q, He S, 松井 T, 幸崎 M, 新井, 上山 T, 日置 K, 石原 C. 日本における輸血獲得型自家ヒトバベシア症:分離 RBC-SCID マウスによるバベシアマイクロティ様寄生虫の分離。 *J Clin Microbiol*. 2000 Dec; 38(12):4511-6. PMID:11101588

Sambri V, Marangoni A, Storni E, Cavrini F, Moronia, Sparacino M, Cevenini R. [ダニ媒介動物感染症:選択された臨床と診断スペクト]。 [イタリア語の記事]. *Parassitologia*. 2004 Jun; 46(1-2):109-13.
PMID:15305697

Schaller JL, バークランド ジョージア州, ラングホフ PJ. バベシア種は好酸球増加症の原因ではないのか? 特発性好酸球増加症の最初に報告されたメシル酸マチニブの症例を追跡する。
Med Gen Med. 2007 Feb 27; 9(1):38. PMID:17435644

SchetttersTP,ElingWM.CanBabesiainfectionsbeusedasamodelforcerebralmalaria?
ParasitolToday.1999Dec;15(12):492-7.
PMID:10557150

SchoelerGB,Manweiler SA,WikelSK.Ixodesscapularis:病原体フリーニンフソ
ンマクロファージとリンパ球サイトカイン反応のBALB/candC3H/HeNmiceによる
反復感染の影響.ExpParasitol.1999Aug;92(4):239-48.PMID:10425152

SchoemanJP.Caninebabesiosis.OnderstepoortJVetRes.2009Mar;76(1):59-66.PMID:1996792

SchoemanJP,HerrtageME.AdrenalresponsetothelowdoseACTHstimulationtestandthecorti

SemelME,TavakkolizadehA,GatesJD.外傷による脾臓摘出術後の直後のバベシ
ア症.SurgInfect(Larchmt).2009Dec;10(6):553-6.PMID:19622029

SethiS,AlcidD,KesarwalaH,TolanRWJr.米国ニュージャージー州乳児の先
天性赤ん坊症の可能性.EmergInfectDis.2009May;15(5):788-91.PMID:19402971

SettyS,KhalilZ,SchoriP,AzarM,FerrieriP.バベシア症。ミネソタ州からの
典型的な症例 2 例レビュー。AmJClinPathol.2003Oct;120(4):554-9.PMID:14560566

SherrVT. ヒトバベシア症 - 記録されていない現実。正式な登録の欠如によ
り、検出、診断、治療が損なわれ、即時強制報告の必要性が示唆されています。
医学仮説。
2004;63(4):609-15.PMID:15325004

ShoemakerRC,HudnellHK,HouseDE,Van KempenA,PakesGE;COL40155
研究チーム。アトバクオンプラスコレスチラミン入院患者がバベシアマイクロティ
アとボレリアブルグドルフェリに感染し、他の治療に不応。AdvTher.2006Jan-
Feb;23(1):1-11.PMID:16644602

Skotarczak B. [人間と飼い犬のバベシア症; 病因学、病因、診断]. [ポーランド語の記事]. *WiadParazytol.*

2007;53(4):271-80. PMID:18441872

Skotarczak B, Cichocka A. ポリメラーゼ連鎖反応によるバベシア ミクロティアンおよびバベシア ダイバーゲンの DNA の分離と増幅がポーランドに生息。 *Ann Agric Environ Med.* 2001; 8(2): 187-9. PMID: 11748876

Skotarczak B, Sawczuk M. [ポメラニア西部の選択された地域におけるバベシア・マイクロチンテックス・イクソデスリシンの発生]. [ポーランド語の記事]. *WiadParazytol.* 2003;49(3):273-80. PMID:16889031

Sréter T, Sréterné Lancz Z, Széll Z, Egyed L. [リケッチアヘルベチカ : ハンガリーとヨーロッパにおけるダニ媒介性病原体の異種融合]。

[ハンガリー語の記事]. *OrvHetil.* 2005 Dec 11; 146(50):2547-52. PMID:16440500

Sréter T, Kálmánd, Sréterné Lancz Z, Széll Z, Egyed L.

[Babesiamicrotiand Anaplasma phagocytophilum: two emerging zoonotic pathogens in Europe and Hungary]. [ハンガリー語の記事]. *OrvHetil.*

2005年3月27日; 146(13):595-600. PMID:15856623

Stańczak J, Myjak P, Bajer A, Siński E, Wedrychowicz H, Majewska AC, Go ab E, Budak A. [人間や動物の寄生虫や真菌、またはダニによって伝播される病原体の検出および/または同定のための分子技術の有用性。パート III]. [ポーランド語の記事]。

WiadParazytol. 2001;47(3):465-75. PMID:16894762

Stricker RB. Counterpoint: 長期抗生物質療法は、ライム病に関連する持続的な症状を改善します。

2007 Jul 15; 45(2):149-57. Epub 2007 Jun 5. PMID:17578772

Stricker RB, Lautin A, Burrascano JJ. ライメディ病: point/counterpoint. *Expert Rev Ant Infect Ther.* 2005 Apr; 3(2):155-65. PMID:15918774

TaiwoB, LeeC, VenkatD, TambarS, Sutton SH. カン腫瘍壊死因子 α 遮断素因性重度赤ん坊症? 関節炎リウウム. 2007Feb15;57(1):179-81. PMID:17266091

TajimaT, ZhiN, LinQ, カ久Y, HorowitzHW, RalfalliJ, WormserGP, HechemyKE. Comparison of two recombinant

major outer membrane proteins of the human granulocyte ehrlichiosis agent for use in enzyme-

TalourK, KaramA, DreuxN, LemassonG, GilbertD, AbasqC, MiseryL. 200-kDa epidermal antigens を対象とした IgA 抗体による線形 IgA disease. Eur J Dermatol. 2011 May-Jun;21(3):411-2. PMID:21515442

TerkawiMA, JiaH, ZhouJ, LeeEG, IgarashiI, FujisakiK, NishikawaY, XuanX. バベシアギブソンイリボソームリンタンパク質P0はB. マイクロチン感染症に対する交差防御免疫を誘発するマウス. ワクチン. 2007Mar1;25(11):2027-35. Epub 2006Dec8. PMID:17229504

TonnettiL, EderAF, DyB, KennedyJ, PisciottoP, BenjaminRJ, LeibyDA. 輸血感染バベシア微小物質は血液警戒によって特定されました. Transfusion. 2009Dec;49(12):2557-63. Epub 2009Jul16. PMID:19624607

TopolovecJ, PuntaritaD, Antolovi P, Pozgaina, Vukovi d, TopolovecZ, Milasj, Drusko-Barisi v, Venusm.

TorinaA, CaracappaS. Anaplasmosis in cattle in Italy. Vet Res Commun. 2007Aug;31Suppl1:73-8. PMID:176

トリナ、ピセンテ、アロンギア、シメカス、トゥラール、ニコシア、ディマルコフ、カラカップ、デラフエンテ J. 2003 年から 2005 年にかけてイタリアのシチリア島で国内の動物におけるダニ媒介性病原体の蔓延を観察。 Zoonoses Public Health. 2007;54(1):8-15. PMID:17359441

Torres-VélezFJ,NaceEK,WonKY,Bartlett J,EberhardM,Guarner J.バベシア症検出のための免疫組織化学的アッセイの開発インホルマリン固定パラフィン包埋組織サンプルAmJClinPathol.2003Dec;120(6):833-8.PMID:14671971

辻N,三好T,バトセセグB,松尾T,XuanX,藤崎K.
アシステインプロテアーゼは、Haemaphysalistics におけるバベシア菌の感染に重要です。PLoSPathog. 2008 May 16;4(5): e1000062。
PMID:18483546

TuoW,エステス DM,ブラウン WC。ウシの抗原刺激記憶 CD4+T 細胞によるサイトカイン応答に対するインターロイキン 12 とインターロイキン 4 の比較効果: IL-12 は IFN-ガンマ産生を増強しますが、IL-4 はサイトカイン発現にわずかな影響を及ぼします。JInterferon Cytokine Res. 1999Jul;19(7):74 1-9.PMID:10454344

vanDuivenvoordeLM,Voorberg-vanderWelA,vanderWerffNM,
BraskampG,RemarqueEJ,Kondoval,KockenCH,ThomasAW. バベシアミクロティとの共感染によるアカゲザルにおけるカニクイザルの抑制. 感染免疫. 2010Mar;78(3):1032-
9.Epub2010Jan4.PMID:20048045

VanSolingenRM,
EvansJ.Lymedisease.CurrOpinRheumatol.2001Jul;13(4):293-9.PMID:11555731

VannierE,GewurzBE,
KrausePJ.Humanbabesiosis.InfectDisClinNorthAm.2008Sep;22(3):469-88,viii-ix.PMID:1

VannierE,
KrausePJ.Updateonbabesiosis.InterdiscipPerspectInfectDis.2009;2009:984568.Epub20

VyasJM,TelfordSR,RobbinsGK.アトバクオン-プログアニリナンによる難治性バベシア微小感染症の治療 :HIV感染患者 :症例報告.ClinInfectDis.2007Dec15;45(12):1588-90.
PMID:18190320

WangTJ,LiangMH,SanghaO,PhillipsCB,LewRA,WrightEA,BerardiV,
FosselAH,Shadick NA.ボレリアブルクドルフェリアンとバベシアマイクロチドの長
期転帰は悪化しない。ClinInfectDis.2000Nov;31(5):1149-54。

Epub2000Nov6.PMID:11073744

Weinberg GA. フェールリキア症およびバベシア症の検査室診断。
PediatrInfectDisJ.2001Apr;20(4):435-7.PMID:11332670

WeissLM.Babesiosisinhumans:atreatmentreview.ExpertOpinPharmacother.2002Aug;3(8):1109-15.P

ウオジク=ファトラ、チサク、チミエレフスカ=バドラ、ズヴォリンスキ、ブチェク
A,ドウトキェヴィチ

J. ルブリン地域 (ポーランド東部) からのバベシア マイクロチン マダニの蔓延。Ann
Agric Environ Med. 2006;13(2):319-22。
PMID:17196008

WongWS,ChungJY、

WongKF.Imagesinheematology.Humanbabesiosis.BrJHaematol.2008Feb;140(4):364.Epub2007Nov2
PMID:18042268

WormserGP,LombardoG,SilverblattF,ElKhouryMY,PrasadA,YelonJA,SandaA,
KarimS,CokuL,SavinoJA.Babesiosisasacauseoffever-
inpatientsunderingasplenectomy.AmSurg.2011Mar;77(3):345-7.PMID:21375849

WormserGP,PrasadA,NeuhausE,JoshiS,NowakowskiJ,NelsonJ,MittlemanA,
Aguero-RosenfeldM,TopalJ,KrausePJ.バベシア微小チン感染症によるアジスロマイシ
ン-アトバコン免疫不全患者の出現。ClinInfectDis.2010Feb1;50(3):381-6。
PMID:20047477

YabsleyMJ,DavidsonWR,StallknechtDE,VarelaAS,SwiftPK,DevosJCJr,
DubaySA.米国西部のムルシカ (Odocoileushemionus) におけるダニ媒介生物の証
拠。VectorBorneZoonoticDis.2005Winter;5(4):351-62.PMID:16417431

YabsleyMJ,RominesJ、イラクサVF。米国テキサス州とジョージア州のウサギにおけるバベシア種とアナプラズマ種の検出。ベクター由来の人獣共通感染症。2006年春;6(1):7-13.PMID:16584322

山崎 M、田島 M、大和 O、ファン SJ、太田 H、前 Y。バベシアギブソニ熱ショックタンパク質 70。J Parasitoolの熱ショック応答。2008年2月;94(1):119-24.PMID:18372630

YoshinariNH,AbrãoMG,BonoldiVL,SoaresCO,Madruga CR,Scofield A,Massard CL,daFonseca AH。ブラジル、サンパウロ州コチア郡の入院患者、バベシア症とライムボレリア症のダニ媒介性薬剤に対する抗体の共存。MemInstOswaldoCruz。2003年4月;98(3):311-8.Epub2003Jul18.PMID:12886408

YuDH,LiYH,YoonJS,LeeJH,LeeMJ,YulJ,ChaeJS,ParkJH。エールリヒアカフェイン感染症インド韓国。VectorBorneZoonoticDis.2008Jun;8(3):355-8.PMID:18399775

座本A、辻M、川淵T、WeiQ、浅川M、石原C。米国型バベシア ミクロティアは北海道東部の小型野生哺乳類から単離されました。JVet Med Sci. 2004 Aug;66(8):919-26。PMID:15353841

ZamotoA,TsujiM,WeiQ,ChoSH,ShinEH,KimTS,LeonovaGN,Hagiwara K,Asakawa M,KariwaH,TakashimaI,Ishihara C。ユーラシア東北部の小型野生哺乳類のバベシアミクロティアの動物疫学的調査、 β -チューブリン配列の地理的多様性。JVetMedSci.2004Jul;66(7):785-92。

PMID:15297749

ZhaoY,LoveKR,HallSW,BeardellFV。デラウェア州における輸血感染性バベシア症の致死例。Transfusion.2009Dec;49(12):2583-7.Epub2009Nov9.PMID:19906041

ZivkovicZ,TorinaA,MitraR,AlongiA,Scimecas,KocanKM,GalindoRC、
AlmazanC,BlouinEF,VillarM,NijhofAM,ManiR,LaBarberaG,CaracappaS、
JongejanF,delaFuenteJ.病原体感染に対する反応におけるスポルリン発現。
BMCImmunol。
2010年2月19日;11:7.PMID:20170494

ZobbaR,ParpagliaML,SpezziguA,PittauM,AlbertiA.無症候性雌豚から
のバベシア種の最初の分子同定と系統発生

(SusscrofaLinnaeus1758).JClinMicrobiol.2011Jun;49(6):2321-4.Epub2011Apr13.PMID:2149018

ライム病の症状チェックリスト

ジェームス・シャラー、医学博士、MAR

導入

次のチェックリストは完全であることや権威があるものではありません。

ライム病に関する情報は常に発生し、変化しています。

したがって、どのチェックリストも出発点として使用することを目的としています。伝
統医学、医師は完全な歴史と物理学を実行します。研究所と研究は、鑑別診断を明確にするのに役立ちます。

ライム病では、実験キット、可能なバンドを減らすためのキットの変更、およびどの実験室が最適な感度と特異性を備えているかについて多くの議論が存在します。このチェックリストは、その問題や治療に対処することを目的としたものではありません。

200 頭以上の動物がライム病を広める最も一般的に知られている昆虫であるイクソデス ティックを保有しています。多くのベクトルを考慮すると、このチェックリストの背後にある前提は、ライムスが北アメリカ、ヨーロッパ、南アメリカ、ロシア、アフリカ、アジアに属していないということです。

ライム病はあまり報告されていないことは周知の事実です。ある研究では、家族医師40人に1人の報告のみが示されました。

刺されるとすぐに、ダニは鎮痛剤、抗ヒスタミン剤、抗凝固剤を伝達します。動物研究に基づくと、スピロヘータ関連物質の注射では実験動物は2回目の注射でのみ発疹を示すため、雄牛に発疹が想定されているよりも少ない可能性もある。このような背景を踏まえ、私は、若年者や中高年が経験を失い、深刻な症状を抱えている人たちに訴えたいと思いますが、これが2年前、5年前、または20年前のより多くの数を示す少数の感染性粒子であった可能性はありますか？私は答えを求めているのではなく、可能性を検討してほしいだけです。

このチェックリストは、他の人が改善することを願って提供されています。マダニ・ノミ媒介感染症の医学は、HIV と肝炎の医学と治療に特化している、というのが著者の個人的な信念です。

チェックリストの資料の中には、あなたにとって初めてのものがあるかもしれませんが、現在存在しないものに追加するには別の尺度が必要であることがわかります。

このリストは、1年間にわたるフルタイムの読書、2012年の科学の啓示、および/または大量のチャートのレビューに基づく数千冊の大量のレビューに基づいています。現代のライム病はダニ媒介性疾患やその他の臨床検査に焦点を当てていると思われるため、まず臨床検査について検討します。検査値が値またはパーセンテージである場合、選択された数値は、見落とされる可能性のある陽性患者を見逃さないようにすることを目的としています。医師やその他の医療従事者が感染患者の治療を行っていないこと、残業によって障害を経験したり死亡したりする可能性があり、その頻度を判断することは不可能であるという懸念である。

ライム病チェックリスト

ジェームス・シャラー、医学博士、MAR

(当てはまる症状があればチェックしてください)

臨床検査 - 間接的および直接的

£ビタミンDレベルは最低20%です。サプリメントを摂取する場合は、上位 50% に入る必要があります。

£CD57 または CD58 は下位 20 パーセント以内にあります。

£フリーテストステロンは10パーセント以下です。

患者の 5% ではテストステロンまたは遊離テストステロンが正常範囲を超えています。

£DHEAは20%低いです。あるいは、トップレベルを完全に超えていることもあります。

フリージヒドロテストステロンは20パーセント未満か正常範囲を大きく上回っています。

£エプスタインバーウイルス異常事態。[このウイルスは、感染または高度の炎症が存在する場合、通常の陽性レベルを超えて陽性になると考えられています。]

ウエスタンブロット、IgGorlg の多くの種に特有の血中濃度、たとえば 18、21、23、30、31、34、37、39、83、93。

£AfreeT3レベル2.8未満[1990年の通常の最低範囲]

は2.6だった ;多数の高齢者患者の流入が健康な「正常」範囲をリセットした]。

£CMV、HHV-6、コクサッキーB型1などのウイルス陽性、
2、3、4、5、6、パルボB-19またはポワッサンウイルス

£マイコプラズマ、例 :マイコプラズマ肺炎陽性

£患者は通常以外の感染症陽性であるライム、

[これは、*Borrelia burgdorferi sensu stricto*、*Borrelia afzelii*、*Borrelia garinii*]。
その他の感染症には、バベシア (ダンカニ、ミクロチオロその他)、アナプラズマ (HGA)、エーリキア (さまざまな種/

株)、ネオエールリキア、ロッキーマウンテン、またはその他の紅斑熱、ブルセラ症、Q熱、STARI (マスター病)、マラリア、バルトネラ菌 [例、*B. henselae*、*B. quintana*、*B. elizabethae*、*B. melophagii*]。FL1953、すべてのバルトネラ種、ボレリアミヤモト、その他のライム種を含む、人間に影響を与えるあらゆる種類の原虫を検査できる検査が商業的に利用可能になったら、報告は増加するはずで

£IL-Bisin最低の 10 パーセンタイル。

£IL-6 は最も低い 10 パーセンタイルです。

£TNF- α は 2 未満、または最低 20 パーセンタイルです。

£AWBC カウントは、オリス、4.5 未満でした。

CBC マニュアルの好酸球レベルは 0 ~ 1 または 6 ~ 7 のいずれかで検査されます。

£合計好酸球レベルは140以下です。

X線またはその他の研究では、損傷損傷の中央値が過剰であることが軟骨欠損を示しています。

完全自動免疫パネルが少なくとも 8 つの異なる検査で実行されている場合、2 つが陽性になります。たとえば、抗グリアジニン陽性と甲状腺ペルオキシダーゼ陽性です。

£陽性またはほぼ陽性 (境界線)ELISA、PCR、または陽性組織生検;体からの口腔ダニがライムまたはその他のダニ感染症に対して陽性である

臨床検査では、C4aの増加、コレステロールおよびCペプチドの増加など、高い炎症が示されています。これらは決してライムだけに特化したものではありません。

£臨床検査昭和MSHLレベル30未満[基準範囲]

0~40は検査を受ける重篤な患者の増加によるもので、40~85は病気の洪水が正常範囲をリセットする前に使用されていたより良い基準範囲である。MSヒサン抗炎症ホルモン。

£VIP は 20 未満です。これは抗炎症化学物質です。

身体検査の結果

£12週間で20ポンド以上減量

£オロヴァルラッシュの周り暗い中心ワソリスプレゼンティナ

緩い「雄牛の目のパターン」またはその他のサイズおよび形状の露出後に発生する他に原因のない発疹、ダニやベクター

傷や手術後の治癒は遅い。たとえば、猫のひっかき傷の後、ノミやダニの咬傷跡は後になってもまだ目に見えます。

£スキノ腕、手や足はライスペーパーのような質感。

£抗生物質による治療で明らかな反応と効果が見られます。

具体的には、重篤な医学的問題である運動機能の顕著な改善または悪化が、アスピロヘテ殺傷治療、例えば、ドキシサイクリン、テトラサイクリン、ミノサイクリン、モキシシリン、アジスロマイシン、クラリスロマイシンノルセフロキシムなどの任意のペニシリンで観察される。

皮膚タグの存在、かなりの大きさの赤い丘疹、トピアと比較して過剰な血管、色の付いたストレッチマーク、またはピアに比べて著しく過剰。

£モグラサンドレイズドまたはハードプラーク通常の数を超えたもの肌

£梅毒に見られるような潰瘍のある皮膚の領域、ブタタニアの体のあらゆる場所

£透明な色素沈着低下と色素沈着過剰の領域

£ACA (慢性末端皮膚炎)陽性、これは長期治療を受けていないライム病の兆候である。一部の報告によると、ACAは、変色した皮膚、多くの場合手や足に赤みがかかった青の斑点ができて始めています。患者によっては背中も含まれる場合があります。病変は数カ月から数年かけてゆっくりと萎縮し、多くの皮膚は薄く、乾燥し、毛がなく、しわがあり、異常に色が変わっています。手や足などの四肢の色は赤、暗赤色、茶色、紺、紫などです。

神経学的検査のサンプル

£患者は短期記憶力が弱い。たとえば、23、5、76、43、68 という数字を思い出すように求められた場合、患者はそれらを思い出すことができません。

患者は4つの数字を逆にすることはできません。つまり、18、96、23、79 が与えられた場合、患者はそれを行うことができません。

£120 から 17 を引くように頼まれた場合、(大学卒業生)、それは時間内に行うことはできません。高校卒業生の場合は、100から7を引き、20秒間で4回7を引き続けます。

£仲間が多すぎるとすぐに立ちくらみが起こり、そして明確な理由がない

£めまいと関係ない位置

£ライムを殺す抗生物質によってめまいが悪化

£ かかとからつま先までの直線歩行テストをポケットに軽く指を入れて行うのが難しい[患者は転倒を防ぐために手を引き抜く必要があるか、ふらつくべきではない]。過去にスケート、スキー、ダンス、バレエの経験がある入院患者にとって、これは非常に簡単なはずであり、そのような人々が挑戦することはほとんどありません。ライム病に限らず、症状が軽く、医学的にも疑わしい場合。

片足を持ち上げる動作に問題があり、たとえば「ミシシッピが1つ、ミシシッピが2つなど」と数えると、片方の脚が目の前で地面から15インチ浮いてしまいます。

£陽性振盪[右または左を見ると目がピクピクする]

患者の報告された病歴

精神科および神経科

£軽度から重度の神経障害または精神障害

£研究室、研究、病気の経過に明らかに適合しない非常に深刻な神経疾患

£中等度または重度の医学的、精神神経学的疾患。

[梅毒を引き起こす病気など、多くの重篤な疾患はスピロヘータに関連している可能性があり、ライメイはよく知られた重篤な脳疾患にも関連していると主張する人もいます。]

£重度の医学、精神科神経学、パーキンソン病などの一般的でない特徴を伴う病気、若く見える

£顔面麻痺(ベル麻痺)

£性格がネガティブに、そしてはっきりと変わってしまった理由。

£精神病は深刻ですが、特に40歳を過ぎてからは、通常はすでにそれが現れているはず

£重度の不安

£マニアまたは深遠な怒り

£遺伝的リスクが最小限のうつ病

£25歳未満のときには存在しなかったうつ病や不安

£イライラ

£次のいずれか : パラノイア、認知症、統合失調症、双極性障害、パニック発作、大うつ病、拒食症、強迫性障害

£成人セットADHD/ADD[一次精神医学生物学的ADD
または7歳でADHDが見られる。成人の発症は病状の兆候です。]

£他人との言葉や物理的な喧嘩が増加

£仕事や子育ての機能が少なくとも 20% 減少

£忍耐力と人間関係スキルが 20% 以上減少

£軽度の重大な視力の低下、つまり、感染した患者には機能の低下、治療の失敗、性格の変化が見えない

£聴覚に対する新たな偏心硬直性新しい医療やその他の重要な情報

£思考や集中力が難しい

£記憶力が悪く、集中力が低下する

£人の名前や物の名前を思い出すのがますます難しくなっている

£話すことや読むことが難しい

£言いたいことを表現する言葉を見つけるのが難しい

£過去と同様に新しい情報を学ぶことができない[受容的な学習]

£配偶者、ルームメイト、兄弟、親友、親などの親密な関係にある話を繰り返したり、伝えた情報を忘れてりする

£明確な理由のない混乱

£誠実で合理的で真剣な努力にもかかわらず再発を引き起こす依存症

£正常を超える疲労、または悪化している疲労

£軽度から重度の不眠症および睡眠障害を含む睡眠障害
寝る

£今日または夜に9時間以上の睡眠、または許可されていれば毎日9
時間以上の睡眠

£眠れない

£寝苦しい[5分間バスルーム休憩を取る]
数えませんが]

主要な臓器

£ピロリ菌が原因ではない胃炎または胃過敏症

£十分に管理できない腸のトラブルおよび/または
クリア診断を持っていないもの

£明確な理由のない吐き気

£痛みなどの耳の問題、「圧力」が高まる

£感覚（視覚、聴覚、触覚、味覚）に関する問題。
処方箋が予想以上に変更されない限り、矯正レンズやコンタク
トの使用はカウントされません。

£バズるまたは鳴る音

£複視、飛蚊症、ドライアイ、その他の視力の問題

£結膜炎（小指）または時折起こる深部組織の損傷
目

£あらゆる種類の膀胱機能不全

£治療抵抗性間質性膀胱炎

切り傷を負った場合、または凝固の問題があると診断された場合は、血が固まりま
す。これは、血液を除去しないときに採取した血液に塊ができる採血でも見ら
れることがあります。

£心臓障害

£すべての検査と研究が正常範囲外で胸痛

£時折心拍が速くなる（動悸）

£心ブロック/心雑音

£心臓弁逸脱

£肺機能検査、検査、臨床検査、X線、MRIなどの原因が明らかでない息切れ。

£空気飢餓または息切れ感

肌

£しびれ、うずき、灼熱感、またはその領域のショック感覚
肌

£1 つまたは複数の厄介な皮膚感覚が数か月または数年にわたって変化し、
常に同じ場所に留まるわけではありません

£簡単かつ明白な原因のない発疹

£治療にもかかわらず持続する発疹

£明確な原因のない偏心したステッチ

£原因不明の脱毛

筋骨格系

£筋肉痛けいれん

£筋肉のけいれん

£原因不明の筋肉消耗

£顎の筋肉または関節の不眠症(TMJ)の問題

£20歳未満の場合、原因が不明な1つの関節に関節欠陥がある

£2つの関節の関節欠陥または35歳または若い場合

£3か所以上の関節欠陥、55歳未満、明らかな外傷なし

£関節の腫れまたは痛み（炎症）[ほとんどの患者には関節疾患がありません。]

£位置を変える関節の痛み

£首のこり

腫れ、発赤、体液の蓄積の症状を伴うまたは伴わない慢性関節炎

一般医療

£体重が増えたり減ったりするやり方は、食事と運動と明らかに矛盾している

£新しいまたは10年前より食物アレルギー

£パン、パスタ、スイーツを食べると気分が悪くなる

£もう耐性がないか、アルコールを楽しんでいます

抗ヒスタミン薬は昔よりも面倒です。

£薬に対する過剰な反応（あなたは薬に対して「敏感」です）

£抗生物質に対するあなたの反応は有意に陽性であり、あなたはより機能的に感じるか、あるいは反対の反応が起こり、気分が悪くなり、気分が悪くなり、疲労し、興奮します。

£慢性的な痛みが妥当と思われる量を超えている

£原因不明の神経痛

£光、音、触感、匂い、独特の味に敏感

£洗剤、フレグランス、香水に対する過敏症

£治療に反応しない、または悪化する頭痛

£新しいアレルギーまたは同僚よりも増加したアレルギー

あらゆる自己免疫 - ライム病やその他のダニ感染症は、長年にわたって炎症を増加させ、抗炎症化学物質を減少させます。これが食物過敏症の増加、自己免疫力の増加、さまざまな化学物質や薬物に対する過敏症の増加につながると私たちは考えています。

£昼間の汗

£夜の汗

£悪寒

£インフルエンザのような症状

£異常な月経周期

£減少または増加性欲

£乗り物酔いの増加

£失神

£回転する感覚またはめまい

£特定の原因もなく、現れたり消えたり機能が低下したりする病気

£明確な原因がなく機能が損なわれ、身体の複数の器官に影響を与える重篤な病気

£ 異常な検査結果、身体検査で病気が発見される、多くの診断が下される、あるいは原因が明らかでない

環境

£ あなたの住居のどの方向から 400 メートル以内の近所でも、誰かがダニ媒介感染症と診断されています[これには休暇先も含まれます]。

あらゆる種類のダニ媒介感染症を持った人があなたのそばに住んでいます。これは、彼らが単に 1 つの感染症について検査を受けていないことを前提としています。

£ あなたは、生涯、どこにいても体からダニを取り除くことができます。

£ あなたは、生涯のどの場所でも、衣服からダニを取り除きました。

£ After a tick or bug bite、少なくとも 48 時間は熱がある。

£ After a tick or bug bite、あなたはそうでした。

£ 小型野生哺乳類が多く生息する地域で遊ぶ

目に見えるカビが生えている部屋にいと、カビのような臭いがして気分が悪くなってしまうと、24時間以内に健康状態の基準には戻りません。

£ カビのような場所にいてから 2 分以内に何らかの不快感がある。カビの破片をわずかに 30 回吸入すると全身に影響を与えるため、これは治療を受けていない慢性感染症の兆候である可能性がある

£ 何らかのダニ媒介ウイルス、細菌、原虫、または明確な診断や原因のない臨床症状で陽性のペットまたは家畜

£患者の母親は、死亡または死亡した疑いがある

新しい直接的および間接的検査、臨床徴候および症状に基づいて、バベシア、エーリキア、ロッキーマウンテン斑点熱、アナプラズマ、ライム、バルトネラ、またはその他のダニ媒介性疾患と診断されます。

£ダニ媒介感染症を患っている兄弟、父親、配偶者、または子供

£屋外環境へのカジュアルまたは仕事関連の暴露

低木、野草、野生の小川や林（例 - ゴルフコース、公園、庭園、川岸、沼地など）

£ ペット、例えば馬、犬や猫は、藪、野草、野原のサワ林などの場所に屋外で触れたことがあります。

£あなたは過去にグラッシンをプレイしていました。

ノミに刺されました。

£あなたは犬にひっかかりました。

最後の言葉

上記の兆候や症状の一部は、ライム病よりも一般的である可能性のある他の感染症に当てはまりません。残念なことに、イクソデスやその他のダニによって媒介される多様な感染症を示す調査と経験が無視されているため、少数の症状と兆候がこのチェックリストに追加されました。さらに、「検査」には通常、ボレリアまたはライムなどの単一感染に対する1つの検査が含まれます。マダニや他の媒介ウイルスがライム病だけを媒介すると決して考えるべきではありません。

Ixodeスティックウェアについて話しているときはそうではないことに注意してください。

ベクトルが200以上あるため、これを「鹿ダニ」と呼んでいます (Ostfeld)。

現在提案されているティック削減オプションの多くは、その目標を達成できていません。シカの個体数を減らすことは、かつてはダニの個体数やライム病の発生率を減らすと考えられていましたが、単に哺乳類や人間の近くに生息する他の媒介動物のダニの数を増加させるだけかもしれません。

すべてのヒーラーは、自分の慣れ親しんだ考え方、テスト、治療方法を持っています。

クーンハッスは、偏見を持ち、客観的になるために奮闘し、そして失敗したことを示しました。確かなことは医学ではまったく不可能です。さらに、人体と細胞集団の感染は非常に複雑であるため、マダニ感染症の病理学的影響はほぼ無限にあります。症状の数を設定することはこのリストに当てはまらないため、私は推奨していません。このチェックリストの目的は、簡単に言うと、幅広く考えてもらうことです。

このチェックリストを使用してライム病を診断したり、ライム病を除外したりすることはできません。

ライムのチェックリストは医学的に非常に重要であり、スチラン合併症であり、感染症の早期診断と治療を行わないと、皮膚患者の年齢が低下したり死亡率が上昇したりする可能性があるためです。

過去15年間の書き込みでは、バベシアとバルトネラアスミアのどちらかが「同時感染」、またはスピロヘータ感染[つまりライム]の脚注を見た。どちらの感染も何十年も隠れることができ、そしてその後

血栓、不整脈、またはその他の手段によって人が身体障害になったり、死亡したりする可能性があります。

染色された組織サンプルや血液からのライムの検出は非常に困難です。現在、提示されている十分に確立された間接検査パターンは使用されておらず、すべての医療専門家によって理解されていません。

これはよく理解できますが、今後 10 年で変化する可能性があることを願っています。ダニ感染は身体に全身的な影響を及ぼし、ジャーナル記事、数冊の本、または国内または国際的なガイドラインで報告されている影響に限定されません。

シャラー博士は、バベシアに関する最新の教科書を 4 冊出版し、バルトネラに関する言語で書かれた唯一の最新の教科書を出版しました。

ライム、バベシア、バルトネラに関する彼の最新の本には、感染症医学の基礎教育の入門と考えられる 2,600 件を超える参考文献の「研究者限定」リストが含まれています。

彼は、米国医師会雑誌（JAMA）の元編集長の監修のもと、癌の第一人者であるバベシアと重度の精神疾患であるバルトネラに関する論文を発表しました。

彼はまた、NIH 感染症局長が承認した感染症の教科書として、バベシア病、バルトネラ病、ライム病を含む複数の浮腫感染症に関する記事も出版しました。

シャラー博士は、ダニおよびノミ媒介感染症に関する 7 冊の本の著者です。彼は、医師仲間から 20 人に 1 人にのみ与えられる栄誉である BEST 医師に評価されています。彼は患者からもトップの医師として評価されており、やはり医師の上位 5% にランクされています。

著作権 © 2011 JAMES SCHALLER, MD, 3 月バージョン 25。

このフォームを印刷または投稿する場合、いかなる方法であっても書面による許可なしに変更することはできません。導入部分や最後の段落を含め、行が編集または変更されていない限り、診断の考察を支援するために無料で印刷できます。シャラー博士は、これが完璧な最終形態であるとは主張しておらず、すべての診断上の決定は資格のある医療専門家に委ねられています。

参考文献 (ライム病)

AaltoA,SjöwallJ,DavidssonL,ForsbergP,SmedbyO.脳磁気共鳴画像法は慢性神経ボレリア症の診断に寄与しません。
ActaRadiol.2007Sep;48(7):755-62。
PMID:17729007

AbererE.[神経ボレリア症またはボレリアヒステリア。このケースは悪夢になります!].[ドイツ語の記事].MMWFortschrMed.2006Nov9;148(45):8.PMID:17615738

Aboul-EneinF,KristoferitschW.正常圧水頭症神経ボレリア症?
WienMedWochenschr.2009;159(1-2):58-61。
PMID:19225737

AlaediniA,LatovN.ボレリアブルクドルフェリのOspAエピトープに対する抗体は神経組織と交差反応します。
JNeuroimmunol.2005Feb;159(1-2):192-5.Epub2004Nov26.PMID:15652419

AngelakisE,BilleterSA,BreitschwerdtEB,ChomelBB,RaoultD.潜在的なダニ媒介バルトネラ症。EmergInfectDis.2010Mar;16(3):385-91。

AuwaerterPG.Point: 抗生物質療法は、病気に起因する症状が続く患者にとっての解決策ではありません。
2007Jul15;45(2):143-8.Epub2007Jun5.PMID:17578771

BanararM,CostK,RychwalskiP,BryantKA. 思春期の慢性リンパ球性髄膜炎。
JPediatr. 2005Nov;147(5):686-90。
PMID:16291364

BanethG,BreitschwerdtEB,HegartyBC,PappalardoB,RyanJ.Asurveyoftick-bornebacteria and protozoainnaturally曝露された犬からイスラエルから。VetParasitol.1998Jan31;74(2-4):133-42。

BarbourAG.LaboratoryaspectsofLymeborreliosis.ClinMicrobiolRev1988Oct;1(4):415-31。

BariePS.Warning!DangerWillRobinson!

LymediseaseclinicalpracticeguidelinesoftheInfectiousDiseasesSocietyofAmerica,activistpat

BatinacT,PetranovicD,ZamoloG,PetranovicD,RuzicA.ライムボレリア症および多発性硬化症は原発性滲出性リンパ腫に関連する。
MedHypotheses.2007;69(1):117-9.Epub2007Jan2.
PMID:17197115

BegonE.[ライムアース炎、ライム心炎および他の症状潜在的にライム病に関連].[フランス語の記事].MedMallInfect.2007Jul-Aug;37(7-8):422-34.Epub2007Aug14.
PMID:17698309

BenhniaMR,WroblewskiD,AkhtarMN,PatelRA,LavezziW,GangloffSC,GoyertSM,DvorákováJ,CelerV.[ライムボレリア症の薬理学的側面].[チェコ語の記事].CeskaSlovFarm.2004年7月;53(4):159-64.PMID:15369225

BhateC,SchwartzRA.ライメディ病:パート II.管理と予防.JAmAcadDermatol.2011Apr;64(4):639-53;quiz654,653.PMID:21414494

ピエンアダG,チャピエルJ,ソプチク=クルピアルツイ、ガーリックキーA、マツハト。
錐体外路症状を伴う神経ボレリア症:acasereport.PolArchMedWewn.2008May;118(5):314-7.PMID:18619183

Biller SA,LevyMG,ChomelBB,BreitschwerdtEB.ダニ伝播の可能性を強調したバルトネラ種のベクター伝播。MedVet Entomol. 2008Mar;22(1):1-15.

Bitarl,LallyEV,ライム病の筋骨格症状。
MedHealthRI.2008Jul;91(7):213-5.PMID:18705221

BlancF.[フランスにおけるライムボレリア症と神経ボレリア症の疫学].[フランス語記事].RevNeurol(パリ).2009Aug-Sep;165(8-9):694-701.Epub2009May17.PMID:19447458

BlancF;GEBLY.[ライム病の神経学的および精神医学的症状].[フランス語の記事].MedMalInfect.2007Jul-Aug;37(7-8):435-45.Epub2007Mar9.PMID:17350199

BransfieldRC,WulfmanJS,HarveyWT,UsmanAI.ダニ媒介感染症、ライムボレリア症、自閉症スペクトラム障害間の関連.MedHypotheses.2008;70(5):967-74.Epub2007Nov5.PMID:17980971

BrehmM,RelleckeP,StrauerBE.[炎症性心疾患による原発性心外疾患].[ドイツ語記事].内科医(Berl)。2008年1月;49(1):27-33.PMID:17992497

BreitschwerdtEB.Felinebartonellosisandcatscratchdisease.VetImmunolImmunopathol

BreitschwerdtEB,AtkinsCE,BrownTT,KordickDL,SnyderPS。Bartonella vinsonii subsp.berkhoffii および関連メンバー、プロテオバクテリアのプロテオバクテリアのサブディビジョン、心不整脈、心内膜炎、心筋炎を伴う犬。JClinMicrobiol.1999Nov;37(11):3618-26.

BreitschwerdtEB,BlannKR,StebbinsME,MuñanaKR,DavidsonMG、JacksonHA,WillardMD.Bartonellavinsonii (berkhoffii) 抗原に反応性の24頭の犬の臨床病理学的異常と治療反応。JAmAnimHospAssoc.2004Mar-Apr;40(2):92-101。

BreitschwerdtEB,HegartyBC,Hancock SI.エールリキアカニス、エールリヒアフェーンシス、エールリキアエクイ、エールリヒアウイングイ、またはバルトネラビンソニーに自然に感染した犬の逐次評価。JClinMicrobiol.1998Sep;36(9):2645-51.

BreitschwerdtEB,HegartyBC,MaggiR,HawkinsE,DyerP。Bartonella 種、犬の鼻出血の潜在的原因。JClinMicrobiol.2005May;43(5):2529-33。

BreitschwerdtEB,KordickDL.Bartonellosis.JAmVetMedAssoc.
1995Jun15;206(12):1928-31.レビュー。

BreitschwerdtEB,Kordick DL.Bartonellainfectioninanimals:保菌力、
保有可能性、病原性、および人獣共通感染の可能性。
ClinMicrobiolRev.2000Jul;13(3):428-38。
レビュー。

BreitschwerdtEB,KordickDL,MalarkeyDE,KeeneB,HadfieldTL,WilsonK.
バルトネラ亜種による感染による心内膜炎。JClinMicrobiol.1995Jan;33(1):154-60。

BreitschwerdtEB,MaggiRG.犬ベクター媒介疾患の紛らわしい症例:エール
リヒアカニとバルトネラビンソンii spp.berkhoffii.ParasitVectorsに共感染した犬
の臨床徴候と進行。
2009Mar26;2Suppl1:S3。

BreitschwerdtEB,MaggiRG.イヌとヒトのバルトネラ症の比較医療特
徴.ClinMicrobiolInfect.2009Dec;15Suppl2:106-7.Epub2009Apr30。

BreitschwerdtEB,MaggiRG,CadenasMB,dePaivaDinizPP.Agroundhog、
小説Bartonellasequence、そして父の死。EmergInfectDis.2009Dec;15(12):2080-6。

BreitschwerdtEB,MaggiRG,ChomelBB,LappinMR.バルトネラ症動物や人間に
とって重要な人獣共通感染症の新たな感染症。JVetEmergCritCare(サンア
ントニオ).2010Feb;20(1):8-30.レビュー。

BreitschwerdtEB,MaggiRG,DuncanAW,NicholsonWL,HegartyBC、
WoodsCW.Bartonella 種の血液フィルム免疫有能者と動物陸節足動物の接
触。EmergInfectDis.2007Jun;13(6):938-41。

BreitschwerdtEB, MaggiRG, FarmerP, MascarelliPE. *Bartonella vinsonii* subsp. *berkhoffii* and *Bartonella henselae* の周産期感染の分子証拠. *J Clin Microbiol*. 2010 Jun; 48(6):2289-93. Epub 2010 Apr 14.

BreitschwerdtEB, MaggiRG, LantosPM, WoodsCW, HegartyBC, BradleyJM. *Bartonella vinsonii* subsp. *berkhoffii*, *Bartonella henselae* 菌血症の父と娘が神経疾患を患っています。 *Parasit Vectors*. 2010 Apr 8; 3(1):29.

BreitschwerdtEB, MaggiRG, NicholsonWL, Cherry NA, WoodsCW. *Bartonella* bacteremia in patients with neurological and neurocognitive dysfunction. *J Clin Microbiol*. 2008 Sep; 46(9):2856-61. Epub 2008 Jul 16.

BreitschwerdtEB, MaggiRG, RobertMozayeniB, HegartyBC, BradleyJM, MascarelliPE. PC人間の血液および濃厚血液培養からのバルトネラ・コエレラエの増幅。 *Parasit Vectors*. 2010年8月24日; 3:76。

BreitschwerdtEB, MaggiRG, SigmonB, NicholsonWL. 推定咬傷感染後の女性と猫からのバルトネラキントナの分離。 *J Clin Microbiol*. 2007 Jan; 45(1):270-2. Epub 2006 Nov 8.

BreitschwerdtEB, MaggiRG, VaranatM, LinderKE, Weinberg G. 上皮性血管内皮腫と血管周皮細胞腫を持つ犬からのバルトネラ *Bartonella vinsonii* 亜種バーコフィ遺伝子型 II の分離。 *J Clin Microbiol*. 2009 Jun; 47(6):1957-60. Epub 2009 Apr 15.

BreitschwerdtEB, MascarelliPE, SchweickertLA, MaggiRG, HegartyBC, BradleyJM, WoodsCW. 幻覚、感覚神経障害、バルトネラコエレラエに感染した若い女性の末梢視覚障害。 *J Clin Microbiol*. 2011 Sep; 49(9):3415-7. Epub 2011 Jul 6.

Breitschwerdt EB, Sontakke S, Cannedy A, Hancock SI, Bradley JM. ノースカロライナ牛飼いにおけるバルトネラワイシアの感染とナノバクテリア抗原の検出。J Clin Microbiol. 2001 Mar; 39(3):879-82。

Breitschwerdt EB, スクサワット J, チョメル B, ヘガティ BC. バルトネラビンソン II 亜種ベルコフィ抗原に対する犬の免疫学的反応: 西洋免疫ブロット分析による評価。J Vet Diagn Invest. 2003 Jul; 15(4):349-54.

Brtkova J, Jirickova P, Kapla J, Dedic K, Pliskova L. 典型的な慢性皮膚炎を伴うボレリア関節炎および慢性筋炎。JBR-BTR. 2008 May-6月; 91(3):88-9. PMID:18661710

Burns RB, ハートマン EE. 慢性ライム病と診断された58歳の男性、1年後。JAMA. 2003 Dec 24; 290(24):3247. PMID:14693878

Caimano MJ, Radolf JD, Sellati TJ. Signaling through CD14 attenuates the inflammatory response to Borrelia burgdorferi, the agent of Lyme disease. J Immunol. 2005 Feb 1; 174(3):1539-44. PMID:15661914

Calza L, Manfredi R, Chiodo F. [ダニ媒介感染症]. [イタリア語の記事]. Recent Prog Med. 2004 Sep; 95(9):403-13. PMID:15473378

Cameron D. Obstacles to the diagnosis of chronic Lyme disease in actual practice. Minerva Med. 2009 Oct; 100(5):435-6. PMID:19910896

Cameron DJ. Clinical trials validate the severity of persistent Lyme disease symptoms. Med Hypotheses. 2010; 2010:876-8. PMID:20508824

Cameron DJ. Proof that chronic Lyme disease exists. Interdiscip Perspect Infect Dis. 2010; 2010:876-8. PMID:20508824

Cerar T, Ruzic-Sabljić E, Cimperman J, Strle F. 免疫蛍光アッセイ (IFA) の比較とライムボレリア症の異なる臨床症状を持つ入院患者の連携。
Wien Klin Wochenschr. 2006 Nov; 118(21-22): 686-90. PMID: 17160608

Chandra A, Wormser GP, Klempner MS, Trevino RP, Crow MK, Latov N, Alaedini A. ライムボレリア症の既往歴と持続性症状のある入院患者の抗神経抗体反応性。脳行動免疫。
2010 Aug; 24(6): 1018-24. Epub 2010 Mar 18. PMID: 20227484

Chernogor LI, Arbatskaia EV, Danchinova GA, Kozlova IV, Gorina MO, Suntsova OV, Chaporgina EA, Belikov SI, Borisov VA. [バイカラ地域におけるステティック伝染性ボレリア症の臨床および研究室の特徴付け]。[ロシアの記事]。Zh Mikrobiol Epidemiol Immunobiol. 2005 Nov-Dec; (6): 60-2. PMID: 16438378

Chomel BB, Boulouis HJ, 丸山 S、

Breitschwerdt EB. Bartonella spp. in pets and effect on human health. Emerg Infect Dis. 2006

Clarissou J, Song A, Bernedo C, Guillemot D, Dinh A, Ader F, Perronne C, Salomon J. 慢性ダニ関連多臓器症候群 (TAPOS) を有する入院患者の長期抗生物質治療の有効性。Med Mal Infect. 2009 Feb; 39(2): 108-15. Epub 2009 Jan 4.

PMID: 19124209

Comer JA, Diaz T, Vlahov D, Monterroso E, Childs JE. セントラランドイーストハーレム、ニューヨーク市の静脈麻薬使用者による、虫歯に関連したバルトネラとリケッチア感染症の証拠。
Am J Trop Med Hyg. 2001 Dec; 65(6): 855-60. PMID: 11791987

Comer JA, Flynn C, Regnery RL, Vlahov D, Childs JE. Antibodies to Bartonella species in inner-city intravenous drug users in Baltimore, Md. Arch Intern Med. 1996 Nov 25; 156(21): 2491-5. PMID: 8911111

Coyle PK. Lyme disease. In: Feldmann E, ed. Current diagnosis in neurology. St Louis: Mosby, 1994; pp 110-4.

CoylePKed.LymeDisease.St.Louis:Mosby YearBook1993;pp187-91。

ClarkJR,CarlsonRD,SasakiCT,PachnerAR,SteereAC、ライム病における顔面麻痺、喉頭鏡 1985Nov;95(11):1341-5。

Créange A. [ライムボレリア症の診断につながる臨床症状と疫学的側面:ライムボレリア症の経過における神経学的および精神医学的症状].[フランス語の記事].MedMalInfect.2007Jul-Aug;37(7-8):532-9.Epub2007Mar26.PMID:17368785

ダフランカイ、サントスL、メスキータ、コラレス・ペレイラム、バプティスタ、ヴィエイラル、ヴィアナイ、ヴァリー、プラテスC.ボレリアルシタニアエによって引き起こされたポルトガルのライムボレリア症?皮膚分離陽性の最初の患者の臨床報告。WienKlinWochenschr.2005Jun;117(11-11-12):429-32.PMID:16053200

DanzB,KreftB,RadantK,MarschWCh,FiedlerE.皮膚色の顔面浮腫、慢性萎縮性皮膚炎の初期症状。JEurAcadDermatolVenereol.2008Jun;22(6):751-3。

PMID:18482035

Dattwyler RJ,ハルペリン JJ,フォルクマン DJ,ルフト BJ. ライムボレリア症の治療 - セフトリアキソンとペニシリンのランダム化比較.Lancet 1988 May 28;1(8596):1191-4。

DattwylerRJ,LuftBJ,MaladornoD、他。ライム病の治療 - 2週間と4週間のソフトセフトリアキソンの比較。VII 国際会議ライムボレリア症。サンフランシスコ、1996年6月。

DattwylerRJ,WormserGP,RushTJ,FinkelMF,SchoenRT,GrunwaldtE, FranklinM,HiltonE,BryantGL,AggerWA,MaladornoD.セフトリアキソンインレートライム病の2つの治療計画の比較。WienKlinWochenschr.2005Jun;117(11-12):393-7。

PMID:16053194

deFreitasMR.感染性神経障

害.CurrOpinNeurol.2007Oct;20(5):548-52.PMID:17885443

DeHeller-MilevM、PeterO、PanizzonRG、LaffitteE.[顔面のボレリアエリテ
マ].[フランス語の記事].AnnDermatolVenereol.

2008Dec;135(12):852-4.Epub2008Oct26.PMID:19084697

DeLongA.Lymedisease.MedHealthRI.2008Dec;91(12):390;authorreply390.PMID:1917031

デピエトロパオロ DL、パワーズ JH、ギル JM、フォイ AJ.ライメディ病の診
断.DelMedJ.2006Jan;78(1):11-8.PMID:16548394

Dillon R、O'ConnellS、Wright S. 英国のライメディ病: 臨床および研究室の特徴
と治療への反応。ClinMed. 2010Oct;10(5):454-7.PMID:21117376

DjukicM、Schmidt-SamoaC、NauR、von SteinbüchelN、EiffertH、SchmidtH.

慢性ライメン神経ボレリア症の疑いのある診断スペクトル患者 - 大学病院のライメン
神経ボレリア症外来患者の 1 年間の経験。EurJNeurol.2011Apr;18(4)

:547-55.Epub2010Oct27.PMID:20977545

Drancourt M、Tran-HungL、Courtin J、Lumley H、Raoult

D.Bartonellaquintanaina4000 year

oldhumantooth.JInfectDis.2005Feb15;191(4):607-11。

DresslerF、WhalenJA、ReinhardtBN、SteereA.ライメ病の血清診断におけるウェ
スタンブロットティング.JInfectDis1993Feb;167(2):392-
400。

EgleUT.[慢性ボレリア症?いいえ、心身症!(ブリジット・モレアーノ医師によるインタ
ビュー)].[ドイツ語記事].MMWFortschrMed.2005May26;147(21):15.PMID:15966166

EineckeU.[Winterpausewastooshort--ticksarealreadybecomingmobile].

[ArticleinGerman].MMWFortschrMed.2008Mar13;150(11):12-4.PMID:18447267

エカーフェルト C、アンダーソン M、オラウソン A、バーグストローム S、ハルトマン P.

実験的ライム性関節炎におけるサイトカイン反応の偏りのモデルとしての水銀曝露:

HgCl₂ 治療はヘルパー細胞 1 型様反応と関節炎の重症度を低下させるが、ボレリアブルグドルフェリン C3H/HeN マウスの撲滅を遅らせる。ClinExpImmunol.

2007Oct;150(1):189-97.Epub2007Aug2. PMID:17672870

EmedicineHealth.LymeDiseaseSymptoms.http://www.emedicinehealth.com/lyme_disease/page3_em.htm#LymeDiseaseSymptoms

EskowE,RaoRV,MordechaiE.中枢神経系の同時感染、Borreliaburgdorferian およ

び Bartonellahenselae による: ダニ媒介性疾患複合体の証

拠.ArchNeurol.2001Sep;58(9):1357-63。

FallonBA,LevinES,SchweitzerPJ,HardestyD.炎症と中枢神経系ライム

病.NeurobiolDis.March2010;37(3):534-41.Epub2009Nov26.PMID:19944760

FallonBA,LipkinRB,CorberaKM,YuS,NoblerMS,KeilpJG,PetkovaE,LisanbySH,

MoellerJR,SlavovI,VanHeertumR,MenshBD,SackeimHA.局所脳血流と代

謝性持続性ライム脳症.ArchGenPsychiatry.2009May;66(5):554-63.PM ID:19414715

ファロンBA、ニールズJA.ライム病:神経精神疾患.AmJP精神医学

1994Nov;151(11):1571-83.PMID:7943444

FederHMJr,AbelesM,BernsteinM,Whitaker-WorthD,Grant-KelsJM.診断、治

療、および予後紅斑グラン砂およびライムアース炎.ClinDermatol.2006Nov-

Dec;24(6):509-20。

PMID:17113969

フェダーHMJr、GerberMA,LugerSW,RyanSW.ライム病で治療を受けたボレリアブル

グドルフェリンの入院患者に対する血清抗体の持続。

ClinInfectDis1992Nov;15(5):788-93。

フェダーHM Jr、ジョンソンBJ、オコーネルズ、シャピロED、ステアAC、ウォーム
サーGP、アドホック国際ライム病グループ、アッガーWA、ArtsobH、アウワートルP、ダ
ムラーJS、バッケンJS、ボッケンシュテットLK、グリーンJ、ダットワイラーRJ、ム
ニョスJ、ナデルマンRB、シュワルツ、ドレイパーT、マックスウエエガンE、ハルペリン
JJ、クレンプナーMS、クラウスPJ、ミードP、MorshedM、PorwancherR、
RadolfJD、SmithRP Jr、SoodS、WeinsteinA、WongSJ、Zemell。「慢性ライム病」の批
判的評価。

N Engl J Med. 2007 Oct 4; 357(14): 1422-30. PMID: 17914043

Fingerle V, Huppertz HI. [小児におけるライムボレリア症。疫学、診断、臨床治療、および治療]. [ドイツ語の記事]。

Hautarzt. 2007 Jun; 58(6): 541-50, quiz 551-2. PMID: 17729432

Fingerle V, Wilske B. [ライムボレリア症の段階別治療法]。

[ドイツ語の記事]. MMW Fortschr Med. 2006 Jun 22; 148(25): 39-41.

PMID: 16859159

Finkel MJ, Halperin JJ. 神経系ライメン神経ボレリア症再訪。Arch Neurol
1992 Jan; 49(1): 102-7.

Fomenko NV, Romanova EV, Mel'nikova OV, Chernousova NI, Epikina TI.

[イクソデスティック媒介ボレリオ患者の血液中のボレリアブルクドルフェリセンス
ラト複合体におけるボレリア DNA の検出]. [ロシアの記事]. Klin Lab Diagn. 2006 Aug;
(8): 35-7.

PMID: 17087247

Fürst B, Glatz M, Kerl H,

Müllegger RR. The impact of immunosuppression on erythema migrans. 臨床
症状のレトロスペクティブ研究、33人の患者におけるボレリア抗体の治療と生産への
反応。Clin Exp Dermatol. 2006 Jul; 31(4): 509-14.

Erratum in Clin Exp Dermatol. 2006 Sep; 31(5): 751. PMID: 16716151

ゲオルギエフ C、デモントロウ F、デフエンテス G. [アルコールてんかん: アルコール
離脱発作と神経ボレリア症の間の症例報告]。

[フランス語の記事]. Brain. 2011 Jun; 37(3): 231-7. Epub 2010 December
3. PMID: 21703439

GhoshS,HuberBT.慢性ライム土炎患者の末梢循環からのOspA特異的抗体のクローン多様化.JImmunolMethods.2007Apr10;321(1-2):121-34.Epub2007Feb6.

PMID:17307198

GhoshS,SewardR,CostelloCE,StollarBD,HuberBT.
滑膜病変からの自己抗体慢性、抗生物質治療抵抗性ライムアース炎結合サイトケ
ラチン-10.JImmunol.2006Aug15;177(4):2486-94.PMID:16888010

GhoshS,SteereAC,StollarBD,HuberBT.慢性ライム土炎滑膜における抗体レパ
ートリーの施設内多様化。JImmunol。
2005年3月1日;174(5):2860-9.PMID:15728496

ギンズバーグ L、キッド D、慢性再発性髄膜炎、PractNeurol。
2008年12月;8(6):348-61.PMID:19015295

Girschick HJ,Morbach H,Tappe D. ライムボレリア症の治療。
ArthritisResTher. 2009;11(6):258.Epub2009Dec17.
PMID:20067594

GouveiaEA,AlvesMF,MantovaniE,OyafusoLK,BonoldiVL,吉成NH。「エ
ミリオ・リバス感染症研究所」で認められたバジジョ・吉成症候群患者のプロフィー
ル。RevInstMedTropSaoPaulo.2010Dec;52(6):297-303.PMID:21225212

GrabeHJ,SpitzerC,LuedemannJ,GuertlerL,KramerA,JohnU,
FreybergerHJ,VölzkeH.Noassociationofseropositivityforanti-Borrelia
IgGantibody with mental andphysical
愁 訴.NordJPsychiatry.2008;62(5):386-91.PMID:18752103

グリゴルチュク S、ヘルマノフスカ=シュパコヴィチ T、コンドルシク M、パンセヴィチ S、ザジ
コフスカ J. [エールリヒア症 - ポーランドではまれに認識される病気]。
[ポーランド語の記事].WiadLek.2004;57(9-10):456-61.PMID:15765762

GrygorczukS,PancewiczS,ZajkowskaJ,KondrusikM,MoniuszkoA.[ライムボ
レリア症の関節症状].[ポーランド語の記事].PolMerkurLekarski.2008
June:24(144):542-4.PMID:18702339

GrygorczukS,PancewiczS,ZajkowskaJ,KondrusikM,
SwierzbińskaR,MoniuszkoA,Pawlak-ZalewskaW.[ライムボレリア症の再感
染].[ポーランド語の記事].PolMerkurLekarski.2008Sep;25(147):257-9.PMID:19112844

GrygorczukS,ZajkowskaJ,PanasiukA,KondrusikM,ChmielewskiT,
SwierzbińskaR,PancewiczS,FlisiakR,Tylewska-WierzbanowskaS.[ボレリアブ
ルグドルフェリアン抗原で刺激した末梢血単核細胞の培養におけるカスパ
ーゼ-3の活性]。
[ポーランド語の記事].PrzegłEpidemiol.2008;62(1):85-91。
PMID:18536229

GrygorczukS,ZajkowskaJ,SwierzbińskaR,PancewiczS,KondrusikM,
Hermanowska-SzpakowiczT.[慢性関節炎患者のアポトーシスリンパ球の調節に
関与する可溶性因子の濃度（予備報告）]。[ポーランド語の記
事].PolMerkurLekarski .2006Jan;20(115):49-52.PMID:16617735

Hagberg L, Dotevall L. 評判の悪い神経ボレリア症。これは神秘的で、治療が難
しい感染症です!。[スウェーデン語の記事]。
Lakartidningen.2007Nov28-Dec4;104(48):3621-2.PMID:18193671

ハルペリンJJ.長期にわたるライム病の治療 :十分です。
神経学.2008Mar25;70(13):986-7.Epub2007Oct10.
PMID:17928578

ハルペリン JJ.ライム病:証拠に基づくアプローチ(分子細胞生物学シリーズの進歩)英
国オックスフォードシャー州ウォリングフォード:CABI.2011。

ハルペリン JJ,クルップ LB,ゴライトリー MG,フォルクマン DJ.ライムボレリア症関
連脳症。神経学 1990Sep;40(9):1340-3。

HalperinJJ,LogigianEL,FinkelMF,PearlRA.神経系患者の診断のための実践パ
ラメータライムボレリア症 (ライメディ病).神経学
1996Mar;46(3):619-27.PMID:8618656

Halperin JJ, Shapiro ED, Logigian E, Belman AL, Dotevall L, Wormser GP, Krupp L, Gronseth G, Bever CT Jr; 米国神経学会の品質基準小委員会. 実践パラメータ: 神経系ライム病の治療(証拠に基づくレビュー); アメリカ神経学会の品質基準小委員会の報告書. 神経学. 2007 Jul 3; 69(1): 91-102. Epub 2007 May 23. Erratum in Neurology. 2008 Apr 1; 70(14): 1223. PMID: 17522387

Hamblin T. Is chronic lymphocytic leukemia a response to infectious agents? Leuk Res. 2006 Sep; 30(9): 1063-4. Epub 2006 Jan 6. PMID: 16406017

Hamlen R. ライムボレリア症: 科学者と患者の視点. Lancet Infect Dis. 2004 Oct; 4(10): 603-4. PMID: 15451481

ハンセス F, オーデベルト FX, グラック T, ザルツベルガー B, エーレンシュタイン BP. [ボレリア症の疑い - 背後にあるもの?]. [ドイツ語記事]. Dtsch Med Wochenschr. Aug 2011; 136(33): 1652-5. Epub 2011 Aug 10. PMID: 21833884

Harrer T, Geissdörfer W, Schoerner C, Lang E, Helm G. 慢性リンパ性白血病の治療患者における血清陰性ライム神経ボレリア症。感染症。2007 Apr; 35(2): 110-3. PMID: 17401717

Hassler D, Schnauffer M, Ehrfeld H, Müller E. 慢性ライムボレリア症の成功した治療後の特異的免疫応答の消失. Int J Med Microbiol. 2004 Apr; 293 Suppl 37: 161-4. PMID: 15147000

Hausotter W. [ライムボレリア症の鑑定]. [記事ドイツ語] Versicherungsmedizin. 2004 Mar 1; 56(1): 25-9. PMID: 15049470

ヘンドリックス G, デボック H, グーセンス A, デマネ C, ヴァンデンプラス Y. 小児の持続性滑膜炎とライム性関節炎 : 珍しい 2 例。免疫遺伝学的アプローチ. Eur J Pediatr. 2004 Nov; 163(11): 646-50. Epub 2004 Jul 28. PMID: 15503133

HendrickxG, Demanet C, Vandenplas Y. HLA-DRB1*1104 に関連するライム
アース炎を伴う 2 人の子供の持続性滑膜
炎. EurJPediatr. 2006 Jun; 165(6):420-1. Epub 2006 Mar 4. PMID: 16518608

Hodzic E, Feng S, Holden K, Freet KJ, Barthold SW. マウスにおける抗生物質治療
後のボレリアブルグドルフェリの持続性. 抗微生物剤化学
母. 2008 May; 52(5):1728-36. Epub 2008 Mar 3.
PMID: 18316520

Holmes KD. 「慢性ライム病」の分析. NEnglJMed.
2008年1月24日; 358(4):429; 著者返信 430-1. PMID: 18219749

Hoppa E,
Bachur R. Lyme disease update. Curr Opin Pediatr. 2007 Jun; 19(3):275-80. PMID: 17505186

Horneff G. [若年性アースリチデス]. [ドイツ語の記事]. ZRheumatol.
2010年10月; 69(8):719-35; クイズ 736-7. PMID: 20798949

Hospach T, Langendörfer M, Kalle TV, Tewald F, Wirth T, Dannecker GE. 滑膜血管
腫による模倣蠅性関節炎. Rheumatol Int. 2009 Dec 16.
[Epub ahead of print] PMID: 20013264

Hurley RA, Taber KH. 急性および慢性ライム病: 神経精神医学に関する論争. J神経精
神医学臨床神経科学. 2008 Winter; 20(1):iv-6. PMID: 18305280

Hytönen J, Hartiala P, Oksi J, Viljanen MK. ボレリア症: 最近の研究、診断、
管理. ScandJRheumatol. 2008 May-Jun; 37(3):161-72. PMID: 18465449

国際ライム病関連疾病協会 (ILADS)、ライム病管理のための証拠に基づくガイド
ライン。
Expert Rev Anti-infect Ther. 2004. 2(補足):p.S1-S13.

Jacomo V, Kelly PJ, Raoult D

(2002). Natural history of Bartonella infections (an exception to Koch's postulate). Clin Diagn

ヤコブスM、モラヴィエツル、ロートシェンク、ホップT、ワイナーズ、シャウステン
H、クルークマイヤー

MG、KrennV. [滑膜炎スコア: 叔父性関節炎における病理組織学的診断の価値。リウマチ病理学的診療からの症例報告].[ドイツ語の記事].ZRheumatol.2007Dec;66(8):706-12.
PMID:18000669

JareforsS、JanefjordCK、ForsbergP、JenmalmMC、EkerfeltC.
インターロイキン 12R ベータ 2 鎖とインターフェロン ガンマ分泌の上方
制御の減少、およびフォークヘッドボックス P3 の数の増加
慢性ライメボレリア症の病歴を持つ入院患者と無症候性ボレリアに曝露された個人との比較における細胞の発現。
ClinExpImmunol.2007Jan;147(1):18-27.PMID:17177959

JohnsonBJ、RobbinsKE、BaileyRE、CaoBL、SviatSL、CravenRB、MayerLW、
DennisDT.ライメ病の血清診断:鞭毛ベースの ELISA と免疫ブロット法を使用した
2 段階アプローチの精度。
JInfectDis1996Aug;174(2):346-53.PMID:8699065

ジョンソン L、エイルワード A、ストリックカー RB. ライメディ病患者の医療アクセスとケアの負担: 米国大規模調査. 健康政策. 2011 年 9 月; 102(1):
64-71. Epub 2011Jun14.
PMID:21676482

JohnsonM、FederHMJr.ChronicLymedisease:asurveyofConnecticutprimarycarephysicians.
1029.e1-2.Epub2010Sep1.PMID:20813379

KaiserR.[セフトリアキソンによる治療後の急性および慢性神経ボレリア症の臨床コース].[ドイツ語の記事].Nervenarzt.
2004 年 6 月;75(6):553-7.PMID:15257378

KalacM、Suvic-KrizanicV、OstojicS、Kardum-SkelinI、Barsic B、Jaksica B.神経ボレリア症患者の以前に診断されていない慢性リンパ球性白血病の中枢神経系の関与。IntJHematol.2007May;85(4):323-5.

PMID:17483076

Kaminsky A. Erythema figuratum. [英語、スペイン語の記事]。
議事録 *Dermosifiliogr.* 2009 Dec; 100 Suppl 2: 88-109。
PMID: 20096167

Kaplan FR, Jones-Woodward L. ライム脳症 : 神経心理学的視点。
Semin Neurol 1997 Mar; 17(1): 31-7。

カールソン M、ホヴァント・ホーゲン K、スヴェヌングソン B、Stiernstedt G。
ライムボレリア症患者の脳脊髄液からのスピロヘータの培養と特性評価。*J Clin Microbiol* 1990 Mar; 28(3): 473-9。

Katchanov J, Siebert E, Klingebiel R, Endres M. 頭蓋内大中型血管の感
染性血管障害神経学的集中治療ユニット : 臨床放射線研
究. *Neurocrit Care.* 2010 Jun; 12(3): 369-74. PMID: 20146025

ケラー TL、ハルペリン JJ、ホイットマン M. ライメン神経ボレリア症患者の
脳脊髄液からのボレリアブルグドルフェリ DNA の PCR 検出. *神経学* 1992 年
1 月; 42(1): 32-42。

Kemperman MM, Bakken JS, Kravitz GR. Dispelling the chronic
Lyme disease myth. *Minn Med.* 2008 Jul; 91(7): 37-41。
PMID: 18714930

Kestelyn PG. Aneye on inflammatory eye disease. *Acta Clin Belg.*
2005 年 9 月~10 月; 60(5): 270-5. PMID: 16398326

Kisand KE, Prück T, Kisand KV, Lüüs SM, Kalbel, Uibo R。
過剰な炎症促進反応の傾向慢性ライムボレリア症。
APMIS. 2007 Feb; 115(2): 134-41. PMID: 17295680

Kiser, K. In the Lyme light. *Minn Med.* 2009 Nov; 92(11): 10-2。
PMID: 20069988

Klimkiewicz Wolańska E, Szymanska J, Bachanek T. ボレリア症に関連す
る口腔顔面症状 -- casereport. *Agric Environ Med Ann.*
2010 年 12 月; 17(2): 319-21. PMID: 21186776

Kohler J, Kern U, Kasper J, Rhese-Kupper B, Thoden U. ライメボレリア症に関する慢性中枢神経系。神経学 1988 Jun; 38(6): 863-7。

Kordick DL, Breitschwerdt EB, Bartonellahenselae の赤血球内存在、
J Clin Microbiol, 1995 Jun; 33(6): 1655-6。

Kordick DL, Breitschwerdt EB, Bartonellahenselaetocats の血液感染後の再発菌血症。Am J Vet Res. 1997 May; 58(5): 492-7。

Kordick

DL, Breitschwerdt EB. Persistent infection of pets within a household with three Bartonella species. Emerg Infect Dis. 2000; 6(1): 10-17.

Kordick SK, Breitschwerdt EB, Hegarty BC, Southwick KL, Colitz CM, Hancock SI, Bradley JM, Rumbough R, McPherson JT, MacCormack JN. ノースカロライナ州ウォーカーハウンドケンネルにおける複数のダニ媒介病原体との共感染。J Clin Microbiol. 1999 Aug; 37(8): 2631-8。

Krause A, Fingerle V. [ライムボレリア症]. [ドイツ語記事]. Z Rheumatol. 2009 May; 68(3): 239-52, quiz 253-4. PMID: 19387665

Krause A, Herzer P. [リンパ節炎の早期診断]. [ドイツ語記事]. Z Rheumatol. 2005 Nov; 64(8): 531-7. PMID: 16328757

クレマース、ホルン、シュミット、デセーゼ J、モーザート、ディーテリッヒ JL マン。
[非外傷性および非腫瘍性病変の画像処理]. [フランス語記事]. J Radiol. 2010 Sep; 91(9Pt2): 969-87. PMID: 20814389

クルーガー H、コールヘップ W、ケーニッヒ S. 抗生物質で治療された神経ボレリア症と未治療の神経ボレリア症の追跡調査。Acta Neurol Scand 1990 Jul; 82(1): 59-67。

Krupp LB. Lyme disease. In: Samuels MA, Feske S, 編. Office practice of neurology. ロンドン: Churchill-Livingstone, 1996; pp 383-7。

Kuenzle S、フォン・ビューディンゲン HC、マイヤー M、ハラール MD、ウーリッヒ、ベッヒャー B、ゲーベルス N. 病原体特異性と自己免疫は、神経ボレリア症における抗原駆動免疫反応の異なる特徴です。

InfectImmun.2007Aug;75(8):3842-7.Epub2007May21。

PMID:17517881

KuhnTS.The Structuresofscientificrevolutions.Chicago:UniversityOfChicagoPress;第3版;1996.要約:<http://des.emory.edu/mfp/Kuhn.html>

LaFleurRL、DantJC、WasmoenTL、CallisterSM、JobeDA、LovrichSD、WarnerTF、AbdelmagidOR、SchellRF.抗OspAおよび抗OspCボレリア酸抗体を誘導する細菌は、犬ライム病に対する高レベルの保護を提供します。

ClinVaccineImmunol.2009Feb;16(2):253-9.Epub2008Dec3.PMID:19052162

LantosPM.慢性ライム病:論争と科学。

ExpertRevAntiInfectTher.2011Jul;9(7):787-97.PMID:21810051

LappinMR、BreitschwerdtE、BrewerM、HawleyJ、HegartyB、RadeckiS.PrevalenceofBartonellaspeciesantibodiesおよびBartonellaspeciesDNAinthebloodofcatswithandwithout発熱.JFelineMedSurg.2009Feb;11(2):141-8.Epub2008Aug29。

LeeG、XiangZ、BrannaganTH3rd、ChinRL、LatovN.慢性炎症性脱髄性多発神経障害(CIDP)皮膚生検における遺伝子発現差。

JNeurolSci.2010Mar15;290(1-2):115-22.Epub2009Nov17.PMID:19922956

LesnicarG、ZerdonerD.ボレリアブルクドルフェリによる側頭下顎関節の関

与.JCraniofacSurg.2007Dec;35(8):397-400.Epub2007Oct17.PMID:17942315

LeverkusM、FinnerAM、PokrywkaA、Frankel、GollnickH.

長年未治療の慢性萎縮性足首皮膚炎の転移性扁平上皮癌。皮膚科。

2008;217(3):215-8.Epub2008Jul8.PMID:18607109

LiangFT,BrownEL,WangT,IozzoRV、

FikrigE.ProtectivenicheforBorreliaburgdorferitoevadehumoralimmunity.AmJPathol.2004S

LinsH,WalleschCW,WunderlichMT.脳損傷脳脊髄液および血清CNS感
染の神経生化学マーカーの逐次分析。
ActaNeurolScand.2005Nov;112(5):303-8.PMID:16218912

リスターニック R.A 君は 17 歳の少年で、以前は慢性ライム病と診断されていま
した。患者は悪性度の発熱、頭痛、咽頭炎を訴え、母親が彼に毒を盛ろうとしてい
るのではないかと疑っていました。
PediatrAnn.2004Aug;33(8):494-8.PMID:15354601

LjøstadU,MyglandA.[成人のライムボレリア症].[ノルウェー語の記
事].TidsskrNorLaegeforen.2008May15;128(10):1175-8.
PMID:18480867

LjøstadU,MyglandA. 急性リメン神経ボレリア症の治療後 1 年後に残る苦情; 頻
度、パターンの危険因子。EurJNeurol. 2010
Jan;17(1):118-23.Epub2009Jul23.
PMID:19645771

LogigianEL.NeurologicmanifestationsofLymedisease.In:RahnQW,EvansJ,eds.Lymedisease.

Logigian EL,KaplanRF,SteereAC、ライメディ病の慢性神経学的
症状。NEnglJMed 1990Nov;323(21):1438-44。

LuB,ペレイラペリン M. 新規免疫沈降戦略は、病原体トリパノソマクルジ
のグリア細胞由来神経栄養因子ファミリー リガンドのユニークな機能的模倣
を識別します。

PMID:18541656

LukashovaLV,KarpovaMR,PirogovaNP,KiiutsinaTA,LepekhinAV,PerevozchikovaTV,Fa t

MacoV,MaguiñaC,TiradoA,MacoV,VidalJE.腐肉病（バルトネラ症桿菌症）ペルー高地森林の組織病理学により確認。RevInstMedTropSaoPaulo.2004May-Jun;46(3):171-4.PMID:15286824

MaggiRG,BreitschwerdtEB.Bartonellavinsoniisubsp.berkhoffii から
のバクテリオファージの単離、および細菌およびファージ DNA からの Pap31 遺伝子
配列の特徴付け。JMolMicrobiolBiotechnol.2005;9(1):44-51。

MaggiRG,BreitschwerdtEB.バルトネラ種の分子検出における 16S-23SrRNA
遺伝子間領域の潜在的な限界。
JClinMicrobiol.2005Mar;43(3):1171-6。

MaloneyE.Chroniclymediseasecounterpoint.MinnMed.2008Aug;91(8):6-7.PMID:1877370

MaloneyEL.Anappraisalof「慢性ライム病」.NEnglJMed.
2008年1月24日;358(4):428-9;著者返信430-1.PMID:18219748

MaloneyEL.Articleshednolight.MinnMed.2010Jan;93(1):6-7.
PMID:20191722

Markeljevi J,SaracH,RadosM.慢性ライメン神経ボレリア症 (LNB) 患者の症
状を示す振戦、発作、精神病。CollAntropol.2011Jan;35Suppl1:313-8.PMID:21648354

MarquesA.慢性ライム病:areview.InfectDisClinNorthAm.2008Jun;22(2):341-60,vii-
viii.PMID:18452806

マルティ・マルティネス、マルティン・エステファニア、トルピン・フェノール、パンプリエガ・ペレス
ア、レウス・バニユルス、ガルシア・バラガン、ビジャルビア・ロルB。

[両側性乳頭浮腫無力症POEMS症候群の初期症状]。

[スペイン語の記事].RevNeurol.2006Nov1-15;43(9):531-4。

PMID:17072808

MayerL,MerzS.Anappraisalof「chronic

Lymedisease」.EnglJMed.2008Jan24;358(4):428;authorreply430-1.PMID:18216368

MayoClinicStaff.LymeDiseaseSymptoms.<http://www.mayoclinic.com/health/lyme-disease/DS00116/DSECTION=symptoms>

McGills,HjelmE,RajsJ,Lindquist O,FrimanG.Bartonellaspp.スウェーデン
の英雄中毒者からの抗体情報サンプル。

AnnNYAcadSci.2003Jun;990:409-13.PMID:12860665

MervinP.Don'tdenyreatment.MinnMed.2009Dec;92(12):6。

PMID:20092159

MichauTM,BreitschwerdtEB,GilgerBC,DavidsonMG.Bartonellavinsonii 亜種
バーコフィアは前部ブドウ膜炎および脈絡膜炎の可能性のある原因である犬.Vet
Ophysical.2003Dec;6(4):299-304。

MichelJM,SellaF.[“Reversible”dementiain2011].[フランス語記
事].OldGeriatrPsycholneuropsychiatrist.2011Jun;9(2):211-25。

PMID:21690030

Miklossy J.アルツハイマー病における慢性炎症とアミロイド生成 - スピロヘータの役
割.JAlzheimersDis.2008May;13(4):381-

91.PMID:18487847

MiklossyJ,KasasS,ZurnAD,McCallS,YuS,McGeerPL。

ボレリアブルグドルフェリアンの典型的な嚢胞性形態とライメンニューロボレリア
症における局所炎症の持続。J神経炎症。2008Sep25;5:40.PMID:18817547

Miklossy J, Khalili K, Gern L, Ericson RL, Darekar P, Bolle L, Hurlimann J, Paster BJ. ボレリアブルクドルフェリは慢性的に脳神経ボレリア症を脳内に持続させ、アルツハイマー病と関連している可能性があります。
JAlzheimersDis. 2004 Dec; 6(6):639-49; Discussion 673-81.
PMID:15665404

Miller JC, von Lackum K, Woodman ME, Stevenson B. 緑色蛍光タンパク質を生成する転写融合を使用した哺乳類感染中のボレリアブルクドルフェリ遺伝子発現の検出。MicrobPathog. 2006 Jul; 41(1):43-7. Epub 2006 May 24.
PMID:16723206

Mitty J, Margolius D. Updates and controversies in the treatment of Lyme disease. MedHealthRI. 2008 Jul; 91(7):219,222-3.
PMID:18705223

Moniuszko A, Czupryna P, Zajkowska J, Pancewicz SA, Grygorczuk S, Kondrusik M. [ライム症候群後の臨床問題]。
[ポーランド語の記事]. PolMerkurLekarski. 2009 Mar; 26(153):227-30.
PMID:19388538

Morales SC, Breitschwerdt EB, Washabau RJ, Matisel, Maggi RG, Duncan AW. 化膿肉芽腫性リンパ節炎を伴う二匹の犬のバルトネラヘンセラ DNA の検出。
JAmVetMedAssoc. 2007 Mar 1; 230(5):681-5.

モスバッター M, エリオット SP, シェハブ Z, ピンナス JL, クロッツ JH, クロッツ SA.
猫ひっかき病と関節足ベクトル: more to it than a scratch?
JAmBoardFamMed. 2010 Sep-Oct; 23(5):685-6. PMID:20823366

Mulleger RR, Millner MM, Stanek, Spork KD. 小児神経ボレリア症の治療におけるペニシリンガンおよびセフトリアキソン - 前向き研究。感染 1991 年 7 月-8 月; 19(4):279-83.

Mygland A, Skarpaas T, Ljøstad U. 慢性多発性神経障害とライム病。EurJNeurol. 2006 Nov; 13(11):1213-5. PMID:17038034

NadelmanRB,ArlenZ,WormserGP.「血清陰性」ライメディ病に対するエンピリセフトリアキソンの生命を脅かす合併症。SouthMedJ1991Oct;84(10):1263-5。

NafeevAAKlimovaLV.[ヴォルガ地方における神経ボルレリア症の臨床症状].[ロシア語の記事].TerArkh.2010;82(11):68-70。
PMID:21381354

ナラヤン K、デイル D、リル、カダビッド、アムルート、フィッツジェラルド ボカースリー P、パハナー AR.The nervoussystemasectopicgerminalcenter:CXCL13 および IgGinlymeneurborreliosis. AnnNeurol.2005Jun;57(6):813-23。
PMID:15929033

NauR,Christian HJ,Eiffert H. ライム病 - 知識の現状。
DtschArzteblInt.2009Jan;106(5):72-81,82quiz,I.Epub2009Jan30.PMID:19562015

NigrovicLE、

ThompsonKM.TheLymevaccine:acautonarytale.EpidemiolInfect.2007Jan;135(1):1-8.Epub2007Jan10.PMID:16893489

[著者の記載はありません][多発性硬化症と慢性穿孔脳脊髄炎の差異].[ロシア語の記事].NevrolZhImSSKorsakovaPsikhiatr.2011;111(7):8-12.PMID:21947065

NoctonJJ,BloomBJ,RutledgeBJ,LogigianEL,SchmidCH,SteereAC.脳脊髄液インライメン神経ボレリア症におけるポリメラーゼ連鎖反応によるボレリアブルグドルフェリDNAの検出。JInfectDis1996Sep;174(3):623-7。

NygårdK,BrantsaeterAB,MehlR.ノルウェーにおける播種性および慢性ライムボレリア症、1995-2004.EuroSurveill.2005Oct;10(10):235-8.PMID:16282646

OgrincK,LogarM,Lotric-Furlans,Cerard,Ruzi -Sablji E,StrleF.慢性ライムボレリア症患者の治療のためのドキシサイクリン対セフトリアキソン。WienKlinWochenschr.2006Nov;118(21-22):696-701.PMID:17160610

OksiJ,NikoskelainenJ,HiekkänenH,LauhioA,PeltomaaM,
PitkärantaA,NymanD,GranlundH,CarlssonSA,SeppäläI,ValtonenV,
ViljanenM.播種性ライムボレリア症の抗生物質治療の期間 :二重盲検、ラン
ダム化、プラセボ対照、多施設臨床研究。EurJ
ClinMicrobiolInfectDis.2007Aug;26(8):571-81 .PMID:17587070

OstendorfGM. [ボレリア症後症候群を想定した無職障害。2010年5月19
日のOLGSaarbrückenの決定について]。
[ドイツ語の記事]。Versicherungsmedizin.2011Jun1;63(2):106-7。
PMID:21698949

OstfeldRS.LymeDisease:TheEcologyofaComplexSystem.NewYork:OxfordUniversityPre

PachnerAR.Lymeneurborreliosis.In:JohnsonRT,GriffinJW,編。
電流療法神経疾患。セントルイス:モスビー、1997;pp140-
6.

Pachner AR, Delaney E.ライメン神経ボレリア症の診断におけるポリメ
ラーゼ連鎖反応。AnnNeurol 1993 Oct;34(4):544-
50.

Pachner AR,Duray P,SteereAC、ライム病の中樞神経系の症状。
ArchNeurol.1989 Jul;46(7):790-5。

Pachner AR, SteereAC. ライム病の神経症状の三徴候: 髄膜炎、脳神経炎、根
神経炎。
神経学.1985Jan;35(1):47-53.

パンセウィッチS、ポプコJ、ルトコフスキーR、クナシム、グリゴルチュクS、
グシュチンT、ブルチュコム、ザジダス、ザコウスカJ、コンドルシクM、シェラコ
ウスキーS、ツヴィエルツK.活性ハエソソマレクソグリコシダーゼ血漿滑液性
慢性リメアンドルウマ患者関節炎。ScandJInfectDis.2009;41(8):584-9。

PMID:19513935

PapoT.[特定の症状はボレリア感染に関連している可能性がありますか?].
[フランス語の記事].MedMalInfect.2007Jul-8月;37(7-8):507-10.
Epub2007Mar13.PMID:17360137

ParishJM.一般的な病状における睡眠関連の問題。
Chest.2009Feb;135(2):563-72.PMID:19201722

ParkerM,TurhanV,AslanM,MusellimB,HotTopicY,ErtugrulB.[トルコでヒト
ライムカゼシンが確認された3つの培養物の最初の報告].[トルコ語の記
事].FindAntimicrob.2010Jan;44(1):133-9.
PMID:20455410

PersecăT,FederA,MolnarGB.[急性および慢性ボレリア症と一致する臨床症
候群の胎児診断結果]。
[ルーマニア語の記事].RevMedChirSocMedNatIasi.2008Apr-
Jun;112(2):496-501.PMID:19295026

PfisterHW.[神経ボレリア症の臨床側面].[ドイツ語記
事].MMWFortschrMed.2010Jul1;152(25-27):31-4;quiz35。
PMID:20672660

PfisterHW,RupprechtTA.成人患者における神経ボレリア症およびライム病後症
候群の臨床的側面。IntJMedMicrobiol。
2006年5月;296Suppl40:11-6.Epub2006Mar9.PMID:16524775

PhillipsSE,ブラスカノ JJ,ハリス NS,ジョンソン L,スミス PV,ストリックカー RB。「ラ
イメボレリア症後症候群」の慢性感染。
IntJEpidemiol.2005Dec;34(6):1439-40;authorreply1440-3.Epub2005Nov30.PMID:16319107

PourelJ.[関節と筋肉の症状の場合のライムボレリア症の臨床診断].[フランス語の
記事].MedMalInfect.2007Jul-Aug;37(7-8):523-31.Epub2007Mar26.PMID:17368783

Przytu aL,Gińdzieńska-Sie kiewiczE,SierakowskiS.[リンパ節炎の診断と
治療].[ポーランド語の記事].PrzeglEpidemiol。
2006;60Suppl1:125-30.PMID:16909789

Pu  chalX.[ライムボレリア症の非抗生物質治療].[フランス語記事].MedMalInfect.2007Jul-Aug;37(7-8):473-8.Epub2007Mar21.PMID:17376627

PuiusYA,KalishRA.Lymearthritis:病因、臨床症状、および管理.InfectDisClinNorthAm.2008Jun;22(2):289-300,vi-vii.PMID:18452802

ReikLJr.LymeDiseaseandtheNervousSystem.ニューヨーク:ThiemeMedicalPublishers.1991,pp57-61。

ReikLJr.北米ライム病の神経学的側面。ライム病編、Patricia K.Coyle、医学博士 セントルイス: Mosby- YearBook Inc.1993,pp.101-112。

RenaudI,CachinC,GersterJC.スイスの流行地域の 24 人の患者におけるライムアース炎の良好な結果。関節骨脊椎。2004 年 1 月;71(1):39-43.PMID:14769519

ReshetovaGG,Zaripova TN,Titskaia EV,MoskvinVS,Udintsev SN. [関節の一次病変を伴うイクソデスティック媒介ボレリア症患者のリハビリテーション治療における身体的要因]。[ロシア語の記事]。VoprKurortolFizioterLechFizKult.2004Nov-Dec;(6):10-3.PMID:15717529

RocheLanquetotMO,AderF,DurandMC,CarlierR,DefferriereH,DinhA,HerrmannJL,GuillemotD,PerroneC,SalomonJ.[ダニ咬傷後の慢性神経障害および認知障害を持つ患者30人の前向き標準化研究の結果]。[フランス語の記事]。MedMalInfect.2008Oct;38(10):543-8.PMID:18722064

RolainJM,BrouquiP,KoehlerJE,MaguinaC,DolanMJ,RaoultD.バルトネラ種によって引き起こされる人体感染症の治療に関する推奨事項。抗微生物薬化学療法誌。2004Jun;48(6):1921-33.PMID:15155180

RoratM,KucharE,SzenbornL,Ma yszczakK.[成長するボレリア症不安とその理由].[ポーランド語の記事].精神医学ポール 201011月-12月;44(6):895-904.PMID:21449171

RossiM.[ライムボレリア症の後期症状].[ドイツ語の記事].TherUmsch.2005Nov;62(11):745-9.PMID:16350537

RothJ,Scheerl,KraftS,KeitzerR,

RiebelT.Uncommonsynovialcystsinchildren.EurJPediatr.2006Mar;165(3):178-81.Epub2005Dec3

ルデンコン、ゴロフチェンコム、ルゼクD、ピスクノバ、マラトバ N、グラブオファー L. ボレリア症が疑われるチェコ共和国の患者から採取した血清サンプル中のボレリア ビセッティ DNA の分子検出。FEMS Microbiol Lett. March 2009, 292(2):274-81.Epub2009 Jan 28.PMID:19187198

SamuelsDS,RadolfJD.編。ボレリア :分子生物学、宿主相互作用と病因。ノーフォーク、イギリス :CaisterAcademicPress.2010。

SavelyVR.Updateonlymedisease:thehiddenepidemic.BrewsJNurs.2008Jul-8月;31(4):236-40.PMID:18641487

SavelyV.Lymedisease:adiagnosticdilemma.NursePract.2010Jul;35(7):44-50.PMID:20555245

Schaller J.バルトネラの診断、治療、予防:非定型バルトネラ治療の失敗と 40 仮説の身体検査結果 - フルカラー版、ボリューム I-II、フロリダ州タンパ:HopeAcademicPress.2008。

Schaller

J.Babesia.inEncyclopediaofPlagues,PestilenceandPandemics.J.Bryre.Ed.J.Bryre.Westport,CT:

Schaller J.Bartonella.in EncyclopediaofPlagues,PestilenceandPandemics.J.Bryre編、ウェストポート、コネチカット州:GreenwoodPress;2008

Schaller J. Lyme Disease. in Encyclopedia of Plagues, Pestilence and Pandemics. J. Bryre. 編、コネチカット州ウェストポート: Greenwood Press; 2008

Schaller J. Babesia 2009 Supplement and Update. フロリダ州タンパ: Hope Academic Press. 2009。

Schaller J. アルテミシン、アルテスネート、アルテシニック酸およびその他のヨモギ誘導体はマラリア、バベシアおよび癌に使用されます。フロリダ州タンパ: Hope Academic Press. 2006。

Schaller J. L. The Health Care Professional's Guide to the Treatment and Diagnosis of Human Babesiosis

Schaller J. L., Burkland G. A. Case report: rapid and complete control of idiopathic hypereosinophilia with imatinib mesylate. Med Gen Med. 2001; 3(5):9。

Schaller J. L., Burkland G. A., Langhoff P. J. Babesia species is a cause of eosinophilia: is it? A case of idiopathic hypereosinophilia with a review of the literature. Med Gen Med. 2007 Feb 27; 9(1):38。

Schaller J. L., Burkland G. A., Langhoff P. J. Do bartonella infections cause fatigue, panic disorder, and treatment-resistant depression? Med Gen Med. 2007 Sep 13; 9(3):54。

Scheffer R. E., Linden S. Small double-blind study of the efficacy of imatinib in the treatment of idiopathic hypereosinophilia. Curr Opin Psychiatry. 2007 Jul; 20(4):398-401. PMID: 17551356

Schnarr S., Franz J. K., Krause A., Zeidler H. Infection and bone marrow status: Lyme borreliosis. Best Pract Res Clin Rheumatol. 2006 Dec; 20(6):1099-118. PMID: 17127199

SchutzerSE,AngelTE,LiuT,SchepmoesAA,TRClauss,JNAdkins,DGCamp,HollandBK,BergquistJ,CoylePK,SmithRD,FallonBA,NatelsonBH。独特の脳脊髄液プロテオームが治療後の慢性疲労症候群と慢性疲労症候群を区別します。

2011年2月23日;6(2):e17287.PMID:21383843

シュバイクホファーCD、フェトケンホイアーG、シュタイプP、ハレクM、ライザーM。
慢性リンパ球性白血病アミロイド白血病性白血病患者のライメ病。
Onkologie.2007Nov;30(11):564-6.Epub2007Oct16.PMID:17992027

ScienceDaily (2009 年 1 月 6 日)。人間に感染する新しいバルトネラ種が発見されました。<http://www.sciencedaily.com/> で入手可能です。
リリース/2009/01/090106145006.htm

ShapiroED.ダニ媒介疾患.AdvPediatrInfectDis.1997;13:187-218.レビュー。

ShapiroED.ライム病患者の長期成績。
VectorBorneZoonoticDis.2002Winter;2(4):279-81。

ShapiroED,GerberMA.ライメディ病と顔面神経麻痺。
ArchPediatrAdolescMed.1997Dec;151(12):1183-4。

SherrVT. ヒトバベシア症 - 記録されていない現実。正式な登録の欠如により、検出、診断、治療が損なわれ、即時強制報告の必要性が示唆されています。医学仮説。

2004;63(4):609-15.PMID:15325004

SherrVT.代理ミュンヒハウゼン症候群とライメ病:医学女性性女性診断の謎?医学仮説。
2005;65(3):440-7.PMID:15925450

SiegelDM.慢性関節炎思春期.AdolescMedStateArtRev.2007May;18(1):47-61,viii.PMID:18605390

SigalLH. Summary of the first 100patients seenata Lyme disease Referral center.AmJMed1990Jun;88(6):577-83.PMID:2346158

Sigal LH. ライム病の治療に関する現在の推奨事項。
薬物1992May;43(5):683-99.PMID:1379147

Sigal LH. ライム病の長期的影響。In:RahnQW,EvansJ,eds.Lymedisease.Philadelphia:ACP、
1998;pp137-53。

Sigal LH,HassettAL.解説:「What'ssinaname?
Thatthatwecallarosebyanyothernamewouldsmellassweet.」

ShakespeareW.RomeoandJuliet,II,ii(47-48).IntJEpidemiol.2005Dec;34(6):1345-7.Epub2005Sep

SimakovaAI,PopovAF,DadalovaOB.[マダニ媒介ボレリア症ウィズエリテマノドサム].
[ロシア語の記事].MedParazitol(Mosk).
2005年10月~12月;(4):31-2.PMID:16445235

SjöwallJ,CarlssonA,VaaralaO,BergstromS,ErnerudH,ForsbergP,EkerfeltC. ラ
イムボレリア症における自然免疫反応: 腫瘍壊死因子アルファおよびインターロイキン 12
の増強による症状のある個人の感染スピロヘータに対する反応。
ClinExpImmunol.2005Jul;141(1):89-98.PMID:15958074

SkotarczakB.Canineehrlichiosis.AnnAgricEnvironMed.
2003;10(2):137-41.PMID:14677903

SmithHM,ReporterR,RoodMP,LinscottAJ,MascolaLM,Hogrefew,Purcell RH.ロサ
ンゼルスダウンタウンにある無料クリニックを使用している患者の間での抗体、動物
由来の病原体および治療薬の有病率調査。
JInfectDis.2002Dec1;186(11):1673-6.PMID:12447746

SmithIS,RechlinDP.ベルパルシオンおよび髄膜炎を呈する神経ボレリア症
の遅延診断。JAmOsteopathAssoc.2010Aug;110(8):441-4.PMID:20805550

ソーベク V、ビルクナー N、フォーク I、ヴェルヒ A、キルシュニング CJ、ワーグナー H、
ラマーズ・ウォリッチR

MC,SimonMM.DirectToll-like ceptor 2mediated co-stimulation of Tcells in the Mouse system asabasis for慢性炎症性関節疾患.ArthritisResTher.2004;6(5):R433-46.Epub2004Jul19.PMID:15380043

SoodSKed.ヨーロッパと北アメリカのライムボレリア症:疫学と臨床実践.ホーボークンニュージャージー:ワイリーアンドサンズ社、2011年。

スピールマンP、デヨンGBM、ウルフスTF、ヴィッテンベルクJ;クワライト研究所のヴォルデ

Gezondheidszorg(CBO).[ガイドライン「ライムボレリア症」].[オランダ語の記事].NedTijdschrGeneesk.2004Apr3;148(14):659-63.
PMID:15106316

SréterT、SréternéLanczZ、SzéllZ、EgyedL. [リケッチアヘルペチカ :ハンガリーとヨーロッパにおけるダニ媒介性病原体の異種融合]。
[ハンガリー語の記事].OrvHetil.2005Dec11;146(50):2547-52。
PMID:16440500

SteereAC.ライメディ病の筋骨格症
状.AmJMed.1995Apr24;98(4A):44S-48S;Discussion48S-51S.Review。

SteereAC、BartenhagenNH、CraftJE、HutchinsonGJ、NewmanJH、RahnDW、SigalLH、SpielerPN、ステンクス、マラウイスタSE。ライメディ病の初期臨床症状。
AnnInternMed.1983Jul;99(1):76-82。

SteereAC、ベラルディVP、ウィークスKE、ロジジアンEL、アッカーマンR。
ライメンニューロボレリア症の診断テストであるボレリアブルグドルフェリアに対するくも膜下腔内抗体反応の評価。JInfectDis. 1990 Jun;161(6):1203-9。

SteereAC、GibofskyA、PatarroyoME、WinchesterRJ、HardinJA、マラウイスタSE。慢性リンパ性関節炎。関節リウマチとの臨床および免疫遺伝学的分化。
AnnInternMed.1979Jun;90(6):896-901。

SteereAC、マラウイスタSE、バーテンハーゲンNH、シュピーラーPN、ニューマンJH、ラーンDW、ハッチンソンGJ、グリーンJ、スナイドマンDR、テイラーE.ライム病の臨床スペクトルと治療。イェールJBiolMed。

1984年7月~8月;57(4):453-61。

SteereAC、SikandVK.ライム病の症状と治療結果の提示。
NEnglJMed.2003Jun12;348(24):2472-4。

StermanAB、NelsonS、Barclay P.ライム病に伴う脱髄性神経障害。神経学 1982Nov;32(11):1302-5。

StorchA、VladimirtsevVA、TumaniH、WellinghausenN、HaasA、KrivoshapkinVG、LudolphAC.シベリア北東部のビリウイケン脳脊髄炎はボレリアブルクドルフェリ感染によって引き起こされません。
NeuroSci.2008Feb;29(1):11-4.Epub2008Apr1.PMID:18379734

StrickerRB.Counterpoint:長期抗生物質療法は、ライム病に関連する持続的な症状を改善します。
2007Jul15;45(2):149-57.Epub2007Jun5.PMID:17578772

StrickerRB、ジョンソン L.ライムディ
病:turningpoint.ExpertRevAntiInfectTher.2007Oct;5(5):759-62.PMID:17914908

ストリッカー RB、ジョンソン L.慢性ライム病と「悪の枢軸」。
FutureMicrobiol.2008Dec;3(6):621-4.PMID:19072179

StrickerRB、Johnson

L.Genderbiasinchroniclymedisease.JWomensHealth(Larchmt).2009Oct;18(10):1717-8;a

StrickerRB、Johnson L.Lyme 疾患の診断と治療:AIDS 流行からの教訓。
MinervaMed.2010Dec;101(6):419-25。
PMID:21196901

StrickerRB、Johnson

L.Lymedisease:thenextdecade.InfectDrugResist.2011;4:1-9.Epub2011Jan7.PMID:216949

StrickerRB、LautinA、BurrascanoJJ.ライメディ病:point/
counterpoint.ExpertRevAntiInfectTher.2005Apr;3(2):155-65。
PMID:15918774

StrickerRB、SavelyVR、MotanyaNC、

GiclasPC.Complementsplitproductsc3aandc4ainchroniclymedisease.ScandJImmunol.2009

SummersBA、Straubinger AF、Jacobson RH、ChangYF、AppelMJ、
Straubinger RK.犬の実験的医学的病理学的研究。
JCompPathol.2005Jul;133(1):1-13。
PMID:15904927

TauberSC、RibesS、EbertS、HeinzT、FingerleV、BunkowskiS、
KugelstadtD、SpreerA、JahnO、EiffertH、NauR.ボレリアブルグドルフェリ
カからの外表面タンパク質の長期髄腔内注入はサクソン損傷を引き起こ
す。JNeuropatholExpNeurol.2011Sep;70(9):748- 57.PMID:21865883

TaylorRS、
SimpsonIN.Reviewoftreatmentoptionsforlymeborreliosis.JChemother.2005Sep;17Suppl2:3

TelfordSRIII、
WormserGP.Bartonellaspp.transmissionbyticksnotstated.EmergInfectDis.2010Mar;16(3):3

ToryHO、ZurakowskiD、SundelRP.アウトカムオブチャイルド治療のライムアース
炎:結果は大規模小児科コホー
ト.JRheumatol.2010May;37(5):1049-55.Epub2010Apr1.PMID:20360182

TreibJ、WoessnerR、DoblerG、FernandezA、HozlerG、SchimrigkK。
抗体の特異的髄腔内産生の臨床的価値。アクタピロール 1997 年 2
月;41(1):27-30。

TuuminenT、Hedman K、Söderlund-VenermoM、SeppäläI. 急性パルボウイ
ルス B19 感染は、ボレリアでは非特異性を頻繁に引き起こし、サルモネラ菌やカン
ピロバクター血清学では頻度が低く、感染性関節症の診断に問題を引き起こしま
す。
2011年1月;18(1):167-72.Epub2010Nov24.PMID:21106777

ヴェルギンSO、プロタスII、ポノマレフVV、ドラキナSA、シチエルバVV。
[病気の後期段階の神経ボレリア症の臨床多型]。[ロシア語の記事]。ZhNevrolPsikhiatrImSSKorsakova。
2006;106(3):48-51.PMID:16608111

VojdaniA.複雑な自己免疫疾患および癌の予測因子としての抗体。IntJImmunopatholPharmacol.2008Jul-Sep;21(3):553-66.ErratumInIntJImmunopatholPharmacol.2008Oct-Dec;21(4):following1051.PMID:18831922

VolkmanDJ.「慢性ライム病」の分析。NEnglJMed。
2008年1月24日;358(4):429;著者返信430-1.PMID:18219750

WagnerV,ZimaE,GellerL,MerkelyB.[急性心室ブロック慢性ライム病]。[ハンガリー語の記事]。OrvHetil.2010Sep26;151(39):1585-90.PMID:20840915

WahlbergP,NymanD.[慢性ライムボレリア症-要因フィクション?].[フィンランド語の記事]。Duodecim.2009;125(12):1269-76.
PMID:19711595

WebMD.ライム病の症状。[http://arthritis.webmd.com/tc/
ライム病の症状](http://arthritis.webmd.com/tc/ライム病の症状)

WeintraubP.CureUnknown:InsidetheLymeEpidemic.NewYork:SaintMartin'sGriffin、
2009。

WeissenbacherS,Ring J,Hofmann H. 末期型骨髄症患者の慢性神経障害性疼痛の
対症療法のためのガバペンチン: apilotstudy. Dermatology.
2005;211(2):123-7。
PMID:16088158

WeissmannG.「慢性ライム」とその他の医学的に説明できない症候
群。FASEBJ.2007Feb;21(2):299-301.PMID:17267382

WidheM、JareforsS、EkerfeltC、VrethemM、BergstromS、ForsbergP、Ernerudh J. ヒトにおけるライムボレリア症中の脳脊髄液および血液からのボレリア特異的インターフェロン ガンマおよびインターロイキン 4 分泌: 臨床結果との関連。JInfectDis. 2004 May 15;189(10):1 881-91.Epub2004Apr26.PMID:15122525

WielgatP、PancewiczS、Hermanowska-SzpakowiczT、KondrusikM、ZajkowskaJ、GrygorczukS、PopkoJ、ZwierzK.[慢性ボレリア性関節炎患者の血清中のフリソソマレキソグリコンダーゼ活性].[ポーランド語の記事].PrzeglEpidemiol.2004;58(3):451-8。PMID:15730009

WormserGP. 神経ボレリア症に対する抗菌療法とワクチン接種を中心としたライム病の治療と予防. SeminNeurol. 1997Mar;17(1):45-52.Review.

WormserGP、SchwartzI.Borreliaburgdorferi に感染した動物の抗生物質治療.ClinMicrobiolRev.2009Jul;22(3):387-95。PMID:19597005

WormserGP、ShapiroED.ジェンダー慢性ライム病の影響.JWomensHealth(Larchmt).2009Jun;18(6):831-4。PMID:19514824

ZajkowskaJ、CzuprynaP、PancewiczSA、KondrusikM、

MoniuszkoA.Acrodermatitischronicaatrophicans.LancetInfectDis.2011Oct;11(10):800.PMID

ZajkowskaJM、KondrusikM、PancewiczSA、GrygorczukS、Jamio kowskiJ、StalewskaJ.[ライムボレリア症の入院患者における抗原 VlsE(C6) と組換え抗原の検査の比較].[ポーランド語の記事].PolMerkurLekarski.2007Aug;23(134):95 -9.PMID:18044336

ZajkowskaJM,SwierzbińskaR,PancewiczSA,KondrusikM,
Hermanowska-SzpakowiczT.[ボレリアブルグドルフェリの3つの遺伝子
型で培養された慢性リンパ球によって放出される可溶性CD4、CD8、CD25受
容体の濃度はIFN-ガンマおよびIL-4と同等],[ポーランド語の記事].Pol
MerkurLekarski.2004May;16(95):447-50.PMID:15518424

ZalaudekI,LeinweberB,KerlH,MülleggerRR.慢性皮膚萎縮性皮膚炎、15 歳
の少女が 6 年間静脈不全と誤診。
173.JAmAcadDermatol.2005Jun;52(6):1091-4.PMID:15928636

ZeaiterZ,LiangZ,RaoultD.部分的な Z 遺伝子配列の比較に基づく
バルトネラ種の遺伝的分類と分化。JClinMicrobiol.2002Oct;40(10):3641-7。
PMID:12354859

Zu-RheinGM,LoSC,HuletteCM,Powers JM.内皮細胞型ピアおよび多巣性白
質病変を伴う脳微小血管症:直接マイコプラズマ感染?
JNeuropatholExpNeurol.2007Dec;66(12):1100-17.PMID:18090919

シャラー博士の著書は次のとおりです。

アメリカ医師会雑誌

臨床神経科学ジャーナル

Medscape (WebMD 学術雑誌)

米国児童青少年精神医学会ジャーナル

アメリカ精神医学ジャーナル

欧州児童青少年精神医学ジャーナル

調合医薬品: Triad

フレミング・レベル・プレス (4か国語)

内科ニュース

家族実践ニュース

スパイアのマスマーケット書籍

インターネット家庭医学ジャーナル

グリーンウッド プレス

児童および青少年の精神医学における薬物に関する警告

ホープ・アカデミック・プレス

臨床精神医学ニュース

精神科薬物に関する警告

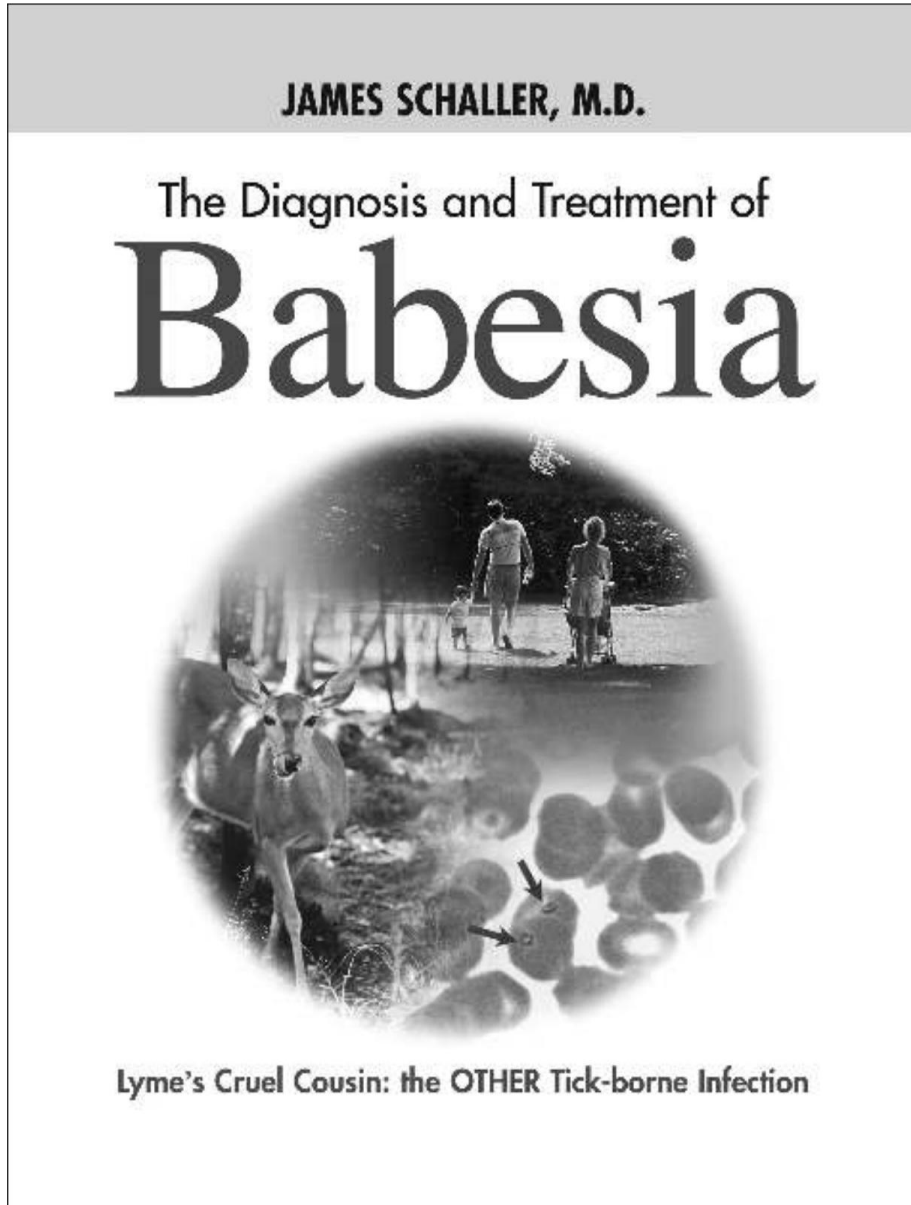
タウンゼント・ジャーナル

産婦人科ニュース

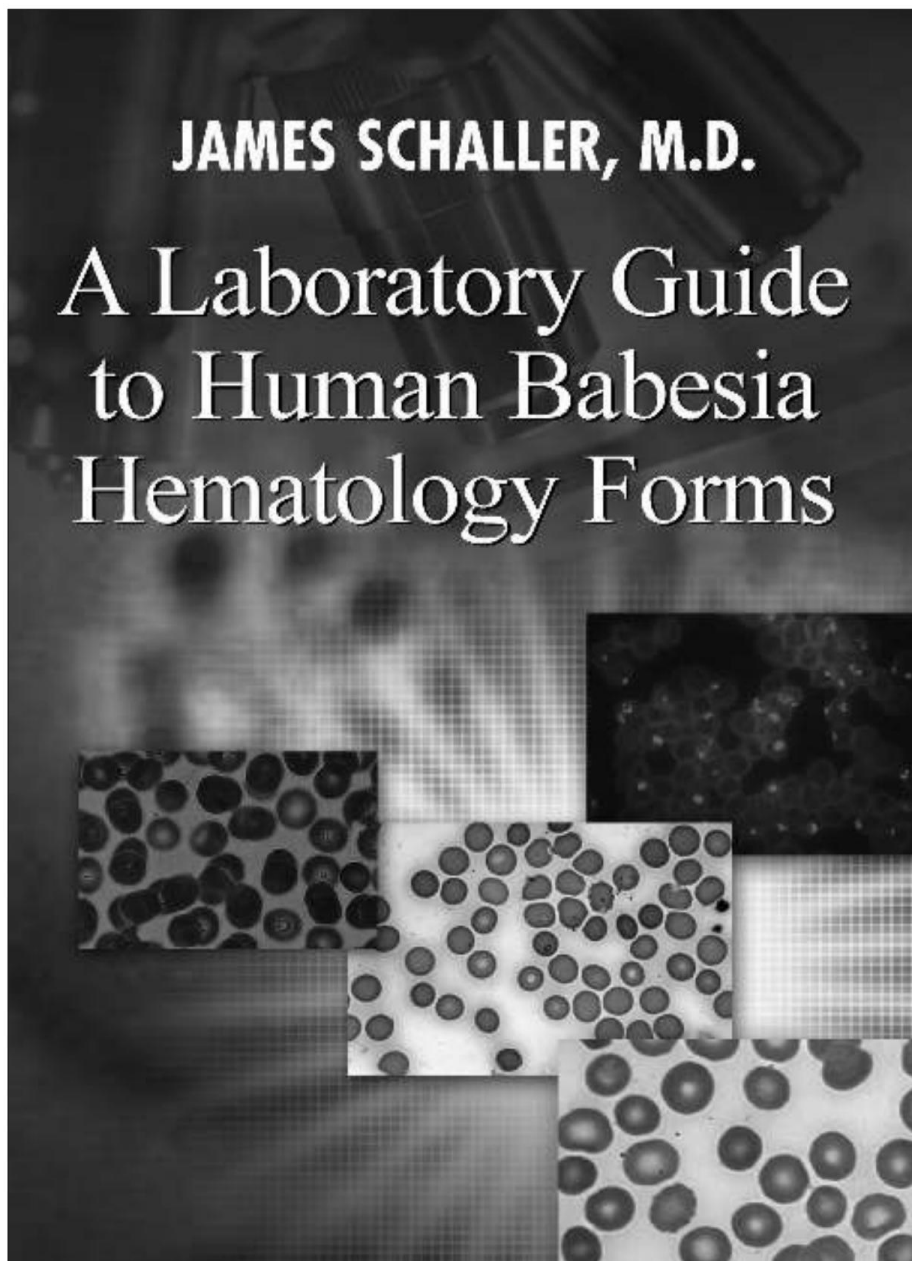
AMAニュース

海流

シャラー博士の他の書籍のサンプル



この大きな教科書は明瞭で読みやすいです。実際には3冊あります。2006年以来部分的に古い点もありますが、多くの点で新しい読者とみなされるでしょう。



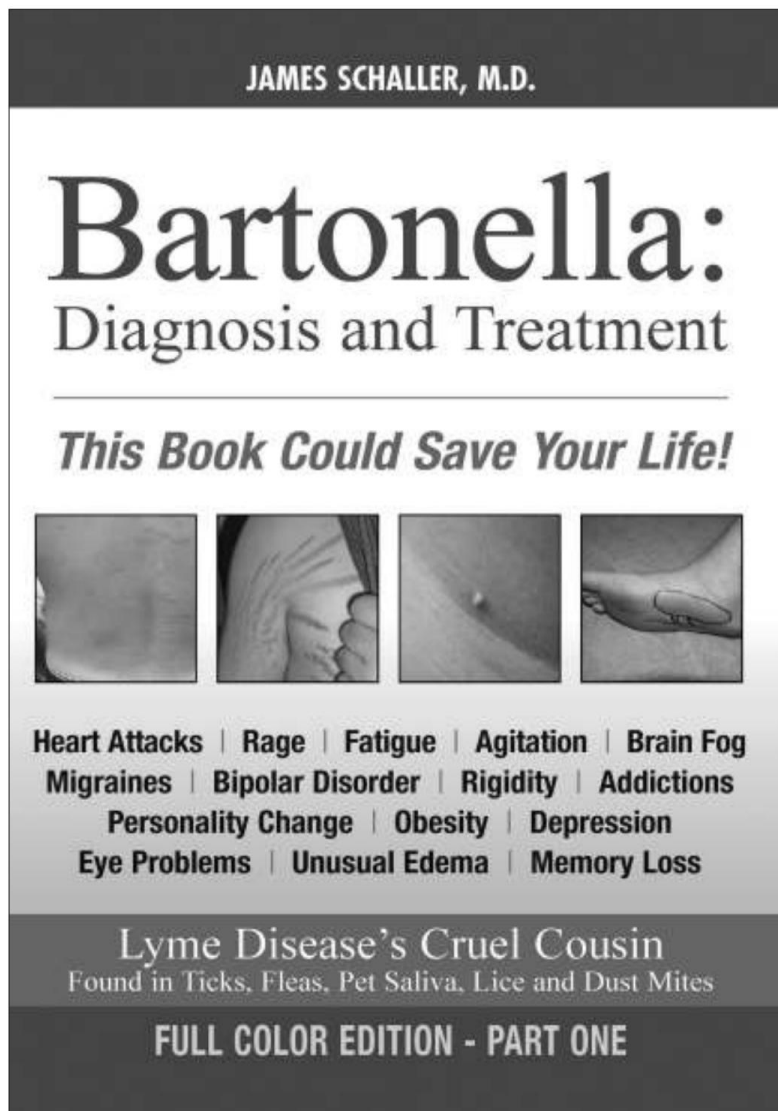
バベシア専用の唯一の血液学本。

**Artemisinin, Artesunate,
Artemisinic Acid and Other
Derivatives of Artemisia
Used for Malaria, Babesia
and Cancer**

**A Health Care Practitioner's Guide to Dosage,
Side Effects, Effectiveness, Toxicity and Interactions.
A Review of the Research on the Most Common
Clinical Artemisia Medications.**

JAMES SCHALLER, M.D.

実用的なヨモギバベシアの問題に関する最新の学術および患者中心の本。



バルトネラの診断は非常に複雑です。この現在のテキストは、バルトネラによって作成された血管および皮膚増強化学物質の確かな研究に基づいて、新しいツールのセットを創造的に使用しました。文字通り、完全なバルトネラの身体検査を作成します。この本は、基本的な臨床検査を制限するのに役立ち、伝統医学と統合医学の両方で促進される定期的な再発または不良治療の使用を防ぎます。このトピックに基づいた他の本はありません1,000件以上の研究記事があり、5年間でこの作品に取って代わるようなものを発表した人は誰もいませんでした。

When Traditional Medicine Fails...

YOUR GUIDE TO MOLD TOXINS

Gary Rosen, Ph.D. & James Schaller, M.D.

- WHAT THEY ARE
- WHO THEY HURT
- AND WHAT YOU CAN
DO TO RECLAIM YOUR CHILD'S HEALTH,
LEARNING AND BEHAVIOR



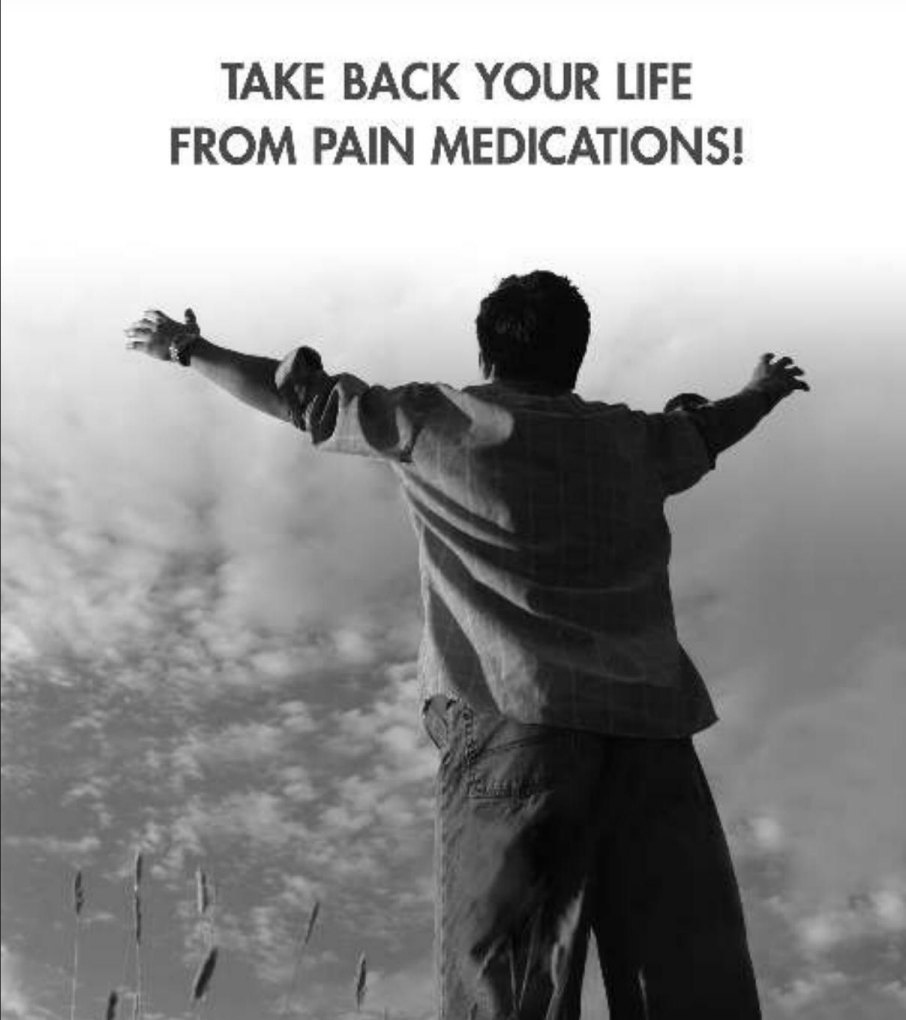
**Includes Home
Detox Program**

Dr. Schaller is a certified mold investigator and certified mold remediation specialist. This is a separate, practical, and easy-to-read mold toxin book.

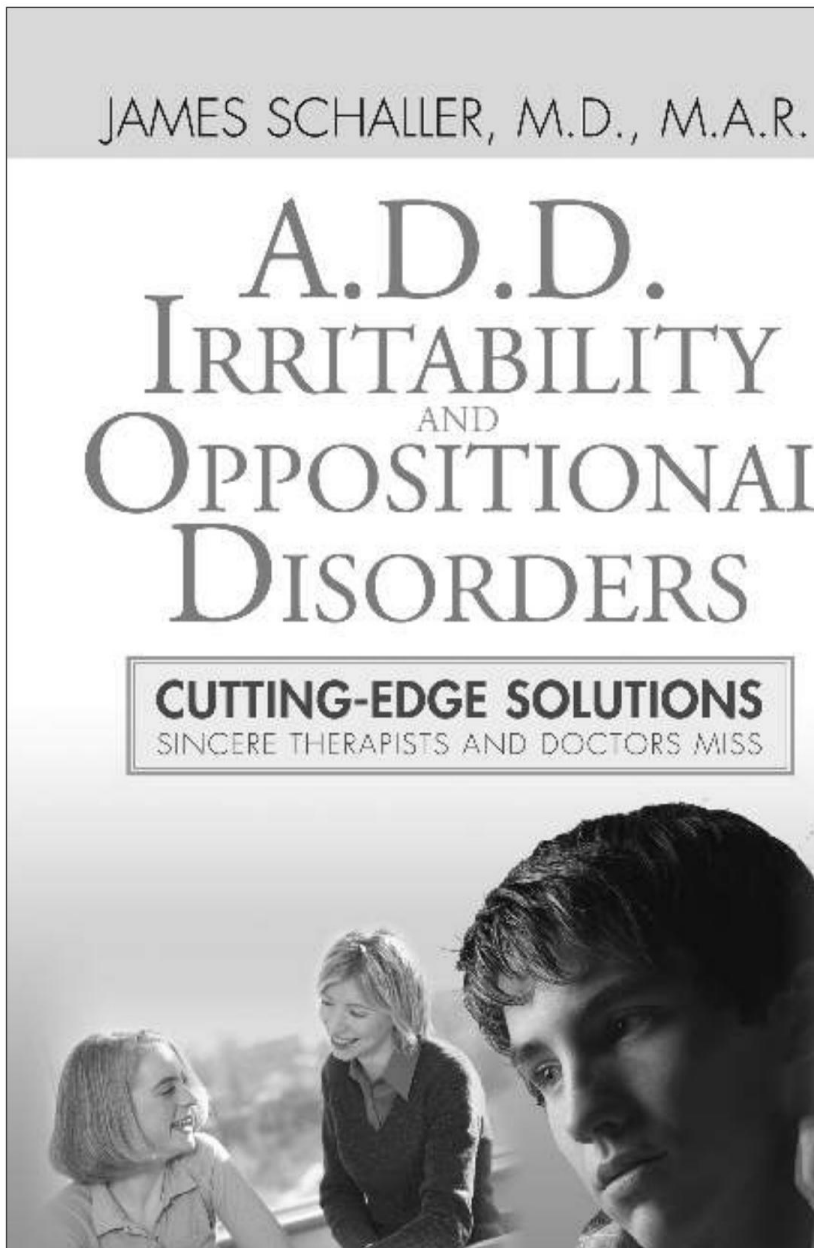
JAMES SCHALLER, M.D.

SUBOXONE

**TAKE BACK YOUR LIFE
FROM PAIN MEDICATIONS!**



オピオイド依存症と軽度の痛みに対する革
新的な治療法に関する唯一の最新かつ実践的で高
度な臨床本。



このユニークなテキストは医学を進歩させ、若者の精神医学をショーに示し、無視されている医学的ルーツを持っており、固体の子供や思春期の精神科診療でも知られています。

免責事項

シャレリス博士は感染症医学の専門家ではありません。ハイスは病理学者でもあります。これらの専門分野は両方とも、治療と研究が必要な病気が 2,000 以上あります。シャレリス博士は感染症の情報にのみ興味があり、読んで出版しているのはこの 4 つだけです。医学的アイデア、健康思想、健康に関するコメント、製品、および特定の病気、病気、健康上の問題の原因に関する主張はすべて掲載されています。この本は純粋に推測的であり、仮説であり、いかなる設定においても権威があるものではありません。コメントや画像は FDA、CDC、NIH、IDSA または AMA によって評価されていません。米国の医療機関、社会、または米国医師の大多数がこの本のコメントを支持しているとは決して想定しません。この本のコメントは政府機関、医療機関、医学会によって承認されていません。この本を診断に使用することを始めて、本書で提供される情報は、教育のみを目的としています。医師やその他の医療専門家による代替品としての使用を目的としたものではありません。本書は、おリン、製品ラベル、パッケージに含まれる情報の代替または調整を目的としたものではありません。

いかなる患者も本書の情報を、あらゆる健康問題の診断や治療、または薬の処方やその他の治療に使用すべきではありません。診断を決定したり、あらゆる種類の治療を開始したりする前に、医療専門家に相談してください。シャラー博士は、あらゆる病気、疾患、治療に精通しているとは主張しません。この本では、単に彼の興味の 1 つを共有しているだけです。

認可された医療提供者との明確な相談なしに、いかなるダイエット、運動、サプリメントプログラム、またはいかなる種類の栄養素、ハーブ、薬の摂取も開始しないでください。

バベシアまたはバルトネラの診断または治療に関するコメントおよび治療結果の陽性または陰性の可能性に関する報告は仮説です。

この本での予備調査と研究に基づいて、治療を拒否したり、誰かを抱きしめたりするべきではありません。

この本では、シャラー博士は、いかなる診断、検査、治療についても権威のある主張や証明された主張を行っていません。シャラー博士は仮説的なアイデアを提供しているだけです。シャラー博士は、薬、栄養素、ハーブやさまざまな種類の代替医療について権威のある主張をしていません。

この本のアイデアは、あなたの地元の専門家である対症療法、オステオパシー、または進歩医学、またはその他の認可を受けた医療従事者に提出する必要があります。この本は、80万人の医師、または彼らが担当する3億人の患者を管理することを想定した非公式または正式なガイドラインブックであることを意図したものではありません。あなたは医療従事者の知恵、そしてあなた自身の研究を教えてください。繰り返しになりますが、シャラー博士は医学のあらゆる分野の専門家であると主張しています。彼は他の医師よりも知識があると主張しています。

さらに、シャラー博士は、本書のいかなる記述も正しいとは主張しません。

この本は、高度な現代最先端の医療と感染症の拡張された診断基準のみに特化した最初の本であるように見えるため、誤りが含まれる可能性が非常に高いです。これは、このようなデリケートなトピックを扱った最初の本ではよくあることです。所見を誇張しないようにあらゆる合理的な努力が払われています。さらに、単一の検査結果や治療結果には複数の原因があり、すべてが原因であるわけではないことを認識することが重要です。したがって、すべての医療従事者は、可能であれば、治療計画を開始する前に、本書以外の他の確認事項を探す必要があります。

シャラー博士への連絡

シャラー博士と話したい場合は、239-263-0133 に電話して手配できる個別の教育相談を行っています。

電話番号、仕事用メールアドレス、ファックス番号をすべて残してください。これらのコンサルトは通常 15 分単位で、希望に応じて継続できます。必要なのは、短いインフォームドコンセントフォームに記入することだけです。

完全な診断相談をご希望の場合、またはシャラー博士を患者として診察したい場合は、シャラー博士が米国全土および国外からの患者を治療していることを知ってください。最初にお会いして、その後電話でフォローアップケアを行います。彼は単なるコンサルタントであるため、かかりつけ医、内科医、または小児科医がいることを必要とします。

シャラー博士に会いに飛行機で行きたい場合は、彼のスタッフが最寄りの空港すべてに精通しており、特別なホテル ディストリビューションをご用意しています。

カウントします。

ご健康を心よりお祈り申し上げます。

敬具、
ロナ C. MBA
事務長

